熊本県文化財調査報告第２１０集

りゅう　がん　じ　おお　つか

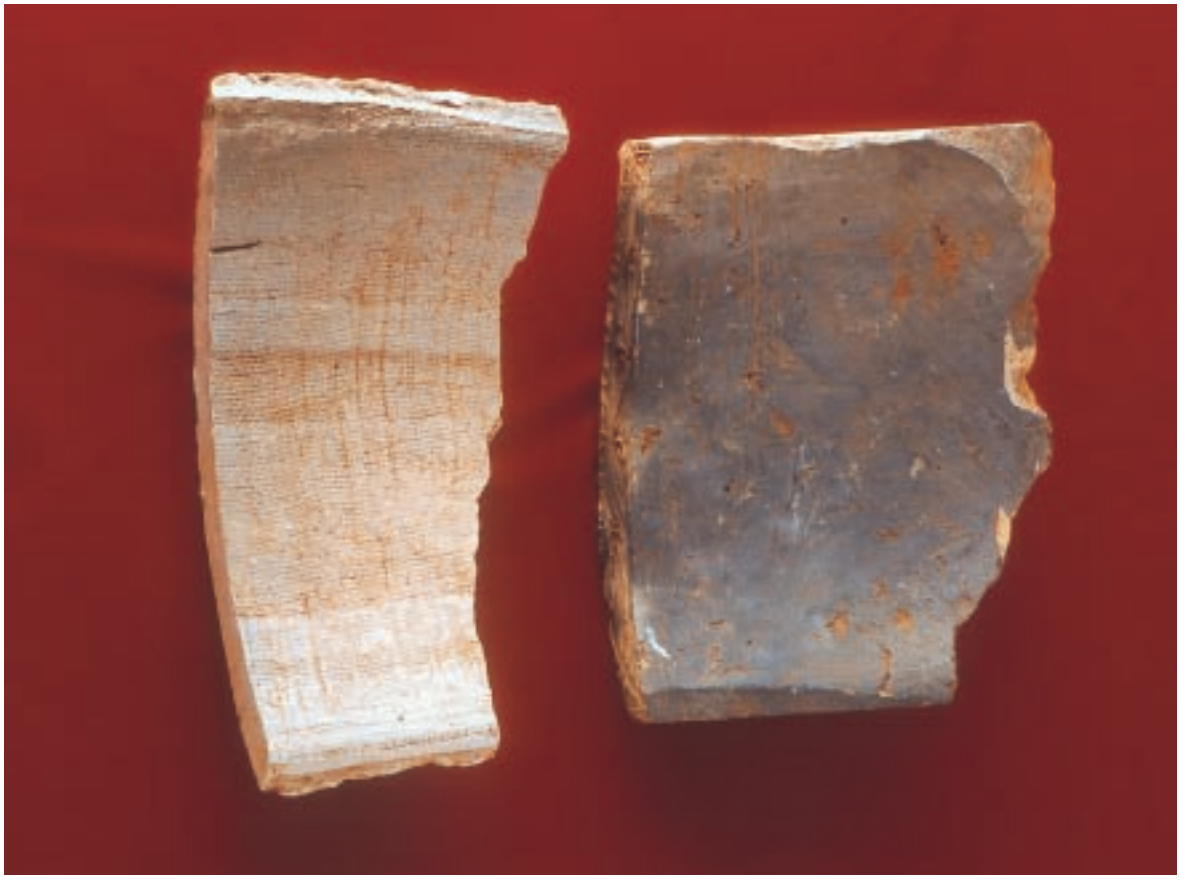
立願寺大塚遺跡

一般国道２０８号玉名バイパス改築工事に伴う埋蔵文化財の調査

２００３．３

熊本県教育委員会

出土瓦群



出土平瓦

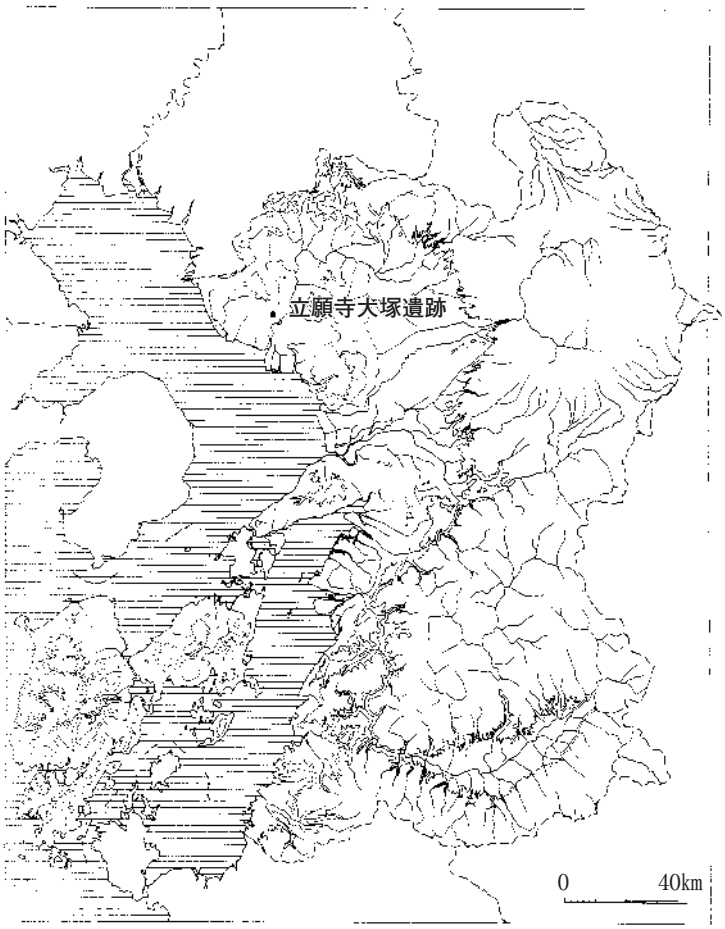
出土土師器・須恵器坏

出土鬼面丸瓦・供伴土師器甕

りゅう　がん　　じ　　おお　つか

立願寺大塚遺跡

熊本県玉名市大字立願寺字大塚所在の遺跡



２００３．３

熊本県教育委員会

序　　文

熊本県教育委員会では、一般国道208号玉名バイパス改築工事に伴う埋蔵文化財調査として、玉名市に所在する立願寺大塚遺跡の発掘調査を実施しました。

調査の結果、８世紀から10世紀にかけての集落跡が確認されました。出土した大量の遺物の中には布目瓦や墨書土器、硯などもあり、隣接する玉名郡寺、「立願寺」に係わりのある遺跡として注目されます。

このたび、『立願寺大塚遺跡』の報告書を刊行することになりましたが、本報告書が広く県民の皆様の埋蔵文化財に対する認識と理解を深め、さらには学術研究の進展にいささかでも寄与することができれば、誠に喜びに堪えません。

なお、本調査を実施するにあたり、文化財保護の観点から多大の御協力を惜しまれなかった建設省（現、国土交通省）熊本工事事務所、玉名市教育委員会及び地元の関係者の皆様、また御指導御助言をいただきました諸先生方に深く感謝申し上げたいと思います。

平成15年３月31日

熊本県教育長　　田　中　力　男

例　　言

1　本書は、一般国道208号玉名バイパス改築工事に伴って実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。

2　発掘調査は、熊本県玉名市に所在する立願寺大塚遺跡が対象となり、建設省（現、国土交通省）熊本工事事務所の依頼を受けて熊本県教育委員会が実施した。

3　遺物の整理は、熊本県文化財資料室で行った。なお、遺物の保管も文化財資料室である。

4　遺跡の発掘調査は、平成３、５年度に実施し、整理は平成12、13年度に行った。

5　本書の地形図は、建設省（現、国土交通省）熊本工事事務所から提供を受けたものをもとにして作成した。

6　現地調査での実測及び写真撮影は、磯野雄二・長谷部善一・池本利直・植野治代が行った。

7　遺物の実測は池本・末永崇・米村大・松本博幸・宮﨑拓・中地晶子・金子美代子・佐藤淳子が行った。また、遺物実測の一部を（有）埋蔵文化財サポートシステムに委託した。土器拓影は整理作業員４名であたった。遺構製図及び遺物製図は米村・戸田紀美子・中地・金子・佐藤がおこなった。遺物の写真は村田百合子が撮影した。

8　本書の執筆は第Ⅲ章の瓦の観察を米村が、他を水野哲郎が行った。

9　本書の編集・校正は水野、米村があたった。

凡　　例

1　現地での実測図は、以下の縮尺で作成した。

掘立柱建物	20分の１
土坑	10分の１
溝	20分の１

また、本書収録の際には以下の縮尺となった。

掘立柱建物	80分の１
土坑	40分の１
溝	120分の１

2　遺構図に示した方位は磁北である。

3　遺構は以下のように記号化した。

掘立柱建物＝SB

土坑＝SK

溝＝SD

遺構名には調査区を示すローマ数字を入れた。例えば、Ⅰ区の１番目の土坑であればSKⅠ１と示す。

4　出土遺物の番号は、各図版ごとに通して付した。例えば、第５図の１番の遺物であれば５－１のように表記した。なお、縮尺は土器類は３分の１、石器、鉄器類は２分の１または原寸である。

5　須恵器は断面を黒く塗り、示した。その他の遺物は白いままである。

6　土師器甕の内面の調整で、ヘラ削りは矢印で削りの方向を示した。

7　出土遺物の解説は本文中に記した。

8　瓦の型式分類は『玉名郡衙』（坂田邦洋　1994　玉名市歴史資料集成第12集）の分類による。

立願寺大塚遺跡目次

序文
例言・凡例
第Ⅰ章　調査の概要 …… 1
第１節　調査に至る経緯 …… 1
1　調査の契機 …… 1
2　事業照会と予備調査の経過 …… 1
3　発掘調査の進捗 …… 1
4　調査の組織 …… 1
第２節　調査の方法 …… 2
第Ⅱ章　遺跡の概要 …… 4
第１節　遺跡の環境 …… 4
1　地理的環境 …… 4
2　歴史的環境 …… 4
第２節　遺跡の概要 …… 5
第Ⅲ章　調査とその成果 …… 11
第１節　遺構 …… 11
1　はじめに …… 11
2　掘立柱建物（SB） …… 11
3　土坑（SK） …… 12
4　溝（SD） …… 12
第２節　遺構に伴う遺物 …… 12
第３節　包含層の遺物 …… 32
1　Ⅰ区の遺物 …… 32
2　Ⅱ区の遺物 …… 50
3　Ⅲ区の遺物 …… 53
参考文献 …… 73
遺物観察表 …… 75
写真図版

挿図目次

第１図　調査地位置図 …… 3
第２図　Ⅰ区、Ⅱ区遺構配置図 …… 4
第３図　Ⅲ区遺構配置図 …… 5
第４図　周辺遺跡地図 …… 7
第５図　SB Ⅲ１遺構実測図 …… 11
第６図　SK Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３・Ⅱ１・Ⅱ２遺構実測図　13
第７図　SK Ⅲ１・Ⅲ２遺構実測図 …… 14
第８図　SK Ⅲ３・Ⅲ４遺構実測図 …… 15
第９図　SD Ⅱ１遺構実測図 …… 16
第10図　SD Ⅰ１・Ⅲ１・Ⅲ２遺構実測図 …… 17
第11図　SD Ⅲ３遺構実測図 …… 18
第12図　SK Ⅰ２・Ⅰ３出土遺物実測図 …… 19

第13図　SK Ⅱ 2 出土遺物実測図 …… 20
第14図　SK Ⅲ 1 出土遺物実測図① …… 21
第15図　SK Ⅲ 1 出土遺物実測図② …… 23
第16図　SK Ⅲ 1 出土遺物実測図③ …… 25
第17図　SK Ⅲ 1 ・Ⅲ 3 ・Ⅲ 4 、SD Ⅲ 1 ・Ⅲ 3
出土遺物実測図 …… 27
第18図　SD Ⅰ 1 ・Ⅰ 2 出土遺物実測図 …… 29
第19図　SD Ⅲ 3 出土遺物実測図① …… 30
第20図　SD Ⅲ 3 出土遺物実測図② …… 31
第21図　SD Ⅲ 3 出土遺物実測図③ …… 31
第22図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図① …… 33
第23図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図② …… 35
第24図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図③ …… 39
第25図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図④ …… 41
第26図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑤ …… 42
第27図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑥ …… 43
第28図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑦ …… 44
第29図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑧ …… 44
第30図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑨ …… 46
第31図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑩ …… 47
第32図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑪ …… 48
第33図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑫ …… 49
第34図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑬ …… 50
第35図　Ⅰ区包含層出土遺物実測図⑭ …… 50
第36図　Ⅱ区包含層出土遺物実測図① …… 51
第37図　Ⅱ区包含層出土遺物実測図② …… 52
第38図　Ⅱ区包含層出土遺物実測図③ …… 52
第39図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図① …… 55
第40図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図② …… 57
第41図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図③ …… 59
第42図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図④ …… 61
第43図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑤ …… 63
第44図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑥ …… 65
第45図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑦ …… 66
第46図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑧ …… 67
第47図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑨ …… 69
第48図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑩ …… 70
第49図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑪ …… 71
第50図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑫ …… 72
第51図　Ⅲ区包含層出土遺物実測図⑬ …… 72

表目次

第 1 表　周辺遺跡地名表 …… 6
第 2 表　遺物観察表 …… 75

図版目次

口絵　出土瓦群
出土平瓦
出土土師器・須恵器坏
出土鬼面丸瓦・供伴土師器甕
（1）SB Ⅲ 1
（2）SK Ⅰ 2
（3）SK Ⅰ 3
（4）SK Ⅲ 1
（5）SK Ⅲ 3
（6）SK Ⅲ 4
（7）SD Ⅱ 1
（8）SD Ⅰ 1
（9）SD Ⅲ 2
（10）SD Ⅲ 3
（11）SK Ⅲ 1 出土遺物①
（12）SK Ⅲ 1 出土遺物②
（13）SK Ⅲ 1 出土遺物③
（14）SK Ⅲ 3 出土遺物①
（15）SK Ⅲ 3 出土遺物②
（16）Ⅰ区包含層出土遺物①
（17）Ⅰ区包含層出土遺物②
（18）Ⅰ区包含層出土遺物③

(19) Ⅰ区包含層出土遺物④
(20) Ⅱ区包含層出土遺物
(21) Ⅲ区包含層出土遺物①
(22) Ⅲ区包含層出土遺物②
(23) Ⅲ区包含層出土遺物③
(24) Ⅲ区包含層出土遺物④
(25) Ⅲ区包含層出土遺物⑤
(26) Ⅲ区包含層出土遺物⑥
(27) Ⅲ区包含層出土遺物⑦
(28) Ⅲ区包含層出土遺物⑧
(29) Ⅲ区包含層出土遺物⑨
(30) Ⅲ区包含層出土遺物⑩
(31) Ⅲ区包含層出土遺物⑪
(32) Ⅲ区包含層出土遺物⑫
(33) Ⅲ区包含層出土遺物⑬
(34) Ⅲ区包含層出土鬼面丸瓦
(35) SD Ⅲ 3 出土軒平瓦
(36) Ⅰ区包含層出土鉄鎌

第Ⅰ章　調査の概要

第１節　調査に至る経緯

１　調査の契機

1972（昭和47）年度、建設省（現、国土交通省）熊本工事事務所は、一般国道208号玉名バイパス改築構想をとりまとめた。これは、交通混雑の解消と良好な沿線環境の確保を目的とし、あわせて交通ネットワークの充実、地域振興等を目的とするもので、総延長8.5kmのバイパス建設を行う、とするものである。

２　事業照会と予備調査の経過

建設省熊本工事事務所から同事業の計画が提出されたことを受けて、文化課では1978（昭和53）年度に遺跡台帳の照合と現地踏査を実施した。その結果、吉丸西遺跡、吉丸遺跡、城ケ辻古墳群、城ケ辻城跡、柳町遺跡、惣萩遺跡、立願寺大塚遺跡、大塚古墳、松尾遺跡、山田松尾平遺跡、中島遺跡、五郎丸遺跡、築地那木野遺跡、西の山遺跡、池田遺跡などの地点を埋蔵文化財包蔵地が存在する可能性が高いところと判断した。その後速やかに踏査結果を建設省熊本工事事務所に報告し、試掘・確認調査の必要な旨を通知した。

1979（昭和54）年に、最終路線決定のため、城ケ辻古墳群と大塚古墳の２ヶ所で詳細な確認調査を行い、そのデータをもとに路線を一部変更して、両古墳とも墳丘・周溝を保存することができた。

その後の協議で、設計上やむなく掘削せざるを得ない部分については発掘調査を実施することとなった。

３　発掘調査の進捗

立願寺大塚遺跡の調査は、調査区をⅠ～Ⅲ区に分けて、1991（平成３）年度と1993（平成５）年度に行われた。Ⅰ・Ⅱ区の調査は1991（平成３）年４月22日から９月18日まで行われた。調査面積はⅠ区が約1,000㎡で、Ⅱ区が約1,400㎡である。Ⅲ区の調査は1993（平成５）年９月13日から1994（平成６）年１月14日まで行われ、調査面積1,500㎡である。

４　調査の組織

【1991（平成３）年度　発掘調査】

調査責任者　大塚正信（文化課長）
　　隈　昭志（教育審議員兼課長補佐）
調査総括　松本健郎（調査第２係長）
調査担当　磯野雄二（文化財保護主事）
　　長谷部善一（学芸員）
調査事務局　松崎厚生（課長補佐）
　　木下英治（経理係長）
　　高濱保子（参事）

【1993（平成５）年度　発掘調査】

調査責任者　大塚正信（首席教育審議員兼文化課長）
　　平野芳久（教育審議員兼課長補佐）
調査総括　松本健郎（主幹兼調査第２係長）
調査担当　池本利直（文化財保護主事）
　　植野治代（嘱託）
調査事務局　松崎厚生（教育審議員兼課長補佐）
　　木下英治（主幹兼経理係長）
　　高濱保子（参事）

【2000（平成12）年度　報告書作成】

整理責任者　阪井大文（文化課長）
　　島津義昭（課長補佐）
整理総括　高木正文（主幹兼調査第１係長）
整理担当　高谷和生（参事）
　　中地晶子（嘱託）
整理事務局　川上康治（課長補佐）
　　中村幸宏（主幹兼総務係長）
　　廣瀬泰之（参事）
　　杉村輝彦（主事）

【2001（平成13）年度　報告書作成】

整理責任者　阪井大文（教育審議員兼文化課長）
　　島津義昭（課長補佐）
整理総括　高木正文（主幹兼調査第１係長）
整理担当　水野哲郎（文化財保護主事）
　　中地晶子（嘱託）
整理事務局　小田信也（課長補佐）

中村幸宏（主幹兼総務係長）
廣瀬泰之（参事）
杉村輝彦（主事）

第２節　調査の方法

まず重機による表土剥ぎを行い、作業員の手作業による清掃を行った。引き続き、実測図作成のために、工事区内の任意の点を基準にグリッドを調査区内に設定した。設定したグリッドの一辺の長さは10mであり、これを大グリッドと呼ぶ。また、北西を遺跡の上にしてそれぞれの大グリッドには左から右にアルファベットを（Ⅰ区Ａ～Ｈ、Ⅱ区Ａ～Ｈ、Ⅲ区Ａ～Ｅ)、上から下数字を（Ⅰ区１～３、Ⅱ区１～５、Ⅲ区１～11）までの番号を振り分け遺構の場所を示す基準とした。

調査地は遺物包含層が厚く、表土剥ぎは、遺物の出土が顕著になった褐色土で止めている。その後、グリッド単位で包含層を掘り下げながら、遺構検出のできる黄褐色粘土層まで掘り下げを行った。

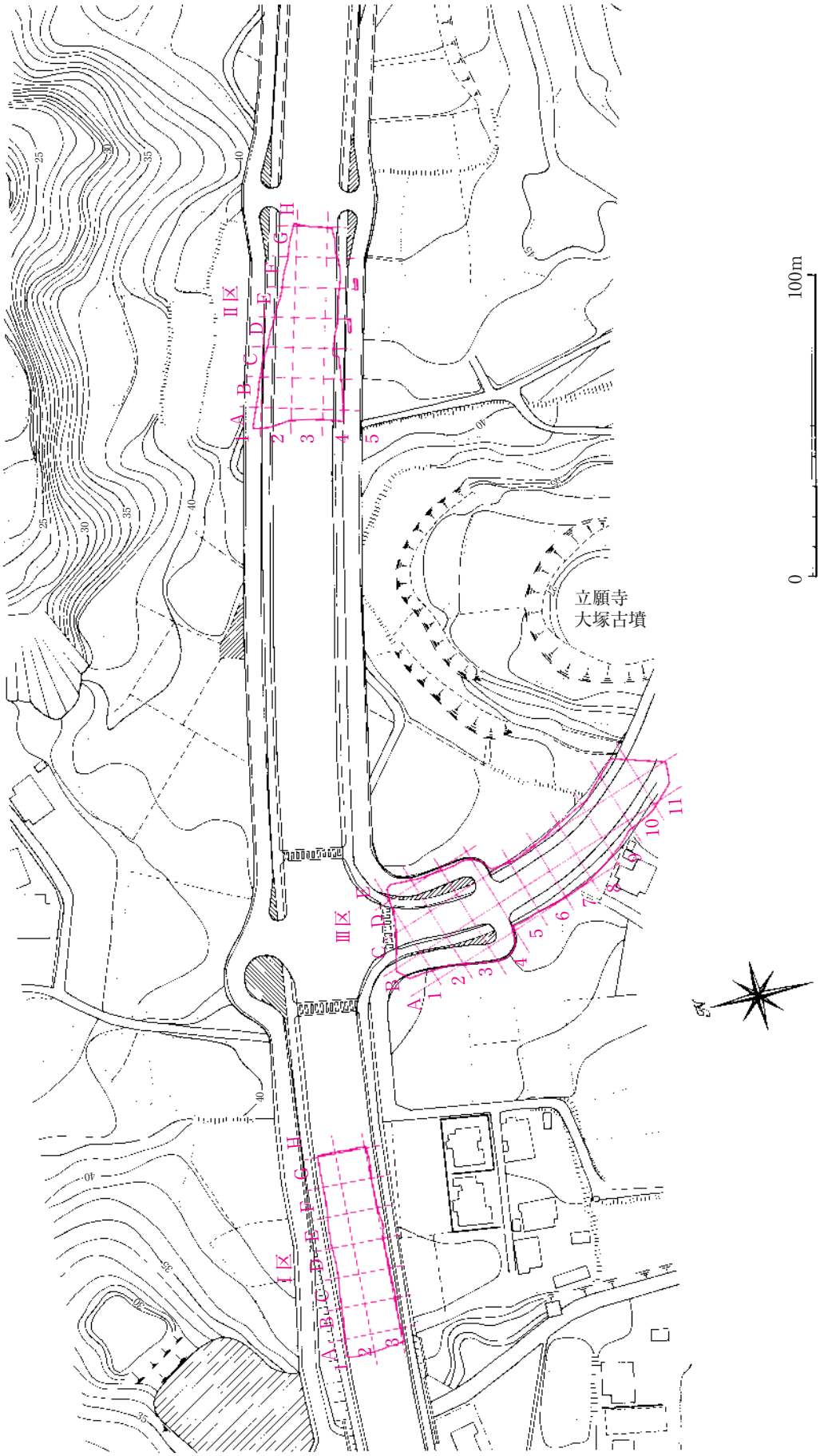
遺構には掘立柱建物、土坑、溝などがあった。以下、それぞれについて調査方法を示す。

掘立柱建物は、調査区の清掃後に柱穴を観察し、柱穴の大きさ、埋土の状態、柱穴の配列・間隔などを考え併せて建物の単位を確定する。それぞれの柱穴について埋土を半割し、堆積状況を観察した上で平面図・断面図を完成させる。実測方法は、建物の平面にあわせて実測の基準軸４点を設け、平面図をとる。実測図の縮尺率は１／20である。

土坑は、平面形を確認した後、平面形に合わせて実測の基準軸となる点を４つ設け、その点を結んで土層堆積状況を確認するためのベルトを十字に残し、発掘を行う。次に土層観察と土層断面図を作成し、その写真撮影をする。その後、ベルトを取り除いて平面図と断面図を完成させる。平面図は遺物を入れた状況を実測し、写真撮影を行う。その後遺物を取り除いた完掘写真を撮影し調査は完了する。実測図の縮尺は１／20である。

溝の調査は、遺構の平面形を確認の後、土層の堆積状況を確認するためのベルトを残して発掘を行う。その後に土層の堆積状況を確認し、土層断面図と平面図を作成。縮尺率は１／20である。

写真はモノクロとカラースライドの２種類で撮影した。写真機の種類は35㎜の一眼レフを用いた。撮影はそれぞれの遺構について２方向から３枚ずつを基本としている。



第１図　調査地位置図（１／2000）

第Ⅱ章　遺跡の概要

第１節　遺跡の環境

１　地理的環境

玉名平野は熊本県北部に位置し、菊池川下流に広がった面積49㎢を有する沖積平野である。調査地のある玉名市はこの沖積平野の中心に位置し、台地の突端部と、有明海に展開した近世干拓地とで構成されている。その中で、調査地のある立願寺は菊池川支流繁根木川下流右岸の、花崗岩風化土壌で形成された丘陵地帯にある。ここは、白鳳期から平安中期にかけて、玉名郡衙の所在地であったされる。

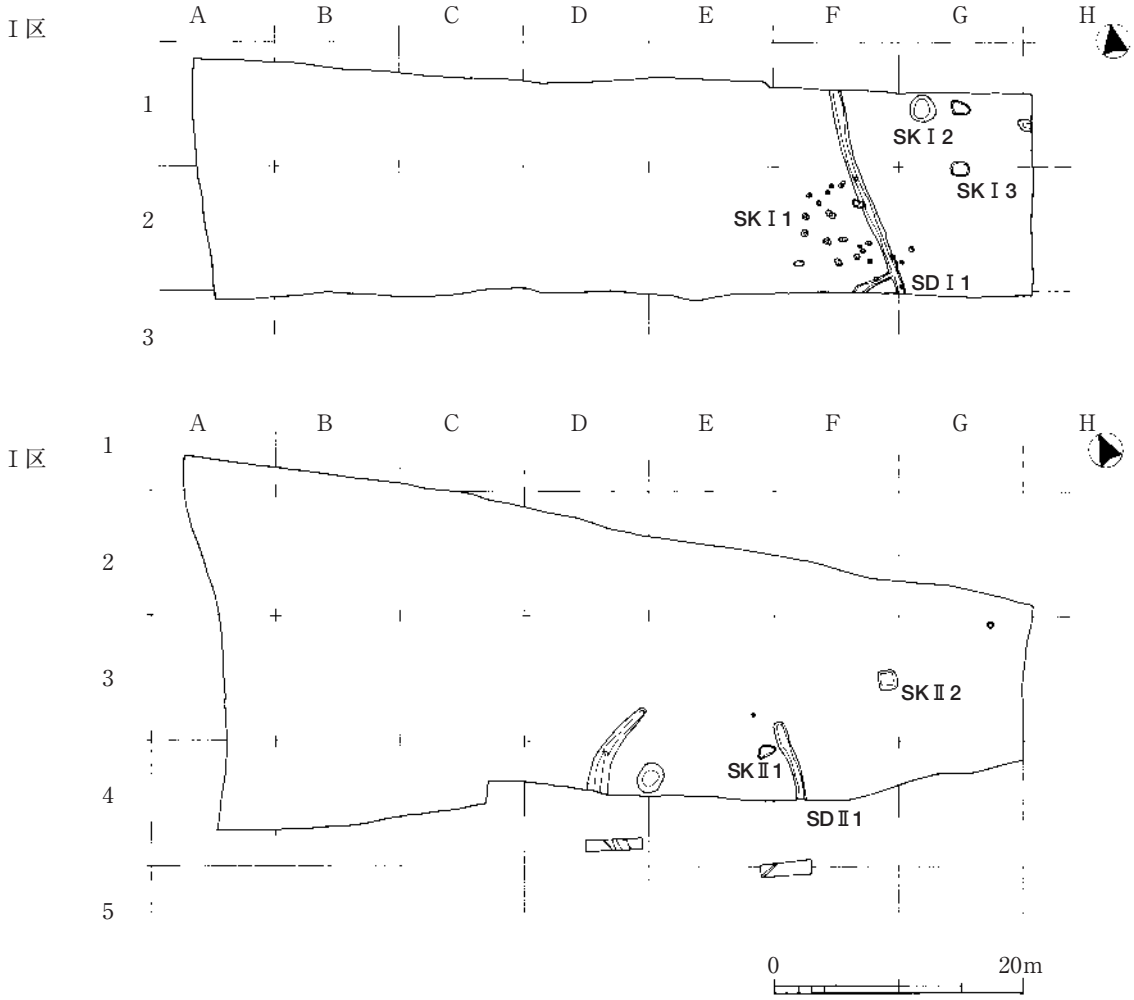
２　歴史的環境

縄文時代

縄文時代には有明海は現在よりも深く湾入しており、市域の沖積平野部は海底であったと思われる。一方、洪積台地の突端部には既に人間が居住した痕跡があり、この時代の遺跡は台地上に営まれている。このうち、高瀬の保田木貝塚、繁根木貝塚、などが知られ、この地域に約30数基の貝塚の分布が確認されている。

弥生時代

弥生時代にも数多くの遺跡が見られ、中期以降は、北部九州の影響を受けて、甕棺墓、支石墓群が台地上に分布する。集落跡では立願寺台地に位置する高岡原遺跡や、岱明町の山下遺跡などが知られる。これまで確認されてきた集落跡は、標高５ｍ前後の低位洪積段丘上に多く確認されていたが、近年の調査により、柳町遺跡や両迫間遺跡のような沖積平野の低湿地に営まれる集落も発見されている。



第２図　Ⅰ区、Ⅱ区　遺構配置図（１／600）

古墳時代

玉名市には70ヶ所にも及ぶ古墳が存在する。菊池川流域で最も古手の前方後円墳では山下古墳が知られ、下って、院塚古墳、籐光寺古墳、繁根木古墳、船山古墳などが有名である。後期になると装飾古墳の最盛期となり、大坊古墳、永安寺東古墳など、内部構造、装飾文様の精緻な古墳が造営される。また、その後も石貫ナギノ横穴群など、群集墳が多く作られる。

古代

古代律令制では、当地は玉名郡に属し、本遺跡は『和妙抄』に見える日置郷に属していたものと思われる。立願寺地区の発掘調査により、字石丸・馬場・三郎丸より礎石建物が検出され、布目瓦が出土したことから、郡衙跡と推定された。また、字西の段からは多量の妬米と炭化材、礎石が見つかり、玉名群倉に比定された。また、字塔の尾では奈良時代中期から平安時代中期に至る軒平瓦、軒丸瓦などが出土し、法起寺様式の伽藍配置を持つ寺院であることが確認され、玉名郡寺（「立願寺」）であると推測されている。このように、郡の中心ともいうべき3つの建造物の遺構がまとまった形で発見されたのは、全国的にも珍しく、梅林から元玉名にかけての条里遺構と共に、古代の景観を復元することができる。

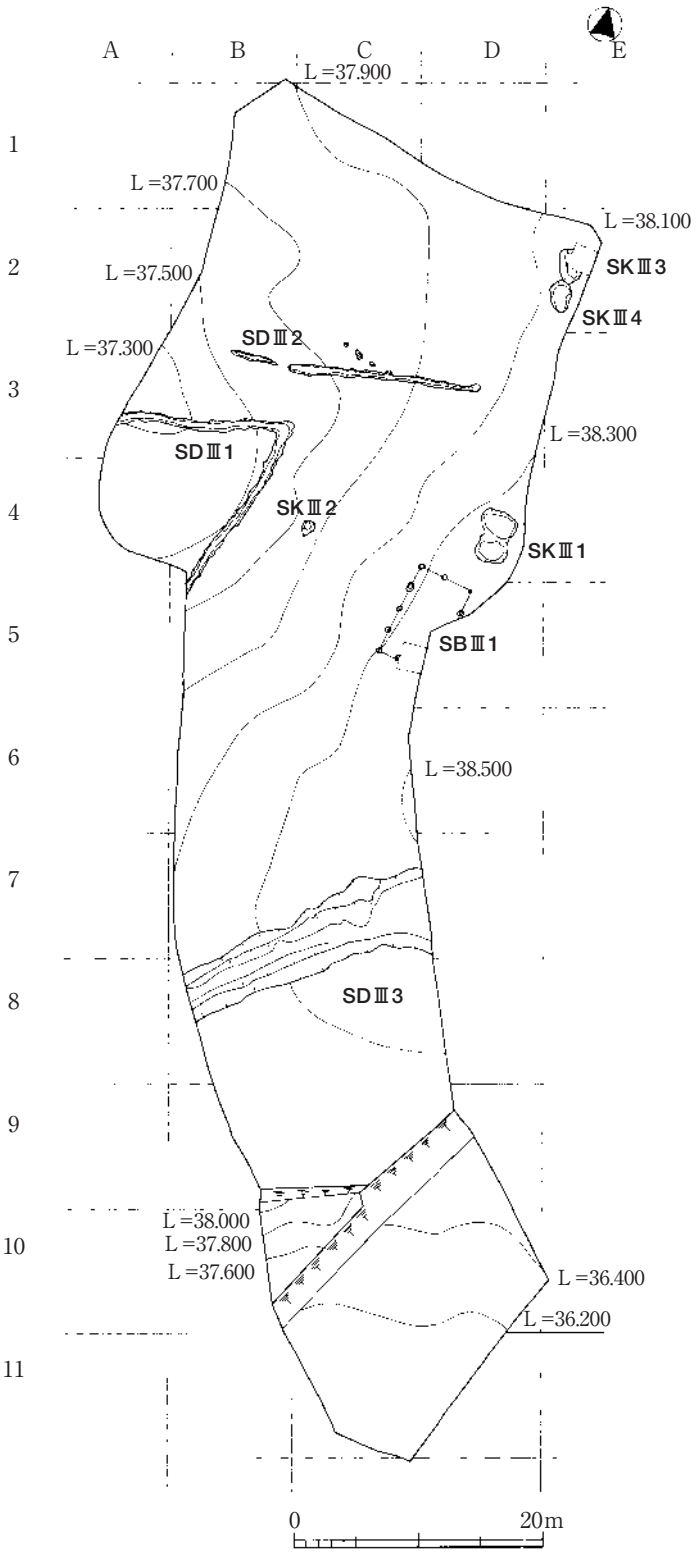
中世

中世に入ると、市南東部の菊池側左岸に太宰府天満宮安楽寺領の玉名荘、伊倉に宇佐宮領伊倉別符など、多くの荘園が成立する。他に、仁和寺仏母院領の玉名荘、石清水八幡宮を本家とする大野別符などがある。

南北朝期に入ると、南朝方の菊池氏が大野荘まで進出し、菊池武国は高瀬氏を称して、高瀬城に拠った。一方、隣接する野原荘の在地領主小代氏は北朝方に与同し、両者は、大野・伊倉の領有を巡って激しく対立した。背景には、両荘に高瀬・伊倉の良港があり、対明貿易の利権を巡る争いと言うことができよう。

第2節　遺跡の概要

今回発掘した立願寺大塚遺跡は、周辺に大塚古墳、立願寺廃寺などがあり、古墳時代～古代までの関連遺跡が推定された。調査区はⅠ～Ⅲ区にわたるが、

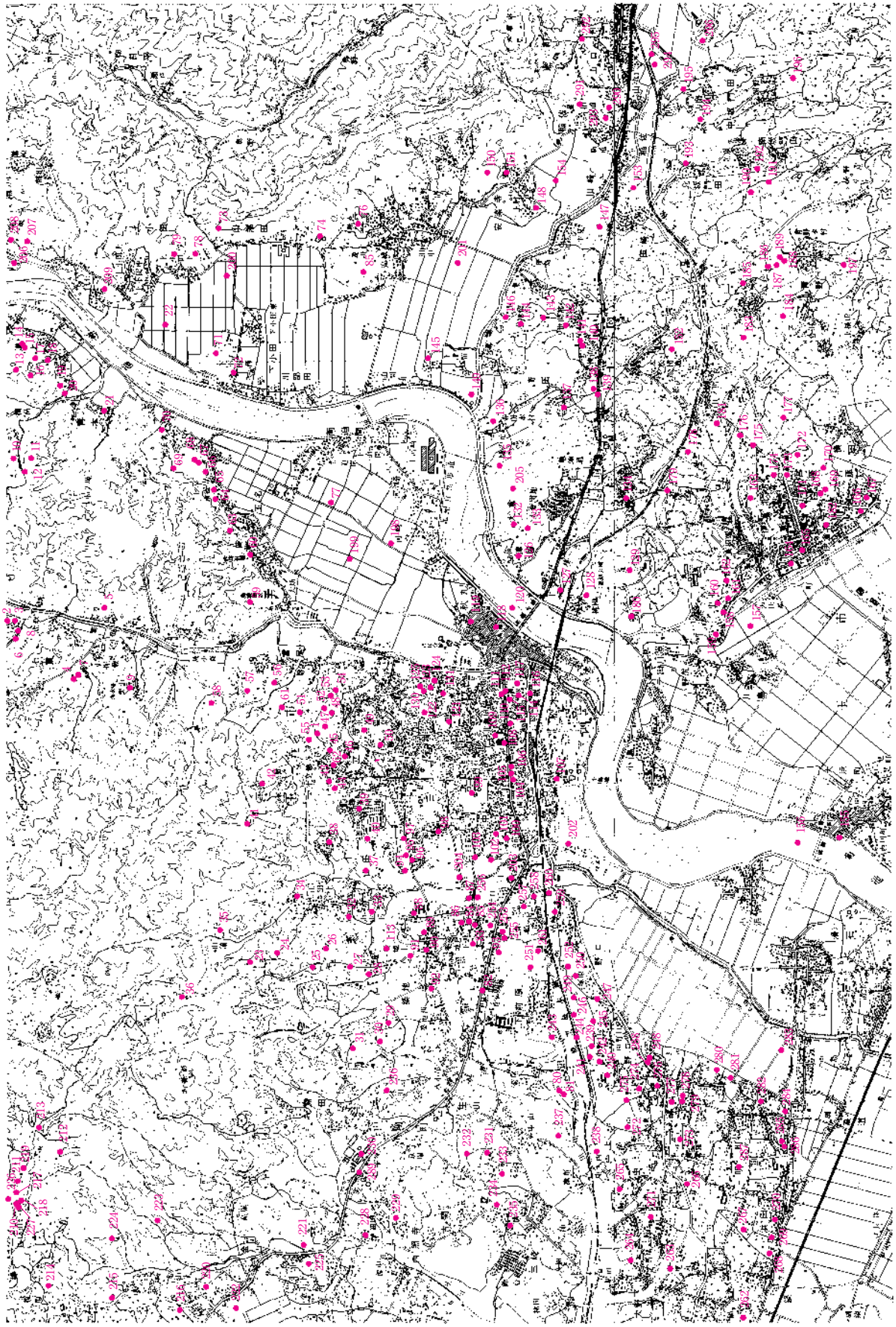


第3図　Ⅲ区　遺構配置図（1／600）

Ⅱ区からは円墳の痕跡と思われる円形周溝遺構が検出され、隣接する大塚遺跡と一連のものと思われる。Ⅰ区からは南北方向の溝、Ⅲ区からは東西方向の大溝が検出され、律令時代の区画と推定される。また、Ⅲ区からは南北方向に軸をとる掘建柱建物が検出され、同地区が古代集落の末端部であることが推定される。遺物に関しては、３調査区とも包含層が厚く、大量の遺物が出土した。出土物には布目瓦、硯、墨書土器などが混じり、立願寺廃寺との関連を看取することができる。

第１表　周辺遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	時代	種別	指定	備考
1	松尾（立願寺大塚）	立願寺　大塚	古墳～中世	包蔵地		
2	石貫ナギノ横穴群	石貫　ナギノ	古墳	古墳	国	繁根木川上流域45個、８個装飾
3	後田古墳	石貫　後田	古墳	古墳		舟形石棺現存、鉄器副葬
4	古城横穴群	石貫　古城原	古墳	古墳		25基内１基装飾
5	石貫葉柊	石貫　葉柊	弥生・古墳	包蔵地		弥生土器片多量、土師器
6	藤原為安の墓	石貫　椰野原	古代	墓		菊池氏の一族
7	古城洞穴	石貫　古城原		包蔵地		古城横穴群中２群、南より３番目崖下
8	ナギノ	石貫　椰野原	古墳	包蔵地		土師器・須恵器
9	上栗山	石貫　上栗山	古墳	包蔵地		土師器・須恵器多数及び石器
10	横畠横穴群	青木　横畠	古墳	古墳		８基、５・６号に円文を認める
11	六反横穴群	青木　六反	古墳	古墳		４基
12	二俣横穴群	青木　二俣	古墳	古墳		２基、保存度概してよし
13	城迫間横穴群	溝上　城迫間	古墳	古墳		７基、４号三角線刻、６号舟浮彫
14	真福寺東古墳	溝上　前田	古墳	古墳		舟形石棺蓋発見
15	真福寺古墳	溝上　前田	古墳	古墳		墳丘を失う、舟形石棺遺存、鉄斧出土
16	赤禿古墳	溝上（通称赤禿）	古墳	古墳		小山の頂上にあり、人骨・鉄剣出土
17	前田古墳	溝上　前田	古墳	古墳		割に大型の舟形石棺のこる
18	宮の後古墳	溝上　下前田	古墳	古墳		円墳、舟形石棺、寄棟屋根蓋
19	田代阿弥陀塚古墳	溝上　田代	古墳	古墳		円墳、箱式棺、舟形系の蓋石
20	田代中の塚古墳	溝上　田代	古墳	古墳		円墳、舌状台地突端、小墳丘石材露出
21	青木横穴	青木　上前田	古墳	古墳		青木梵字の北40ｍ１基、羨門損壊
22	上小田宮の前	上小田　宮の前など	弥生	包蔵地		弥生土器・石斧・土師器・須恵器
23	保多地窯跡群（１～５号）	山田　保多地	古代・中世	生産		4，5号消滅。1，2号床面露出。３号完全保存
24	保多地古墳群（１～５号）	山田　保多地	古墳	古墳		円墳、１号完全保存、２号横穴複式。３号横穴 単式鉄鏃、５号横穴巨石墳、玉・金環・鉄鏃出土
25	西田	山田　西田	縄文～中世	包蔵地		ぶどう畑開墾で発見
26	西田支石墓	築地　兎町	弥生	埋葬		弥生・石斧出土
27	四十九	築地　四十九	縄文～中世	包蔵地		須恵蔵骨器１個出土
28	四十九古墳	築地　四十九	古墳	古墳		現在地点表示主体部不明
29	西の山古墳群	築地　西の山	古墳	古墳		１号竪穴石室か、２号横穴巨石墳木棺埋葬
30	西の山	築地　西の山	古墳	包蔵地		数個、内１個蓋付須恵器完形
31	沓掛	築地　沓掛	古墳	包蔵地		土師器散布
32	山田下馬場古墳	山田　下馬場	古墳	古墳		墳丘消滅、石材のみ堆積
33	五郎丸	山田　下馬場	弥生	包蔵地		微高台地、他の弥生土器も伴出
34	山田山口	山田　山口	古墳～平安	包蔵地		土師器多量出土
35	山田山浦	山田　山浦	古墳～平安	包蔵地		独立小山土師器片散布
36	斧研製鉄跡	築地　斧研	古代・中世	生産		鉱滓散乱、羽口・土器
37	山田中島	山田　中島	弥生	包蔵地		合口壷棺１基出土
38	山田松尾平	山田　平	弥生	包蔵地		高台地南斜面、弥生期土師片・石器
39	糠峯古墳	山田　糠峯	古墳	古墳		独立小山南斜面、箱式石棺・祠とする
40	高頭	山田　高頭	古墳・古代	包蔵地		台地北崖面、完形品須恵器多数出土
41	蛇が谷製鉄跡	立願寺　蛇が谷	古代・中世	生産		３区、火窪、羽口・土器片出土
42	蛇が谷古墳群	立願寺　蛇が谷	古墳	古墳		封土中に舟形石棺、現在なし、鉄器出土
43	玉名郡家跡	立願寺　石丸	古代	包蔵地		上立願寺部落北辺、布目瓦多量散布
44	石丸丸塚	立願寺　石丸	古代	墳墓		薮間畑中に小封土あり
45	松尾原	立願寺　松尾原ほか	弥生	埋葬		合口の大小甕棺15個出土。上立願寺遺跡
46	立願寺跡	立願寺　塔の尾	古代	寺社	市	高台上、法起寺式
47	大塚古墳	立願寺　大塚	古墳	古墳		大円墳、保存良好
48	小塚古墳	立願寺　大塚	古墳	古墳		大円墳、保存良好
49	玉名郡倉跡	立願寺　西の段	古代	包蔵地	市	礎石７個配列
50	下立願寺	立願寺　西の段	縄文～中世	集落		単式甕棺、弥生土器片散布
51	富尾いたび横穴群	富尾　居柊	古墳	古墳		13基崖下に北面する
52	大塚・惣萩	立願寺　大塚など	弥生・古墳	包蔵地		弥生、土師器・須恵器片散布する
53	冷水横穴群	富尾　冷水	古墳	古墳		冷水台地の北、17基か不明
54	冷水塚古墳	富尾　冷水	古墳	古墳		円墳、冷水台地上、舟形石棺をも現在なし
55	松尾	立願寺　松尾など	古墳	包蔵地		土師器・須恵器片散布
56	富尾原横穴群Ａ	富尾　原	古墳	古墳		Ａ群富尾天満南裾13基、装飾２基，Ｂ群10数基
57	富尾浦谷横穴群	富尾　辻・浦谷	古墳	古墳		Ａ群２基，Ｂ群東裾に10数基、完形が多い。
58	岩原	富尾　岩原	古墳	包蔵地		富尾の北、完形須恵器・土師器多数出土
59	西原古墳参考地	玉名　西原	古墳	古墳		玉名山西端部、楕円状の封土
60	大坊古墳	玉名　出口	古墳	古墳	国	横穴２室、三角連続彩色あり
61	富尾中尾横穴群	富尾　中尾	古墳	古墳		
62	上立願寺石天神	立願寺　塔の尾		寺社		神体は立願寺跡の礎石か
63	岡箱式石棺群	玉名　上原	弥生	埋葬		妙修寺の墓地内３基・２基保存
64	永安寺西古墳	玉名（通称永安寺）	古墳	古墳	国	横穴単式、円文線刻
65	永安寺東古墳	玉名（通称永安寺）	古墳	古墳	国	横穴複式、円・三角・舟・馬を描く
66	伝玉依姫塚	玉名　釈迦		石造物		社伝で上記古塔群をいう
67	馬出古墳（１～２号）	玉名　馬出	古墳	古墳	市	円墳、横穴式、舟形・箱式石棺。出土品市指定



第４図　周辺遺跡地図（１／50,000）

番号	遺跡名	所在地	時代	種別	指定	備考
68	小路古墳	玉名　小路	古墳	古墳	市	27mの山上にあった。他へ復元。出土品市指定
69	絵下経塚古墳	玉名　絵下	古墳	古墳		玉名大神宮裏山にあり、封土・周溝あり
70	元玉名横穴群	玉名　実極田	古墳	古墳		風化、２基
71	上小田古屋敷	上小田　古屋敷	縄文～中世	包蔵地		土師器・須恵器片散布
72	下小田西丸塚	下小田　陣の浦	古墳	古墳		五輪塔部分あり、中世墳墓か
73	小森田松	山部田　猿喰	古代	包蔵地		墓標に「金誉秀清尼」とあり
74	山下古墳・山下古墳碑	山部田　山下	古墳	古墳		前方後円墳、舟形棺。弘化５年石碑前方部石棺上
75	高城	下　高城	古墳	包蔵地		土師器・須恵器・青磁片少量散布
76	秋丸	下　秋丸	弥生	包蔵地		弥生土器多量出土
77	両迫間日渡	両迫間　日渡	弥生・古墳	包蔵地		弥生土器・土師器・須恵器包含、水田中
78	徳丸古墳群	上小田　下徳丸など	古墳	古墳		前方後円墳３基並列、舟形石棺１
79	上小田下丸塚	上小田　堂の後	古代	墳墓		円墳状を呈する
80	天満宮古墳参考地	築地　天神木	古墳	古墳		社殿建設で封土は扁平されたか
81	菊ノ尾	築地（通称菊ノ尾）	縄文～中世	埋葬		合口小児用２基
82	今見堂	築地　今見堂	古代・中世	包蔵地		土葬人骨１、五輪塔片、宋銭、青磁、土師器皿
83	平町	築地　平町	古代・中世	包蔵地		土師器・須恵器片分布
84	南大門地下式横穴	築地　南大門	古墳	古墳		
85	南大門窯跡	築地　南大門	古代・中世	生産		南大門付近70㎝地下炉床あり
86	南大門	築地　南大門	古代	埋葬		付近一帯弥生後晩期土器包含
87	東南大門	築地　南大門	弥生～中世	包蔵地		弥生後期，土師器多量出土。
88	古閑	築地　古閑	弥生～中世	包蔵地		合口甕９基出土、弥生土器散布、鉄器・弥生甕棺
89	築地東	築地　東	弥生	包蔵地		石蓋土抗
90	伝勅使墓	築地　陣内	古代	墓		部落古墳地、自然石、ハネギ八幡祠官
91	八段	築地　八段	古墳	包蔵地		土師器・須恵器少量
92	狐ん路	築地　前畑	縄文～中世	包蔵地		平畑遺跡と一連
93	築地市場	築地　市場	弥生	包蔵地		弥生土器多数出土
94	高岡城跡・高岡古墳	山田　高頭	古墳～中世	包蔵地		墓（お姫さん、高岡城主の女）、馬頭骨・鉱滓。
95	高岡古墳	山田　高頭	古墳	古墳		古墳（高岡古墳）、墓地内に大石材堆積。
96	高岡原	山田　高岡原	弥生・古墳	包蔵地		土師器・須恵器・弥生土器片散布
97	高岡いっちょう畑箱式石棺	山田　高岡原	弥生	埋葬		箱式石棺のみ露出
98	馬場鉄冑出土地	中尾　馬場	古墳	古墳		馬場量宅地内より出土、眉庇付、火災で消失
99	玉名高校々庭	中　楢林	弥生・古墳	包蔵地		弥生土器・土師器包含、石斧も出土
100	田島地下式横穴	中　田島	古墳	古墳		２基並列、出土物なし
101	田島	中　田島	古墳	包蔵地		瓦器３脚・碗・土師器片・開元通宝・布目瓦出土。
102	春出	中　陣内	古墳	包蔵地		須恵器・土師器・弥生土器
103	春日出山伏塚	中　春日出	古墳～中世	墳墓		題目・福宗・善八と銘あり
104	南出	中　内田	弥生	包蔵地		弥生カメ棺、合口カメ棺。青磁碗、玉名高校蔵
105	南出地下式横穴	中　内田	古墳	古墳		国道208号沿い、近くは弥生以降遺跡
106	南出甕棺群	中　内田	弥生	埋葬		国道208号沿い、近くは弥生以降遺跡
107	だいの島古墳	中（通称だいの島）	古墳	古墳		玉名駅南、台地南凸端、箱棺
108	玉名亀甲	亀甲	縄文～中世	包蔵地		
109	上畑丸塚	亀甲　上畑	縄文～中世	包蔵地		国道208号北入、墓地の一隅楕円状封土
110	坂下会所跡	繁根木　馬場	近世	包蔵地		
111	伝左山古墳	繁根木　北	古墳	古墳	市	国道208号沿線径37mの円墳、出土品多量
112	繁根木地下式横穴群（４基）	繁根木　馬場	古墳	古墳		国道208号沿線、出土品なし
113	築地那木野	築地　那木野	古墳	包蔵地		須恵器・土師器類を包含する
114	稲荷山古墳（他４石碑）	繁根木　馬場	古墳	古墳		八幡宮裏、前方後円墳の封土、朝顔埴輪
115	繁根木遺跡群	繁根木	弥生	包蔵地		稲荷山古墳の最下層、弥生土器群あり
116	繁根木貝塚	繁根木　馬場	縄文	貝塚		八幡宮境内全域、町筋南側、ＪＲ線路
117	繁根木箱式石棺(繁根木古墳)	繁根木　馬場	古墳	埋葬		八幡宮東、大正初期、方格規矩文鏡を出す
118	高瀬本町通	高瀬　保田木町など	縄文～近世	包蔵地		地道路3.5mの下層、鎌倉期の遺物大量出土
119	保田木貝塚	高瀬　保田木町	縄文	貝塚		城跡神社境内全域、阿高式中心
120	高瀬菊池川河床	菊池川河床	古代・中世	包蔵地		
121	岩崎原	岩崎（通称岩崎原）	弥生～中世	包蔵地		玉名女子高構内全、弥生土器多量、住居跡
122	岩崎Ａ	岩崎　池田	弥生～中世	包蔵地		大型甕棺・土師器・須恵器・弥生土器多量包含
123	岩崎古墳	岩崎　池田	古墳	古墳		菅原神社神体とする、箱棺か
124	岩崎古墳参考地	岩崎　池田	古墳	古墳		部落東端、円墳形、天満宮を祀る
125	池田地下式横穴群	岩崎　池田	古墳	古墳		
126	松林寺山古墳	向津留　下	古墳	古墳		大型舟形石棺露出、棺蓋不明
127	桃田貝塚	大倉　桃田原	縄文	貝塚		ＪＲ線北２箇所、阿高式～土師器・須恵器
128	桃田古墳	大倉　桃田原	古墳	古墳		伝箱石棺出土
129	高田古墳	大倉　高田	古墳	古墳		台地頂上、円墳内部不明
130	池田支石墓参考地	岩崎　池田	弥生	埋葬		城内に安山岩巨石１個
131	岩崎Ｂ	岩崎　池田	縄文～中世	包蔵地		
132	飯塚古墳	向津留　飯塚	古墳	古墳		円墳、保存度良し
133	亀頭迫	大倉　亀頭迫など	弥生～中世	包蔵地		土師器、弥生後期
134	立山	大倉（通称立山）	弥生～中世	包蔵地		弥生後期、土師器等散布
135	城が辻古墳群（１～５号）	寺田　城が辻	古墳	古墳		１号箱式石棺・２号円墳、完形遺存・５号丘陵先端
136	寺田古墳群（１～４号）	寺田　宇土	古墳	古墳		１号台地北端、２号舟形、３号箱式石棺、４号処女墳
137	吉丸	寺田　吉丸	古代・中世	包蔵地		菊花文入瓦器多量出土
138	ナカント塚古墳	寺田　吉丸	古墳	古墳		部落西南畑中、封土あり、内部不明
139	吉丸西	寺田　吉丸	縄文～中世	包蔵地		
140	久保地下式横穴	寺田　久保	古墳	古墳		国道208号線の北大穴窟、出土品なし
141	寺田久保	寺田　久保	縄文～中世	包蔵地		
142	世間部塚古墳	寺田　世間部	古墳	古墳		「塚さん」という、山伏塚か
143	部田	津留　部田	弥生～中世	包蔵地		高台畑地、磨製大型石鏃出土
144	上津留古墳	津留　小部田	古墳	古墳		円墳、高台北端に位置、径25mの封土遺存
145	安楽寺居館跡	津留　太郎丸	中世	包蔵地		跡地に氏神菅原神社を祀る、
146	上津留	津留　部田	縄文～中世	包蔵地		付近畑地耕作で発見と伝えられる
147	田崎横穴群	田崎　楢山	古墳	古墳		国道208号沿い、３基と造りかけ
148	随月古墳	安楽寺　随月	古墳	古墳		

番号	遺跡名	所在地	時代	種別	指定	備考
149	津留中林	津留　中林	縄文～中世	包蔵地		
150	浦方染山横穴群	安楽寺（通称裏方）	古墳	古墳		梅林小学校裏手谷合い、４基風化する
151	蓑田横穴群	安楽寺　蓑田	古墳	古墳		稲佐への県道東入り、数基
152	一本松	田崎　一本松ほか	弥生～中世	包蔵地		甕棺群あり
153	田崎	田崎　天神原・辻	古墳～中世	包蔵地		台地畑、土師器・須恵器片少量散布
154	中神久	安楽寺　中神久	古代・中世	包蔵地		古代・中世遺物散布
155	新町	大浜　新町	古代・中世	包蔵地		
156	大浜河床	大浜　上屋敷	弥生～中世	包蔵地		石剣出土地
157	五社支石墓参考地	伊倉北方　五社	弥生	埋葬		十五社石祠、旧城跡にあり、台石は掌石か
158	中北古墳	伊倉北方　五社	古墳	古墳		県道に面する南小突端に箱式石棺をもつ
159	城が崎貝塚	伊倉北方　五社下	弥生	貝塚		町北端舌状台地上、南裾一帯弥生貝層出土多量
160	城が崎	伊倉北方　五社	弥生～中世	包蔵地		町北端舌状台地上、広範に弥生中期遺物を含む
161	中北Ａ	伊倉北方	弥生～中世	埋葬		小児合口式４基出土、１期鉄斧、外副葬品
162	中北	伊倉北方　五社	縄文～中世	包蔵地		
163	本村	伊倉北方　本村	縄文～中世	包蔵地		
164	桜井川製鉄跡	伊倉北方　西屋敷	古代・中世	生産		鉱滓散布する
165	唐人町貝塚	北方	弥生～中世	貝塚		
166	片諏訪貝塚	片諏訪　屋敷	縄文～鎌倉	貝塚		
167	片諏訪	片諏訪　屋敷	弥生	包蔵地		貝塚のある台地一帯
168	印鑰神社古墳	宮原　土井内	古墳	古墳		円筒埴輪・須恵器・土師器出土
169	宮原土井の内	宮原　土井内	弥生	包蔵地		弥生石器・土器出土
170	禮社	宮原　禮社	弥生	包蔵地		弥生土器散布
171	伊倉宮原町	宮原　屋敷	弥生	包蔵地		弥生土器散布
172	伊倉宮川	宮原　宮川	弥生	包蔵地		弥生土器・石器
173	伊倉八幡宮境内	宮原　北方ほか	縄文	包蔵地		縄文土器、阿高式・御領式を多く含む
174	伊倉八幡古墳	伊倉北方　宮の後		古墳		北八幡宮境内、社前に巨石材２個あり
175	伊倉宮の後	伊倉北方　宮の後	縄文	包蔵地		縄文、阿高式・御領式土器・石斧・石鏃
176	伊倉宮の後甕棺群	伊倉北方　宮の後	弥生	埋葬		合口甕棺多数
177	伊倉古宮原	宮原　古宮原	弥生	包蔵地		弥生土器・土師器・須恵器散布
178	垣塚古墳	伊倉北方　東垣塚	古墳	古墳		くり抜き石棺形式出土、封土不明
179	岩井口横穴	伊倉北方　岩井口	古墳	古墳		伊倉台西端崖面、かなり崩壊
180	中北アカハゲ古墳	伊倉北方(通称赤禿)	古墳	古墳		高田古墳下に一封土あり、古墳と思われる
181	伊倉犬塚古墳	伊倉北方　鳥越	古墳	古墳		現在封土を失う
182	鍛冶屋町製鉄跡	伊倉南方　東屋敷	古墳	生産		土師器・須恵器、伊倉刀を打つ
183	青野原	青野　原・北原	弥生・古墳	包蔵地		
184	合田	青野　合田	弥生・古墳	包蔵地		
185	青野本村曲畑	青野　本村・田の尻	弥生・古墳	包蔵地		弥生～古墳土器多量包含
186	青野古墳	青野　本村	古墳	古墳		
187	青野地下式横穴	青野　田の尻	古墳	古墳		現在埋没する
188	青野天神原古墳	青野　天神原	古墳	古墳		現在天神石祠建つ
189	青野天神原	青野　天神原	弥生・古墳	包蔵地		弥生～古墳期土器包含
190	青野火葬墓跡	青野　天神原・辻	古代	包蔵地		八弁花文瓦器蓋付深鉢（火葬骨入）、蓋付碗
191	中坂門田	中坂門田　西	弥生・古墳	包蔵地		
192	京塚古墳	中坂門田　京塚	古墳	古墳		内容不明
193	白骨どん古墳	北坂門田　井戸	古墳	古墳		小円墳、箱型石棺露出
194	古閑	中坂門田　古閑	古墳～中世	包蔵地		須恵器・土師器片
195	鎧田横穴群	中坂門田　古閑	古墳	古墳		数基、１基は保存良好
196	開野内原	中坂門田、開野ほか	古墳～中世	包蔵地		須恵器・土師器
197	青野本村堂の久保	青野　本村堂の久保	弥生・古墳	包蔵地		
198	柳町	玉名市河崎柳町	縄文～平安	集落		県調査、文字資料
199	玉名平野条里跡	玉名、迫間ほか	古代・中世	生産		
200	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
201	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
202	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
203	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
204	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
205	玉名平野条里跡		古代・中世	生産		
206	清水原家型石棺	瀬川　清水原	古墳	埋葬		家形石棺
207	松坂横穴群	瀬川　松坂	古墳	古墳		
208	姫塚古墳	瀬川　松坂	古墳	古墳		土器
209	椿山古墳	瀬川　古寺原	古墳	古墳		円墳、前方後円形
210	四反田窯跡	樺　四反田	古代～中世	生産	県	須恵窯跡、須恵器、消滅
211	たたらもと製鉄跡（Ａ・Ｂ）	樺　たたらもと	古代～中世	生産	県	鉄滓・ふいご羽口
212	金糞谷製鉄所	樺　四反田	古代～中世	生産		鉄滓・ふいご羽口
213	苔谷製鉄跡	樺　芦葉敷	古代～中世	生産		鉄滓・ふいご羽口
214	大別当Ａ窯跡	樺　大別当	古代～中世	生産	県	Ａ県史跡、風字硯出土（市指定）Ｃ昭和52年発見
215	金山	金山　焼石	古代～近代	包蔵地		炭坑跡あり
216	狐谷古墳群	野原　狐谷	古墳	古墳		切子玉・勾玉・管玉・耳飾・須恵・土師（１～４号）
217	四反田	樺　四反田	古代・中世	包蔵地		
218	四反田製鉄跡（製鉄跡）	樺　四反田	古代・中世	生産	県	
219	たたらもと窯跡	樺　四反田	古代・中世	生産		
220	山の神古墳群	金山　道北	古墳	古墳		円墳、小口積石室あり（１～３号）
221	ごまのき製鉄跡	金山　上焼石など	古代・中世	生産		鉄滓散布
222	金山古墳群	内曲町　道出など	古墳	古墳		箱式石棺群
223	狐谷製鉄跡	金山	古代・中世	生産		
224	大藤製鉄	金山	古代・中世	生産		（１～３号）
225	大辻屋敷	金山　上藤木	中世	包蔵地		
226	反保田窯跡	樺　反保田	古代・中世	生産		
227	古小代焼	樺	古代・中世	生産		
228	西照寺古墳参考地	西照寺　迎田	古墳	古墳		現西照寺氏神、八幡社地全体
229	野内	西照寺　野内	弥生・古墳	包蔵地		量少ない

番号	遺跡名	所在地	時代	種別	指定	備考
230	院塚古墳	開田　京塚	古墳	古墳		方墳、昭和39年除去、工場建設
231	今泉古墳	上　今泉	古墳	古墳		
232	今泉	上　今泉・市井川	弥生期	包蔵地		有孔石包丁・土器多数
233	今泉西	上　今泉	弥生中後期	包蔵地		土器片多量包含
234	古閑	古閑　西市井川など	縄文	包蔵地		石斧数個、土器・石鏃出土
235	大悟山平等寺跡	上　長津野	古代・中世	寺社		毘沙門堂あり
236	池田古墳	開田　池田	古墳	古墳		土人宝物埋蔵地というはこのことか
237	東簇布	庄山　東簇布・松浦	弥生後晩期	包蔵地		少量
238	岱明町総合グラウンド	中土　天神木	弥生	埋葬		甕棺・合口甕棺
239	年の神	野口　平	弥生後期	包蔵地		甕棺、住居跡、貝塚、年の神西平遺跡、年の神遺跡
240	年の神西平貝塚	野口　西平	弥生	貝塚		住居跡を含む、弥生土器片・石器多数出土
241	年の神支石墓	野口　早馬	弥生	埋葬	町	２ヵ所、貝輪７個入り
242	年の神貝塚	野口　早馬	弥生	貝塚		獣頭骨、土器
243	下前原西	下前原　石町	古墳	包蔵地		須恵器片多数
244	年の神小児甕棺群	野口　北平	弥生	埋葬		合口壷形棺数基
245	年の神甕棺群（A）	野口　早馬	弥生中期	埋葬		大型３基
246	年の神甕棺群（B）	野口　早馬	弥生	埋葬		３個接合を中心とする
247	塚原石蓋土壙墓群	野口　塚原	弥生	埋葬		石蓋土、２基出土した
248	山下	山下　木佐貫	弥生	集落		完形多数出土
249	塚原古墳	野口　塚原	古墳	古墳		円墳、完形封土箱式石棺
250	塚原	野口　塚原	弥生	埋葬		中期、須玖系３基
251	下前原	下前原　正林	弥生	包蔵地		昭和32年発掘調査、鉄器をもつ
252	塚原箱式石棺群	野口　塚原	弥生	埋葬		弥生土器・須恵器少量
253	大原	野口　大原	古墳	包蔵地		住居跡４戸確認、箱石棺につづく
254	大原箱式石棺群	野口　大原	古墳	埋葬		安山岩箱式石棺13出土、12移復元
255	大原人骨出土地	野口　大原	縄文	包蔵地		人骨１躯伸展土葬
256	北尾崎	野口　北尾崎	弥生	包蔵地		弥生晩期土器・貨銭出土、Ａ・Ｂ区
257	貴船	野口　貴船	古墳	古墳		１基発見
258	貴船東	野口　貴船	弥生	包蔵地		弥生土器片の１群出土
259	尾崎	野口　尾崎	弥生後晩期	包蔵地		須恵器類、完形出土
260	尾崎貝塚	野口　尾崎	縄文	貝塚		専大玉名高々庭、阿高式
261	貴船西	野口　貴船	弥生	包蔵地		弥生後晩期土器少量
262	上鍋	鍋　小路	縄文	包蔵地		縄文期、蛇紋岩石斧
263	目倉尾	大野下　目倉尾	縄文	包蔵地		穀粒、山形連続押形文
264	中尾崎	中土　中尾崎	弥生	包蔵地		
265	中土楢ノ尾	中土　楢ノ尾ほか	縄文	包蔵地		
266	中土西	中土　西分・大跡	縄文	包蔵地		御領式中心
267	浜田西原	浜田　西原	古墳	包蔵地		主に須恵器・土師器
268	浜田吹上古墳	浜田　吹上	古墳	古墳		石材を残す
269	浜田西原古墳（参考地）	浜田　西原	古墳	古墳		石材を残す、古塔碑あり
270	浜田貝塚	浜田　西原	縄文	貝塚		縄文土器片、石錘出土
271	中土西宮の前	中土　四朗丸	古墳	包蔵地		完形土師器２個
272	東中土	中土　古井川	古墳	包蔵地		須恵完形土器数10個出土
273	山下西	山下　北原・久保	縄文	包蔵地		
274	下野口石蓋土坑墓	野口　西原	古墳	埋葬		発見１基
275	下野口	野口　西原	弥生	包蔵地		弥生土器類包含
276	大野小学校石蓋土坑墓	野口　前	古墳	埋葬		４基埋没
277	山下前畑	山下　前畑	弥生・古墳	包蔵地		弥生土器・土師器
278	中道	山下　天神木	弥生	包蔵地		米出土、弥生前期貝塚あり
279	中道石蓋土坑墓	山下　天神木	古墳	埋葬		貝塚中２基
280	庄司貝塚	山下　庄司	縄文中期	貝塚		阿高式
281	古閑原貝塚	山下　久々牟田	縄文中期	貝塚		炭化米、出土品多
282	弁財天古墳	高道　石橋	古墳	古墳	町	円墳、積石、舟形石棺中に弁財天を祀る
283	イッチャンサン	高道　久々牟田	古墳	包蔵地		野辺田式土器多量出土
284	石橋	高道　石橋	古墳	集落		野辺田式土器包含、貝塚あり
285	籐光寺跡	高道　大馬場	古墳	寺社		前方後円墳、後円部の東、今薬師堂あり
286	籐光寺古墳	高道　大馬場	古墳	古墳		前方後円墳、前方部に天満宮あり
287	幸長寺原	高道　幸長寺原	弥生後期	包蔵地		須恵器・土師器散布
288	山下・木佐貫貝塚	山下　木佐貫		貝塚		
289	京塚	開田　京塚	弥生～古墳	包蔵地		院塚古墳周辺
290	稲佐廃寺跡	稲佐　切畑	古代	寺社	県	古代寺院、塔礎石・金堂基壇の一部、布目瓦多量
291	宮の元	稲佐　切畑	弥生～中世	包蔵地		
292	山口	山口　長宗	弥生～中世	包蔵地		
293	稲佐切畑	稲佐　切畑	弥生	包蔵地		熊野神社全域、弥生土器片多量
294	窪田越前塚	木葉　久保田	古墳	古墳		墳丘上に箱式石棺の一部露出
295	町下	木葉　町下	古代・中世	包蔵地		青磁・土師器・須恵器・瓦器破片
296	音丸	白木　上古閑	弥生・古墳	包蔵地		弥生土器・土師器

第Ⅲ章　調査とその成果

第１節　遺構

１　はじめに

調査区はⅠ～Ⅲ区に分かれるが、遺構の数は少なく、Ⅰ区は土坑３基、溝２本、Ⅱ区は土坑２基、円墳の周溝１基、Ⅲ区は掘立柱建物１棟、土坑４基、溝３本である。ここでは遺構内容を項目ごとに分け、その概要を述べる。

２　掘立柱建物（SB）

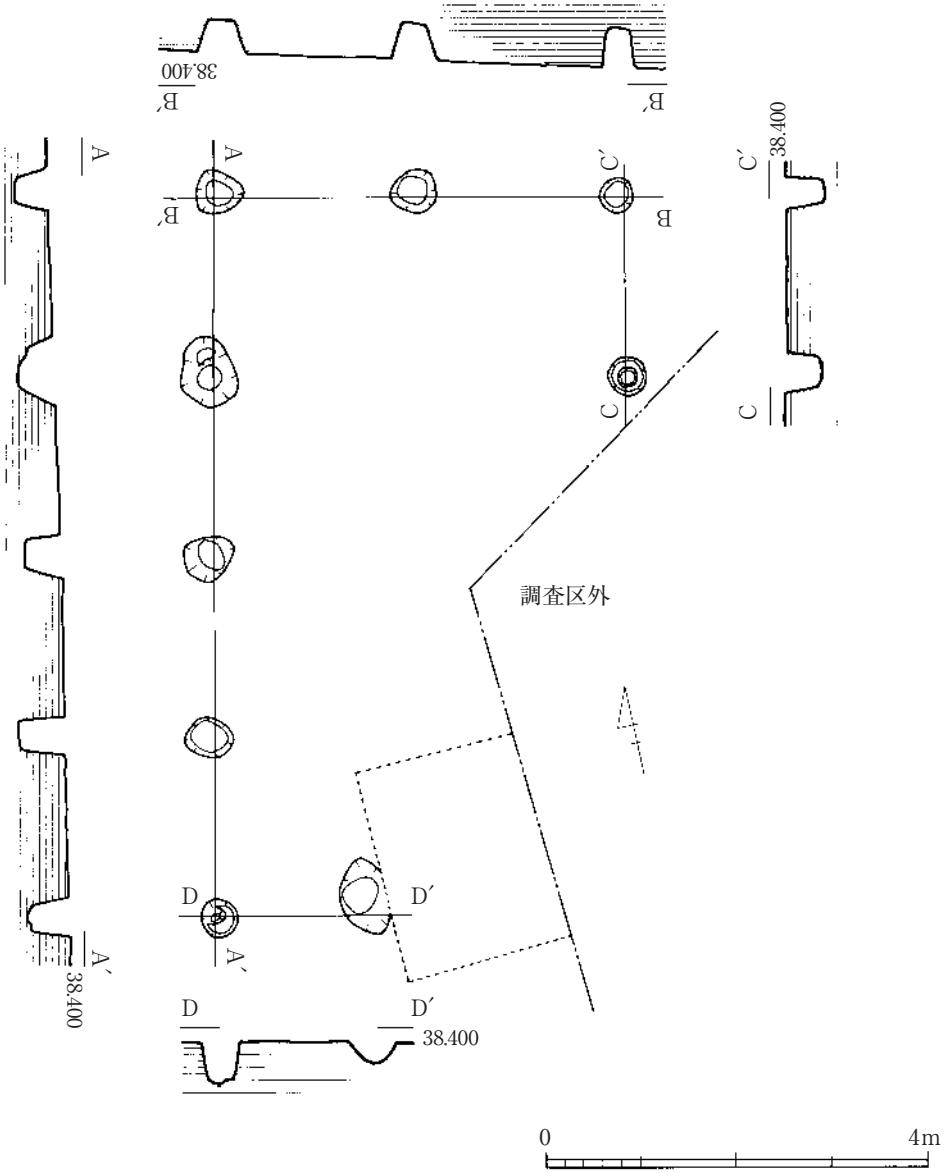
SB Ⅲ１（第５図）

Ⅲ区東側（C，D－４，５区）に位置する遺構で、南側の梁行きの一部が攪乱されている。桁行7.8m（約26尺）、梁行4.3m（約14.3尺）の４間×２間の南北棟建物で、桁行方向はN13°Eである。

柱間寸法は桁行約2.1m（約７尺）、梁行約1.9m（6.3尺）である。桁行き東側が調査区外に入り、梁行き南側が攪乱を受けている。

柱穴は直径40～60㎝、深さ40～50㎝である。柱穴の下端のレベルはほぼ一定している。

柱穴に柱痕跡は確認できなかった。



第５図　SB Ⅲ１　遺構実測図（１／80）

3　土坑（SK）

SK Ⅰ 1（第６図）はⅠ区東側（F－２区）に位置する。軸は東西に取り、E43°S。長軸1.0m、短軸0.4m の楕円形の土坑で、深さは50㎝。

SK Ⅰ 2（第６図）はⅠ区東側（G－１区）に位置する。軸は南北に取り、N９°E。長軸2.0m、短軸1.8m の楕円形の土坑で、深さは70㎝。

SK Ⅰ 3（第６図）はⅠ区東側（G－１，２区）に位置する。軸は東西に取り、E９°S。長軸1.95m、短軸1.1m の隅丸方形の土坑で、深さ20㎝である。

SK Ⅱ 1（第６図）はⅡ区東側（E－４区）に位置し、円墓を切る。軸は東西に取り、E５°N。長軸1.4m、短軸0.9m の隅丸三角形の土坑で、深さは25㎝。

SK Ⅱ 2（第６図）はⅡ区東側（F－３区）に位置する。軸を東西に取り、E12°S。長軸1.6m、短軸1.5m の隅丸方形の土坑で、深さは50㎝。

SK Ⅲ 1（第７図）はⅢ区のほぼ中央（D－４区）に位置し、２基の切り合いと思われる。切り合い関係は不明。軸はそれぞれ東西に取り、北側がE15°S、南側がE３°S。北側の土坑は、長軸3.0m、短軸2.1m のほぼ楕円形で、深さは20㎝。南側の土坑は、長軸1.6m、短軸1.5m の隅丸方形で、深さは35㎝。

SK Ⅲ 2（第７図）はⅢ区のほぼ中央（B－４区）に位置する。軸を南北に取り、N８°E。長軸1.3m、短軸0.9m の不定形土坑で、深さは50㎝。

SK Ⅲ 3（第８図）はⅢ区北側（E－２区）に位置する。SK Ⅲ４と切り合っており、一部が調査区外にかかる。切り合い関係については不明。軸を南北に取り、N42°W。長軸2.9m、短軸1.6m 楕円形の土坑で、深さは50㎝。

SK Ⅲ 4（第８図）はⅢ区北側（E－２区）に位置し、SK Ⅲ３と切り合っている。切り合い関係については不明。軸を南北に取り、N17°W。長軸2.7m、短軸1.6m の楕円形の土坑で、深さは20㎝。

4　溝（SD）

SD Ⅱ 1（第９図）

Ⅱ区南側に位置し、幅約0.8m ほどの溝が円形に巡る。古墳の周溝と思われる。削平を受け、深さは約20㎝ほどである。

SD Ⅰ 1（第10図）

Ⅰ区東側に位置し、南北に走る溝。南で直角に西方向に折れ、何らかの区画を示す溝と思われる。幅は約0.8m で、深さは約20㎝である。蒲鉾型の掘り方を持つ。

SD Ⅲ 1（第10図）

Ⅲ区北側に位置し、東西に走る溝。SD Ⅲ２と平行して走る。幅は約0.4m で、深さは約10㎝である。大きく削平を受けている。

SD Ⅲ 2（第10図）

Ⅲ区北側に位置し、東西に軸を取り、鋭角に屈折する溝。東西軸はSD Ⅲ１と平行する。幅は約0.4～0.8㎝で、深さは約30㎝である。

SD Ⅲ 3（第11図）

Ⅲ区南側に位置し、東西に走る大溝。幅は約3.6～7.2㎝で、深さは約160㎝である。隅丸三角の堀方を持ち、大量の遺物が出土した。

第２節　遺構に伴う遺物

12－1　SK Ⅰ２より出土した土師器坏。調整は摩滅して不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい橙色。

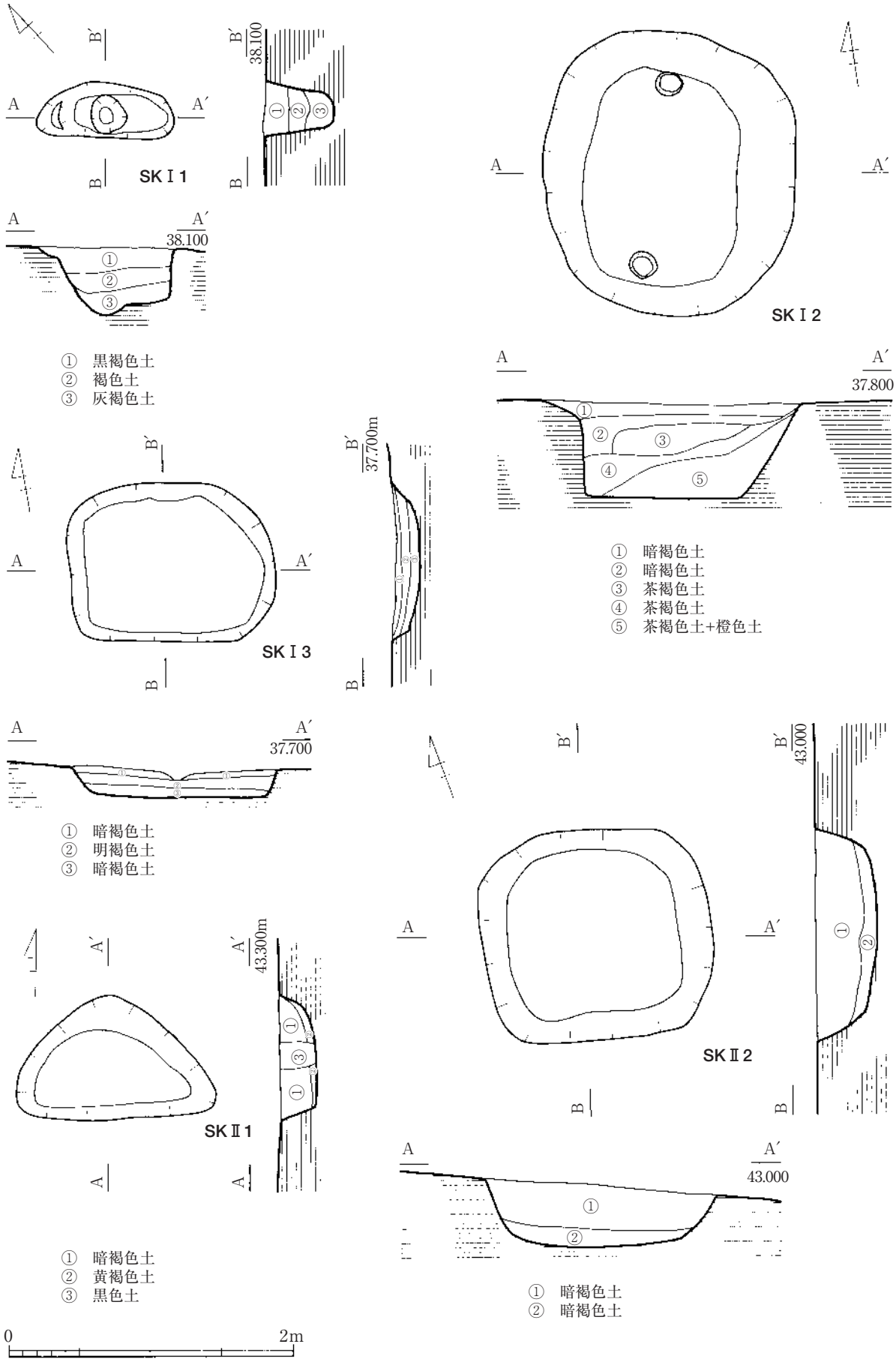
12－2　SK Ⅰ２より出土した須恵器坏。底部はヘラ切り。見込みは回転ナデ調整の後、横ナデを数回行う。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや良。色調は灰褐色。

12－3　SK Ⅰ２より出土した須恵器坏。調整は摩滅して不明。胎土は細かい。焼成は良。色調は灰白色。

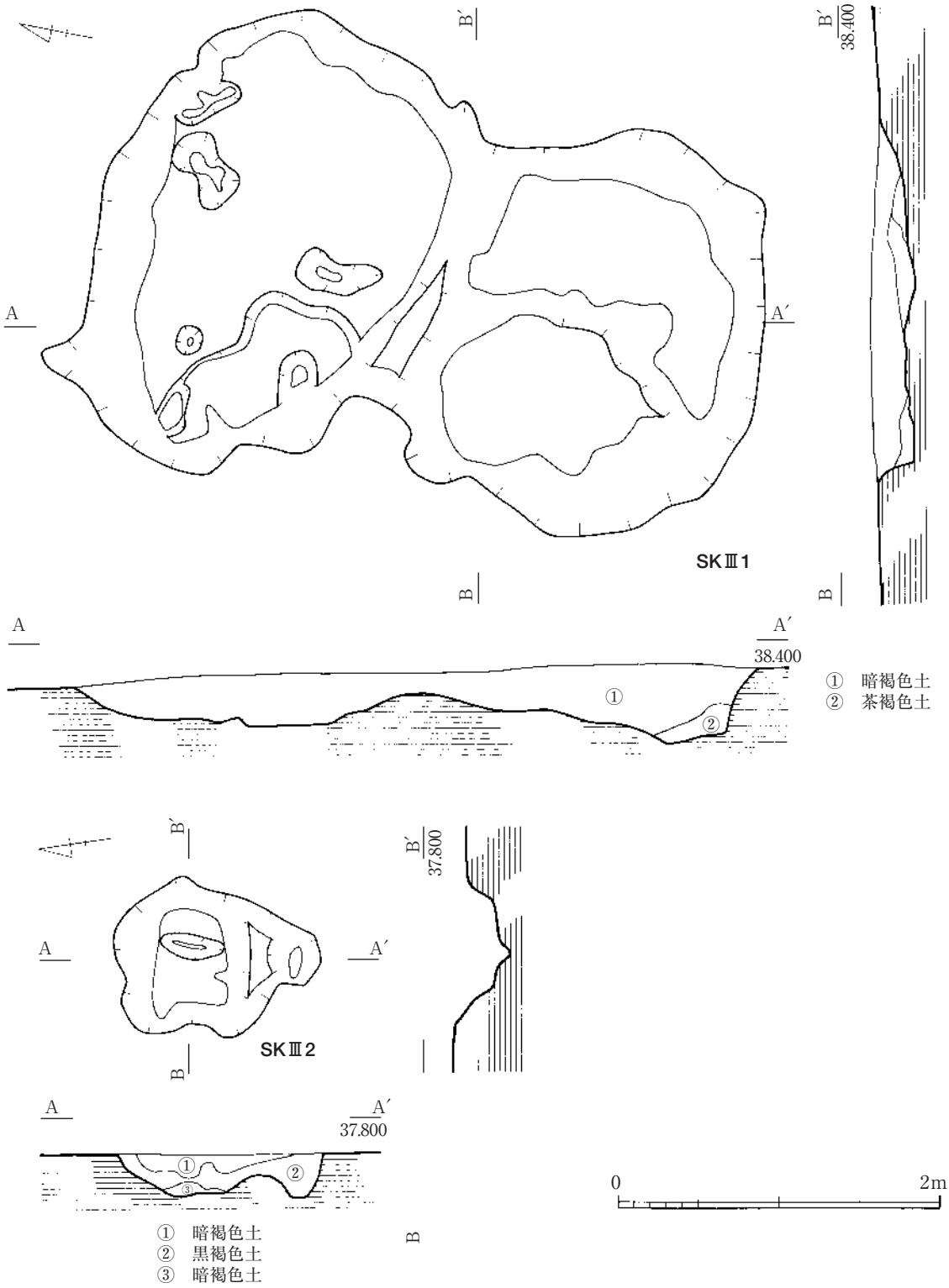
12－4　SK Ⅰ２より出土した須恵器坏。調整は摩滅して不明。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

12－5　SK Ⅰ２より出土した須恵器甕で口縁部の破片。復元口径15.7㎝。口縁部は外反し、口唇部は外面を平らに調整する。口縁部内外面はナデ調整。胎土は細かい。焼成は悪く、色調は赤橙色。

12－6　SK Ⅰ２より出土した須恵器壺で肩部の破片。内外面ナデ調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗



第６図　SK Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３・Ⅱ１・Ⅱ２　遺構実測図（１／40）



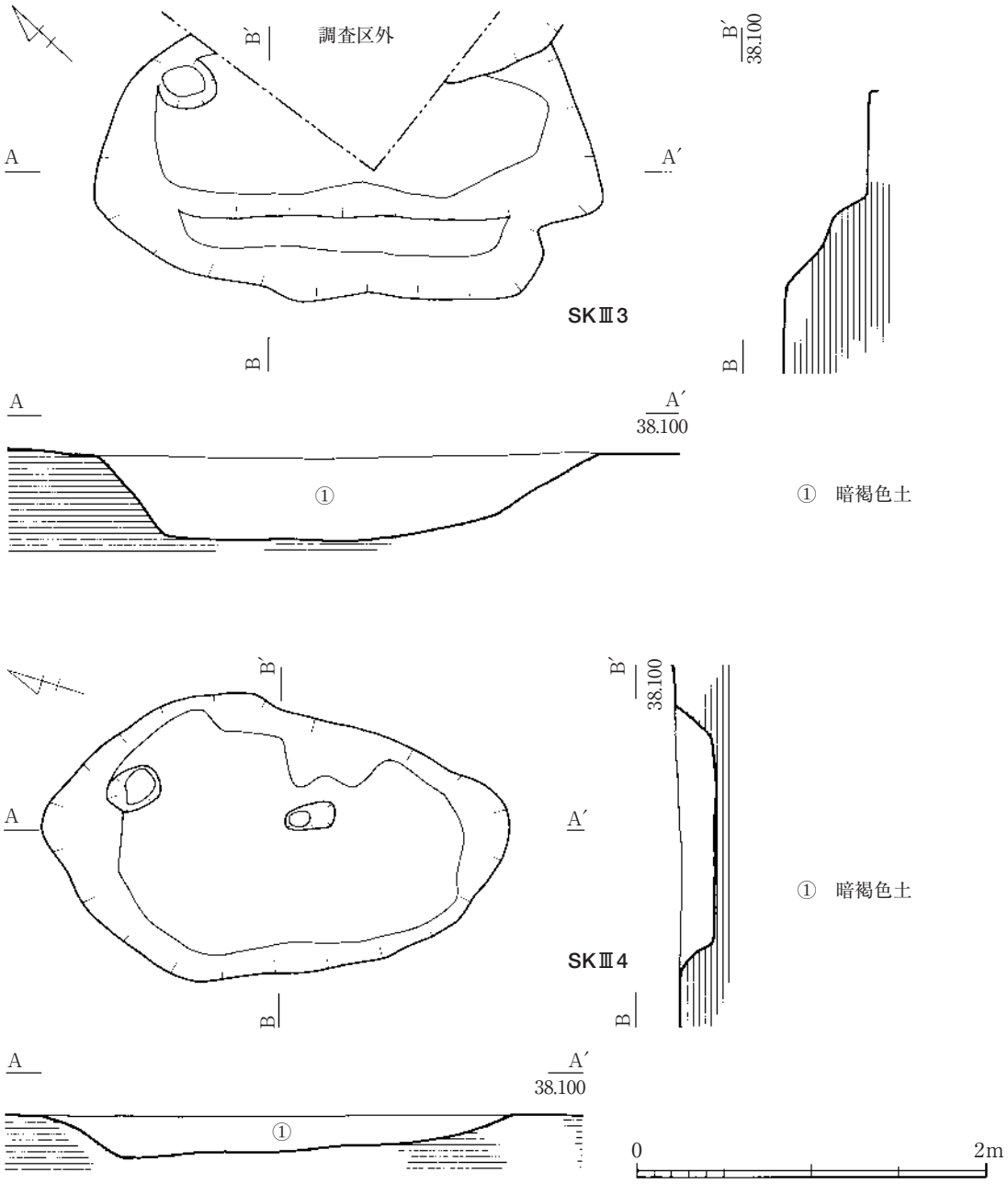
第７図　SK Ⅲ１・Ⅲ２　遺構実測図（１／40）

い。焼成はやや良。色調はにぶい褐色。

12－7　SK Ⅰ２より出土した須恵器甕で胴部の破片。内面は大きな平行の当て具痕。外面は平行タタキ。胎土は砂粒が混じりやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

12－8　SK Ⅰ２より出土した須恵器甕で胴部の破片。内面は幅の広い平行当て具痕。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が混じりやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

12－9　SK Ⅰ２より出土した須恵器壺で胴部の破



第８図　SK Ⅲ３・Ⅲ４　遺構実測図（１／40）

片。内面は同心円の当て具痕をナデ消している。外面は格子目タタキのあとナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい黄色。

12―10　SK Ⅰ２より出土した須恵器甕で胴部の破片。内面は大きな同心円の当て具痕。外面は格子目タタキで良く叩き締めてある。胎土は砂粒が混じりやや細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい黄橙色。

12―11　SK Ⅰ２より出土した丸瓦。凹面に布目の痕跡が残り、凸面に平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まり、色調は暗灰色。

12―12　SK Ⅰ２より出土した緑釉碗で、長門産のものと思われる。胎土は細かく、色調はクリーム色。見込みに一部緑釉が残る。

12―13　SK Ⅰ３より出土した土師器坏。摩滅して調整は不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい黄橙色。

12―14　SK Ⅰ３より出土した土師器高坏。摩滅して調整は不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は橙色。

12―15　SK Ⅰ３より出土した土師器坏。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい橙色。

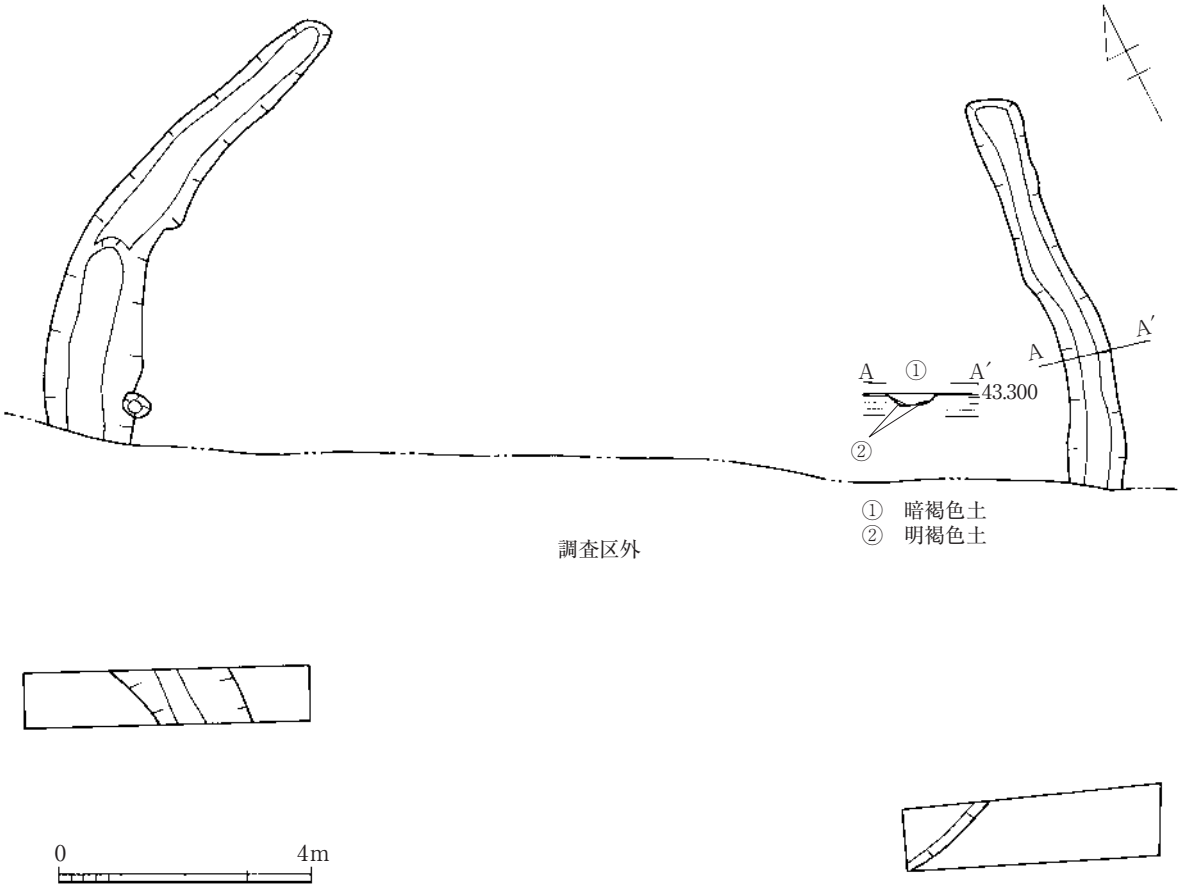
12―16　SK Ⅰ３より出土した須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底部の外側に付き、接地面が細くなる。外面は回転ナデ調整で、見込みは横ナデを施す。胎土は砂粒があるが細かい。良く焼き締まる。色調は暗赤灰色。

12―17　SK Ⅰ３より出土した須恵器坏。復元口径12.3㎝。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。良く焼き締まる。色調は灰色。

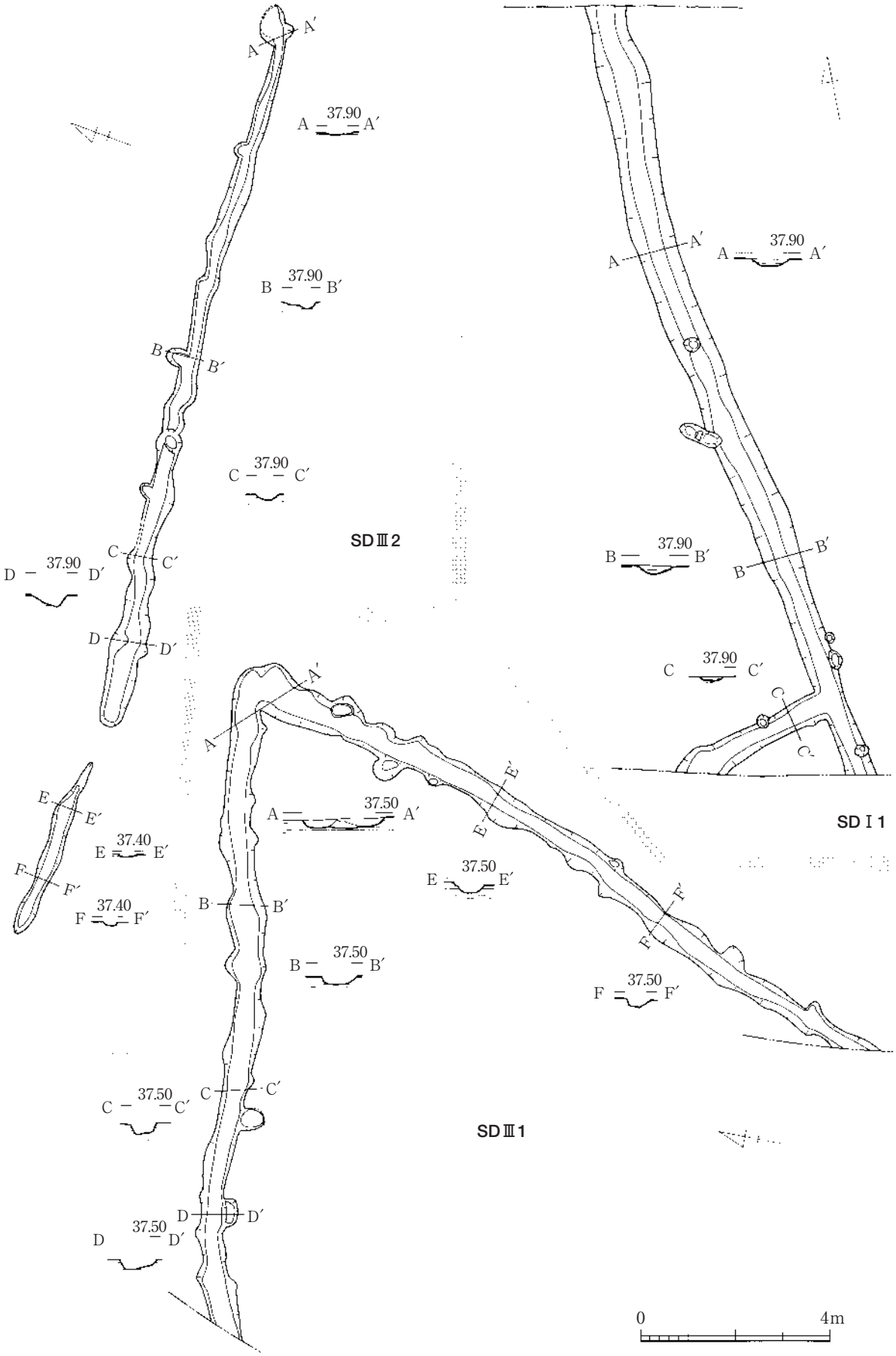
13―１　須恵器坏身。底部はヘラ切り。高台は底部の外側に付く見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は灰褐色。

13―２　須恵器坏蓋。上面にはヘラ切り痕が残る。他は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。色調はにぶい黄橙色。

14―１　土師器坏。口径12.5㎝。器高3.6㎝。底部



第９図　SD Ⅱ１　遺構実測図（１／120）



第10図　SD Ⅰ 1・Ⅲ 1・Ⅲ 2　遺構実測図（1／120）

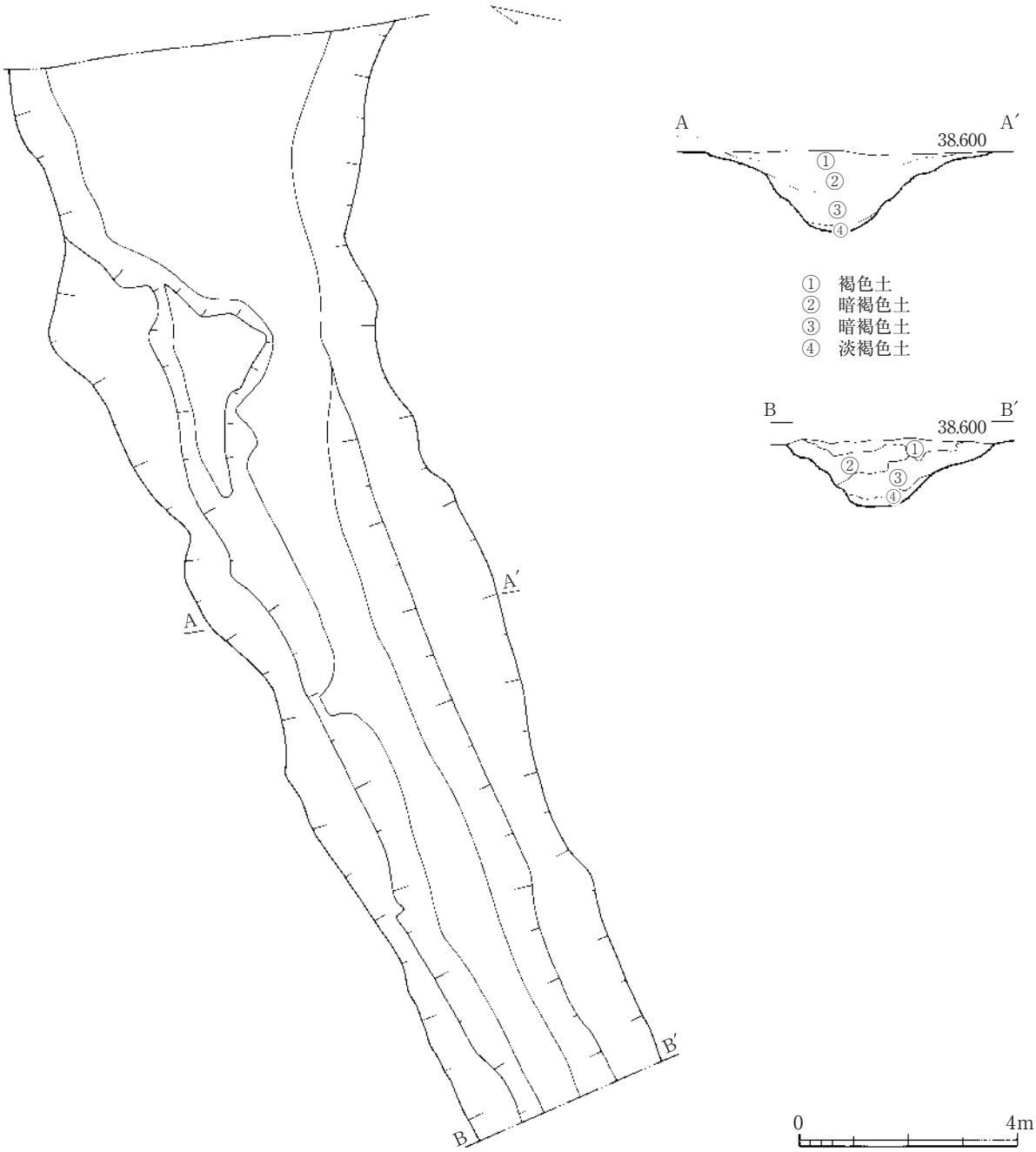
はヘラ切り。体部は丸みを持ちながら大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは軽く横ナデをする。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい橙色。

14－2　土師器坏。復元口径12.9㎝。器高3.25㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は淡黄色。

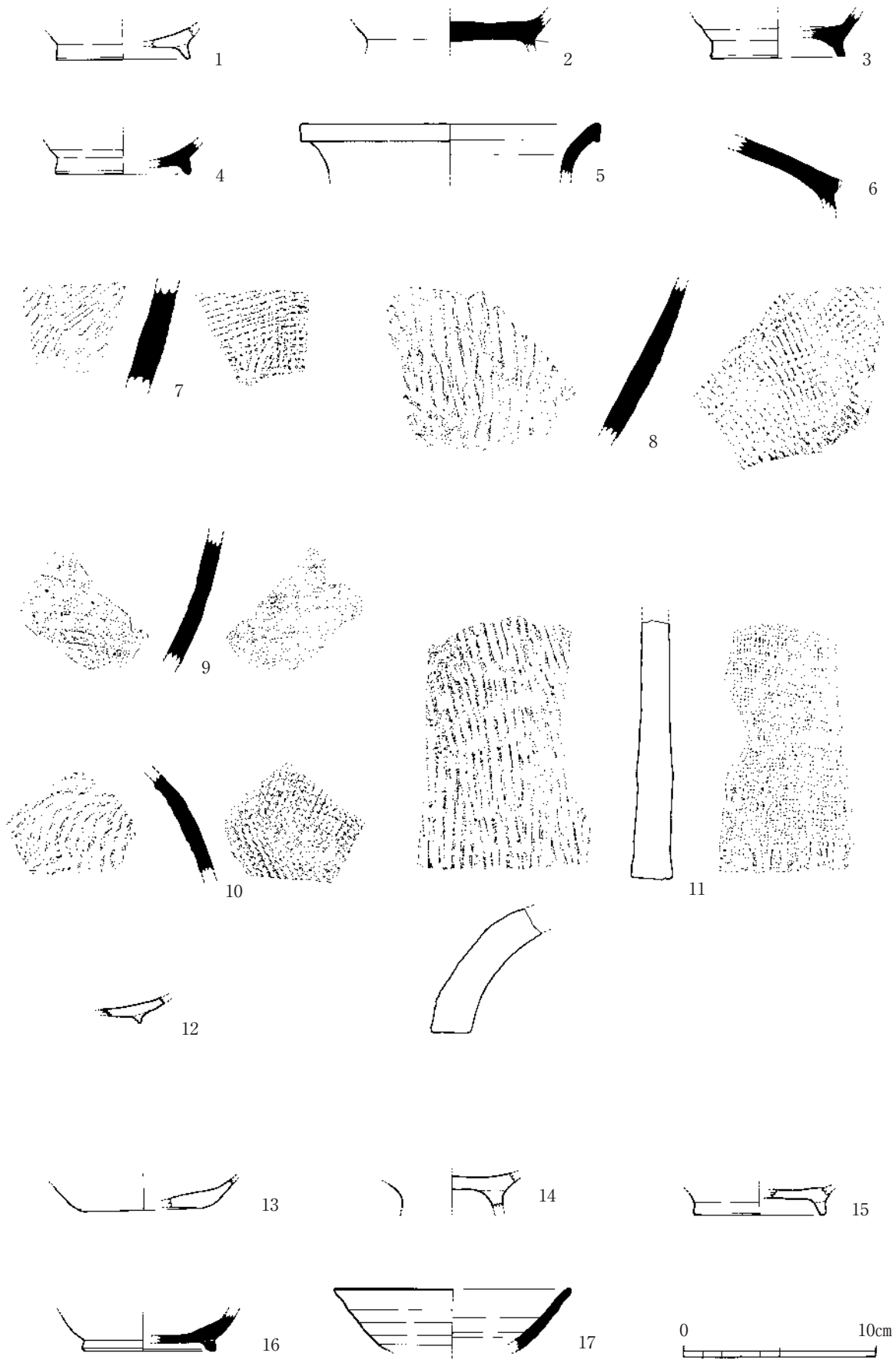
14－3　土師器坏。底部はヘラ切り。高台は高く、底部の外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少ないがやや粗い。色調はにぶい黄橙色。

14－4　土師器坏。口径13.5㎝。器高3.5㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開き、形状はいびつ。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。色調はにぶい黄橙色。

14－5　土師器坏。復元口径13.6㎝。器高2.35㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開き、口縁



第11図　SD Ⅲ 3　遺構実測図（1／120）



第12図　SK Ⅰ２・Ⅰ３　出土遺物実測図（１／３）

部でやや外反する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは軽く横ナデをする。胎土は砂粒が混じりやや粗い。色調は明黄褐色。

14－6　土師器坏。底部はヘラ切り。高台は高く、底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は黄橙色。

14－7　土師器坏。口径12.4㎝。器高3.7㎝。底部はヘラ切り後、横ナデ。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい橙色。

14－8　土師器坏蓋。丸みを持った器形で、端部を外折する輪状つまみを付ける。外面上部はヘラ切り痕が残り、全体に不定のナデ調整。内面も不定のナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は淡黄色。

14－9　土師器椀。復元口径12.5㎝。器高5.4㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開きながら端部で外反する。高台は低くいびつで、底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指で強く押さえたロクロ目が付く。見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい橙色。

14－10　土師器椀。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台は低く、底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指で強く押さえたロクロ目が付く。見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は暗灰色。

14－11　土師器椀。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台は低く、底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指で強く押さえたロクロ目が付く。見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調は浅黄色。

14－12　土師器椀。底部はヘラ切り。高台は高く、底面外側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調はにぶい橙色。

14－13　土師器椀。底部はヘラ切り。高台は高く、底面外側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

14－14　土師器皿。復元口径15.0㎝。器高2.2㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい黄橙色。

14－15　土師器鉢。復元口径13.2㎝。器高5.7㎝。体部はやや外に開きながら直立し、口縁部で外反する。口縁部付近に断面楕円の把手が付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が多く粗い。色調はにぶい黄橙色。

14－16　土師器鉢。体部は直線的にやや外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指で強く押さえたロクロ目が付く。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調は橙色。

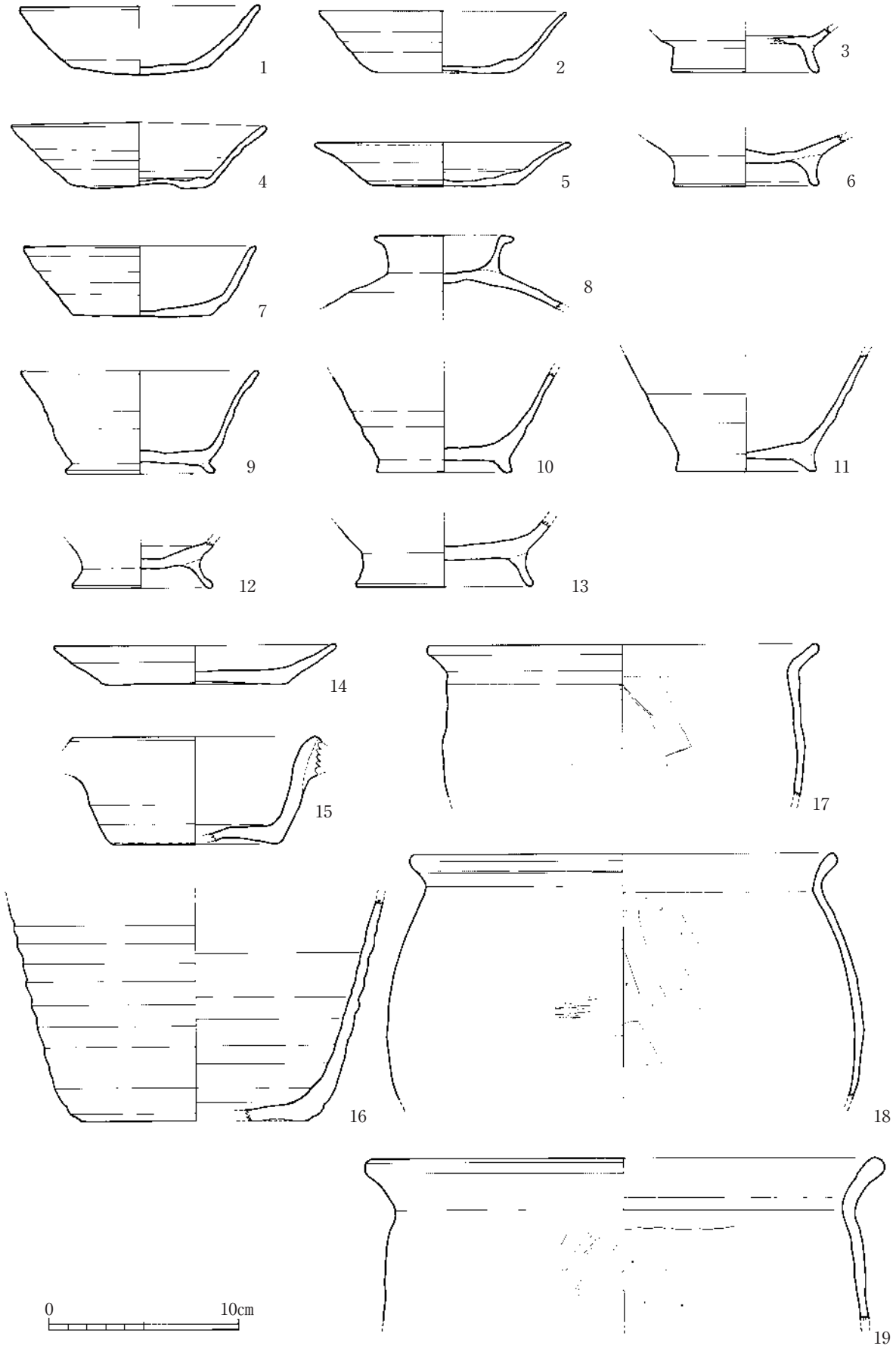
14－17　土師器甕。復元口径20.8㎝。口縁部は外折し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面は横方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は褐色。

14－18　土師器甕。復元口径22.8㎝。口縁部は緩く外反する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方にヘラ削りを行い、器肉が薄い。体部外面は横方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調はにぶい黄橙色。

14－19　土師器甕。復元口径27.5㎝。口縁部は緩く外反する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面は縦にハケ目調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は橙色。

15－1　土師器甕。復元口径23.9㎝。口縁部は緩く外反する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。

第13図　SK Ⅱ 2　出土遺物実測図



第14図　SK Ⅲ 1　出土遺物実測図①（1／3）

胎土は砂粒が多く、やや粗い。色調は浅黄橙色。

15－2　土師器甕。復元口径18.3㎝。口縁部は外反する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行い、器肉が薄い。体部外面は回転ナデ調整。胎土は砂粒は少なく、やや細かい。色調はにぶい褐色。

15－3　須恵器坏。復元口径13.0㎝。器高2.65㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒が多く混じるが細かい。焼成はやや良。色調は灰白色。

15－4　須恵器坏。復元口径11.9㎝。器高3.9㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目が付く。見込みは軽く横ナデをする。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰色。

15－5　須恵器坏。復元口径11.4㎝。器高3.85㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒少なく細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい黄色。

15－6　須恵器坏。復元口径12.2㎝。器高3.3㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面口縁部付近に指の強い押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は灰黄色。

15－7　須恵器坏。復元口径11.5㎝。器高3.45㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が多く粗い。焼成はやや甘い。色調は灰黄色。

15－8　須恵器坏。復元口径12.9㎝。器高2.2㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が多く粗い。焼成はやや甘い。色調はにぶい黄色。

15－9　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい灰橙色。

15－10　須恵器坏。底部はヘラ切り。やや高い高台が底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデをする。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は灰黄色。

15－11　須恵器坏。底部はヘラ切り。体部は丸みを持ち、やや開く。外面底部付近にはヘラ削りを行い、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

15－12　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒がまじり、やや粗い。焼成は甘い。色調は浅黄色。

15－13　須恵器坏。底部はヘラ切り。やや高い高台が底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい黄橙色。

15－14　須恵器坏。復元口径14.6㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持ち、やや開く。外面底部付近にはヘラ削りを行い、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は暗灰黄色。

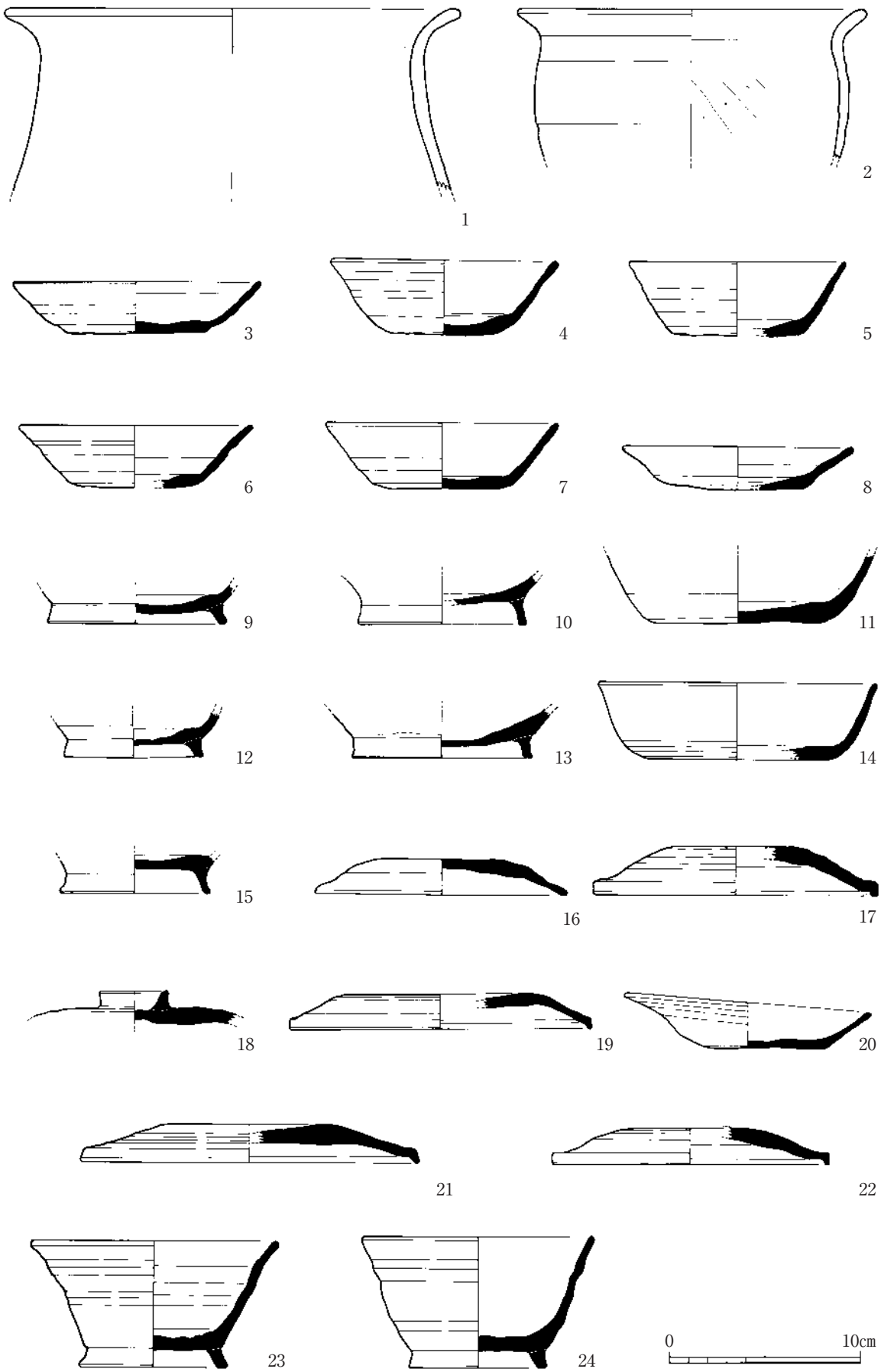
15－15　須恵器坏。底部はヘラ切り。やや高い高台が底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒がまじり、やや粗い。焼成はやや良。色調は黄灰色。

15－16　須恵器坏蓋。復元口径12.9㎝。上面は平らで、緩い弧を描いて口縁部に至り、端部はやや水平にする。外面上部付近は回転ヘラ削り調整。内面平坦部は横ナデ。他は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成はやや良。色調は灰黄色。

15－17　須恵器坏蓋。復元口径15.0㎝。上面は平らで、緩い弧を描いて口縁部に至る。端部は水平にし、受けを作る。外面上部付近は回転ヘラ削り調整。内面平坦部は横ナデ。他は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は浅黄橙色。

15－18　須恵器坏蓋。上面は平らで、輪状つまみを付ける。外面上部には回転ヘラ削り調整。内面平坦部は横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は橙色。

15－19　須恵器坏蓋。復元口径15.8㎝。上面は平ら



第15図　SK Ⅲ 1　出土遺物実測図②（1／3）

で、緩い弧を描いて口縁部に至る。端部は水平にし、受けを作る。外面上部には回転ヘラ削り調整。内面平坦部は横ナデ。他は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

15－20　須恵器坏。復元口径13.0㎝。器高2.6㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

15－21　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径17.8㎝。上面は平らで、緩く屈折して直線的に口縁部に至る。端部はやや水平にし、受けを作る。外面上部には回転ヘラ削り調整。櫛で輪状に溝を彫り、輪状つまみの痕跡がある。外面体部は単位の細かな回転ヘラ削り調整。内面平坦部は横ナデ。他内面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい赤橙色。

15－22　須恵器坏蓋。復元口径14.6㎝。体部は緩く弧を描き口縁部に至る。端部は水平にし、受けを作る。外面は広く回転ヘラ削り調整。外面口縁部付近はナデ調整。外面口縁部付近に他個体の口縁部が張り付く。内面は回転ナデ調整。胎土は砂粒がやや混じるが細かい。焼成は良。内面と外面口縁部付近に自然釉が付く。色調は灰白色。

15－23　須恵器椀。口径13.0㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開き、口縁部はやや外反する。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。内側に強い指の押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒がまじるが、やや細かい。焼成は甘い。色調は黄灰色。

15－24　須恵器椀。復元口径12.2㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的開くが、腰が張る。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。外側に強い指の押圧によるロクロ目が付く。見込みは軽く横ナデを施す。胎土は砂粒がまじるが、やや細かい。焼成は甘い。色調は明茶灰色。

16－1　須恵器椀。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、ややいびつ。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒がやや混じるが細かい。焼成は甘い。色調は浅黄色。

16－2　須恵器椀。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは１、２回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は灰黄色。

16－3　須恵器椀。復元口径13.6㎝。器高8.7㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは１、２回横ナデを行う。胎土は砂粒がやや混じるが細かい。焼成は甘い。色調は灰黄色。

16－4　黒色土器Ａ類の椀。復元口径13.8㎝。器高7.0㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。高い高台が底面外側に付き、端部で外反する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを行う。胎土は砂粒がやや混じるが細かい。色調は内面が黒色、外面が黄褐色。

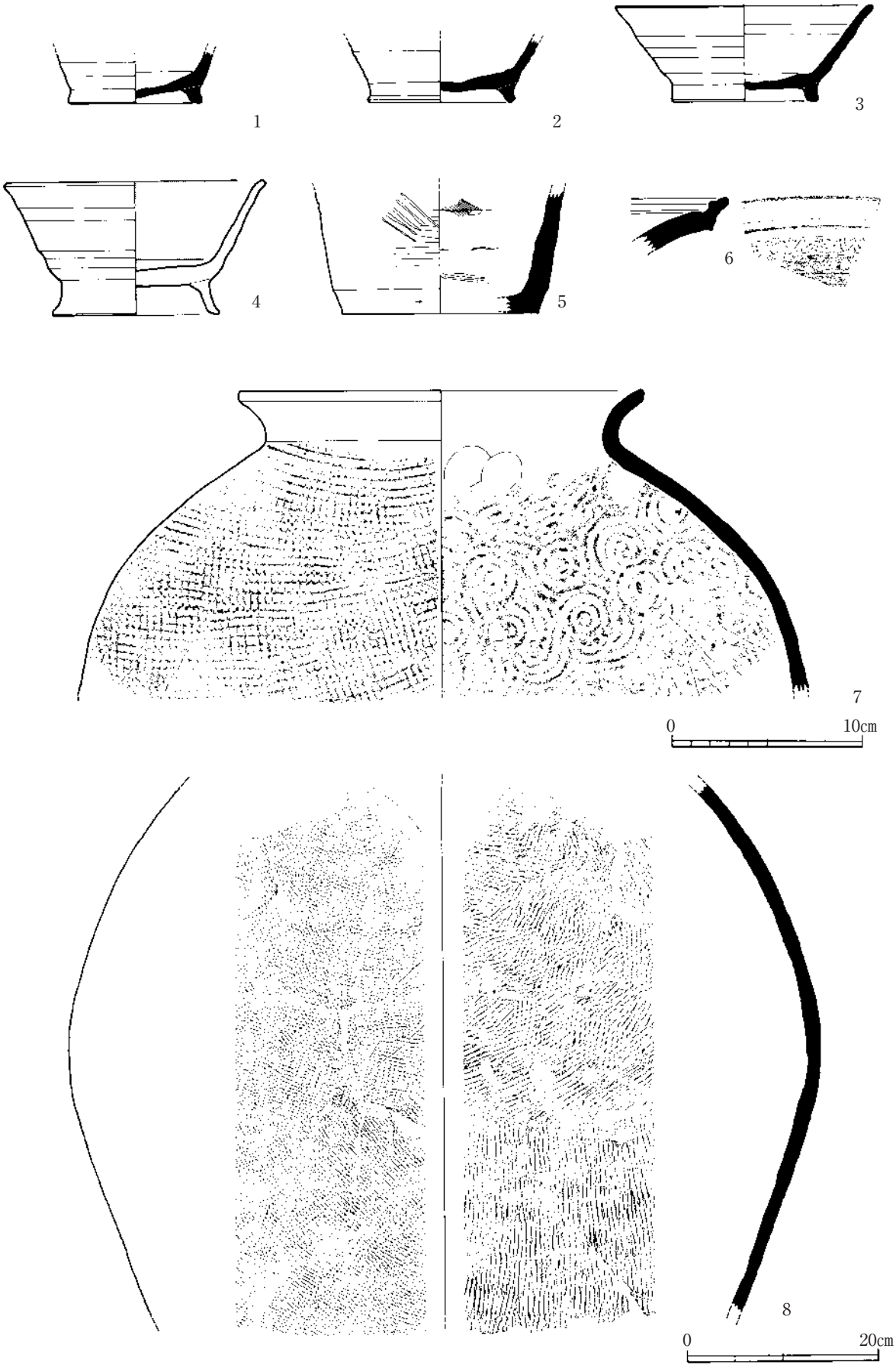
16－5　須恵器壺の底部の破片。体部は直線的にやや開く。外面は平行タタキの後、ハケ目調整。内面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成は甘い。色調はにぶい赤褐色。

16－6　須恵器甕で口縁部の破片。複合口縁で、口唇部はつまみ上げて外反する。内外面は回転ナデ調整。屈曲部下にはヘラ描きによる波状文。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は内面が灰色、外面が赤褐色。

16－7　須恵器甕。復元口径21.1㎝。丸みを持った体部に単純口縁を持つ。口縁部は内外面とも回転ナデ調整。体部は内面に同心円当て具、外面に格子目タタキ痕が残る。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は甘い。色調は淡黄色。

16－8　須恵器甕。復原胴部最大径78.6㎝。胴部の最大径は中位にあり、丸みを帯びた器形。内面は上位にランダムな平行当て具痕、下位に整然と上下方向に並ぶ平行当て具痕で、後者が前者を切る。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。焼成はやや良。色調は表面が灰色で、胎土は赤褐色。

17－1　SKⅢ１より出土した須恵器甕で胴部の破片。内面は平行当て具痕と同心円の当て具痕が混在。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は灰色。



第16図　SK Ⅲ 1　出土遺物実測図③（1／3）（1／6）

17－2　SK Ⅲ３より出土した黒色土器Ａ類椀。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒がまじるが、やや細かい。色調は内面が黒色、外面は褐灰色。

17－3　SK Ⅲ３より出土した須恵器坏。復元口径13.2㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開き、口縁部はやや外反する。高台は底面外側に付き、外に開く。内外面とも下半に回転ヘラ削りを行い、上半は回転ナデを行う。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はオリーブ灰色。

17－4　SK Ⅲ４より出土した須恵器坏。復元口径13.4㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデを行う。見込みは１回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調はにぶい黄褐色。

17－5　SK Ⅲ４より出土した須恵器坏蓋。上面は平らで、外面上部には回転ナデ調整。宝珠状のつまみを付ける。内面はつまみ接着時の押圧痕がある。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰色。

17－6　SD Ⅲ１より出土した須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付く。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

17－7　SD Ⅲ１より出土した須恵器坏蓋。体部は丸みを帯び口縁部に至る。端部は水平にし、受けを作る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

17－8　SD Ⅲ１より出土した須恵器坏蓋。小岱系。上面は平らで、外面上部には回転ナデ調整。宝珠状のつまみを付ける。内面は横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

17－9　SD Ⅲ１より出土した須恵器坏蓋。小岱系。宝珠状のつまみ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい黄橙色。

17－10　SD Ⅲ１より出土した須恵器椀。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、直立気味。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰色。

17－11　SD Ⅲ１より出土した須恵器壺で肩部の破片。内面は当て具痕をナデ消し、外面はヘラ削りを行う。胎土は少なく細かい。焼成は良。色調は灰オリーブ色。

17－12　SD Ⅲ３より出土した土師器坏。底部は糸切り。見込みは数横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。色調はにぶい黄橙色。

17－13　SD Ⅲ３より出土した土師器坏。底部は糸切り。見込みは同心円状にヘラ削り痕。胎土は砂粒混じり、やや粗い。色調はにぶい黄橙色。

17－14　SD Ⅲ３より出土した須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、外に開く。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

17－15　SD Ⅲ３より出土した須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、直立する。体部外面は回転ヘラ削り、内面は回転ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。外面には自然釉がかかる。色調は灰黄色。

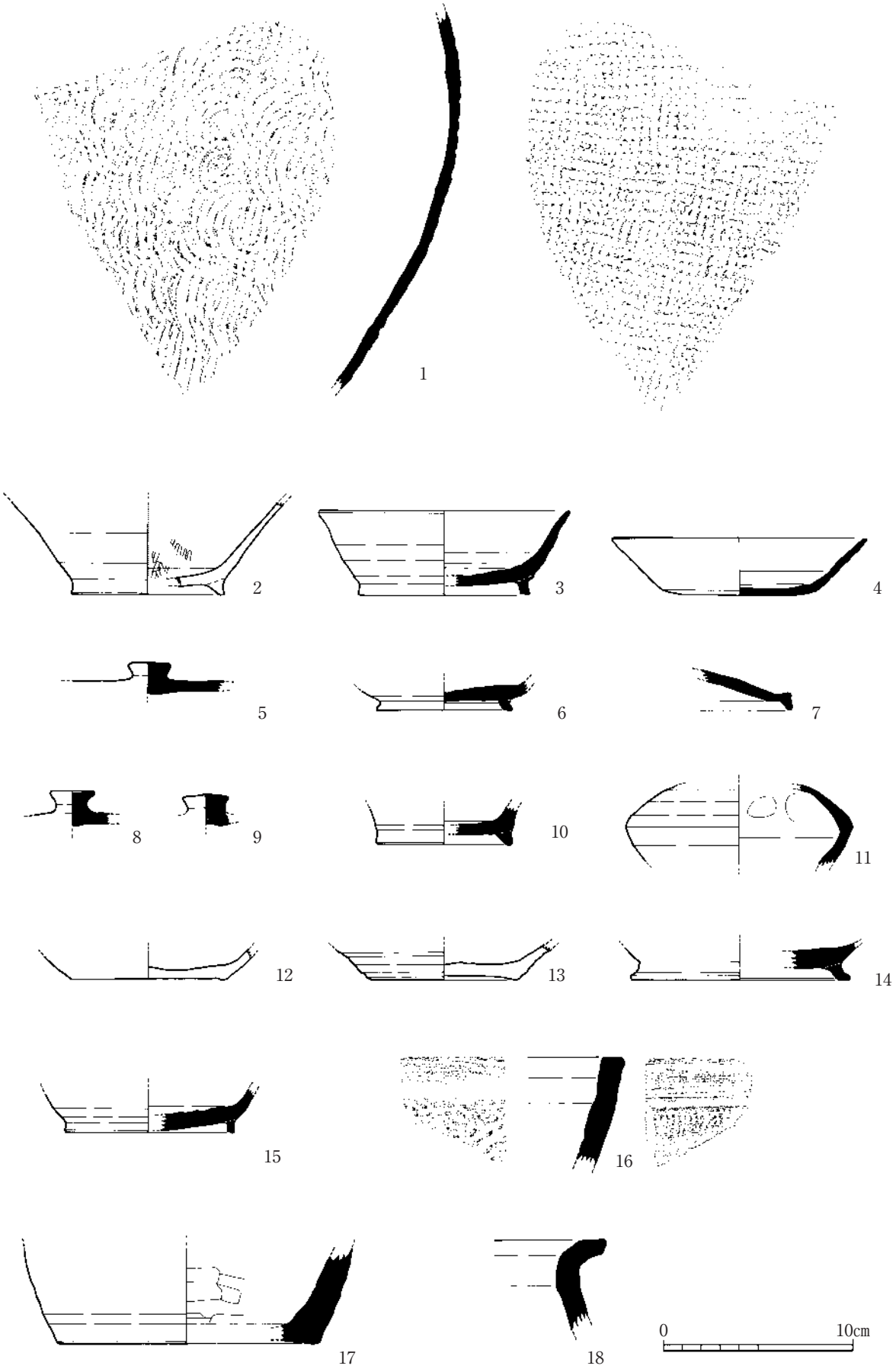
17－16　SD Ⅲ３より出土した須恵器鉢で口縁部の破片。器形は口縁部ではほぼ直立する。内面に同心円当て具、外面に格子目タタキが口縁部付近まで残り、口縁部は内面が回転ナデ、外面が回転ヘラ削りで消す。胎土は砂粒は少ないがやや粗い。焼成は良。色調は灰色。

17－17　SD Ⅲ３より出土した須恵器壺で底部の破片。内面は横方向にヘラ削り、外面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成がやや良。色調は黄褐色。

17－18　SD Ⅲ３より出土した須恵器甕で口縁部の破片。単純口縁。口縁部付近内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成がやや良。色調は灰色。

18－1　SD Ⅰ１より出土した土師器坏。復原底径9.1㎝。胎土は砂粒がややまじるが細かい。底部はヘラ切り。調整は摩滅して不明。色調はにぶい黄橙色。

18－2　SD Ⅰ１より出土した土師器椀。胎土は砂粒がややまじりやや粗い。調整は摩滅して不明。色調はにぶい黄橙色。



第17図　SK Ⅲ1・Ⅲ3・Ⅲ4、SD Ⅲ1・Ⅲ3　出土遺物実測図（1／3）

18－3　SD Ⅰ１より出土した土師器椀。胎土は砂粒がややまじるが細かい。調整は摩滅して不明。色調は橙色。

18－4　SD Ⅰ１より出土した土師器甕。復元口径27.4㎝。胎土は砂粒が混じり粗い。口縁部は緩く外反する。調整は摩滅して不明。色調はにぶい黄橙色。

18－5　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏。高台は底面の外側につき、ナデにより端部を尖らせる。胎土は砂粒が混じりるが細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成は甘く、色調は橙色。

18－6　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。平らな器形で、端部は下方へ曲げる。胎土は砂粒が少なく細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成はやや甘く、色調は灰色。

18－7　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。復元口径19.8㎝。湾曲した器形で、口縁部付近で下方へ曲げる。胎土は砂粒が少なく細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成は甘く、色調はにぶい橙色。

18－8　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。復元口径16.7㎝。平らな器形で、口縁部付近で下方に折れ、端部は緩やかに開く。胎土は砂粒が少なくやや細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成はやや甘く、色調はにぶい黄灰色。

18－9　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。復元口径28.5㎝。湾曲した器形で、口縁部で平坦にした後、下垂する。胎土は砂粒が少なく細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成はやや良。色調は外面が灰白色で、内面と口唇部が灰色。

18－10　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。平らな器形。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。外面は回転ヘラ削り。色調は灰色。

18－11　SD Ⅰ１より出土した須恵器坏蓋。湾曲した器形で、口縁部で平坦にした後、下垂する。胎土は砂粒が少なく細かい。内外面とも回転ナデ調整。焼成は良。色調は外面が灰白色で、内面と口唇部が暗灰色。

18－12　SD Ⅰ１より出土した須恵器甕で胴部の破片。胎土は砂粒が少なくやや細かい。内面は弧を描く平行の当て具痕。外面は平行タタキ。焼成は甘く、色調はにぶい黄橙色。

18－13　SD Ⅰ１より出土した須恵器甕で胴部の破片。胎土は砂粒が混じりるが細かい。内面は同心円と平行の当て具痕。外面は平行タタキ。器肉が薄く、良く焼き締まっている。色調は外面が黒褐色、内面は灰褐色。

18－14　SD Ⅰ１より出土した須恵器甕で胴部の破片。胎土は砂粒が少なく細かい。内面は平行の当て具痕。外面は格子目と平行タタキ。色調は外面がにぶい赤褐褐色、内面は暗灰黄色。

18－15　SD Ⅰ１より出土した平瓦。凹面に布目の痕跡、凸面に大きな格子目タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良く、色調は淡灰色。

18－16　SD Ⅰ１より出土した熨斗瓦。凹面に布目の痕跡、凸面に縄目タタキが残る。胎土は砂粒が多く粗い。焼成は良く、色調は淡灰色。

18－17　SD Ⅰ２より出土した土師器甕。復元口径19.0㎝。胎土は砂粒が多く粗い。口縁部は緩く外反する。胴部内面はヘラ削り。色調は橙色。

18－18　SD Ⅰ２より出土した土師器甕。復元口径20.2㎝。胎土は砂粒が多く粗い。口縁部は外反する。胴部内面はヘラ削り。色調は橙色。

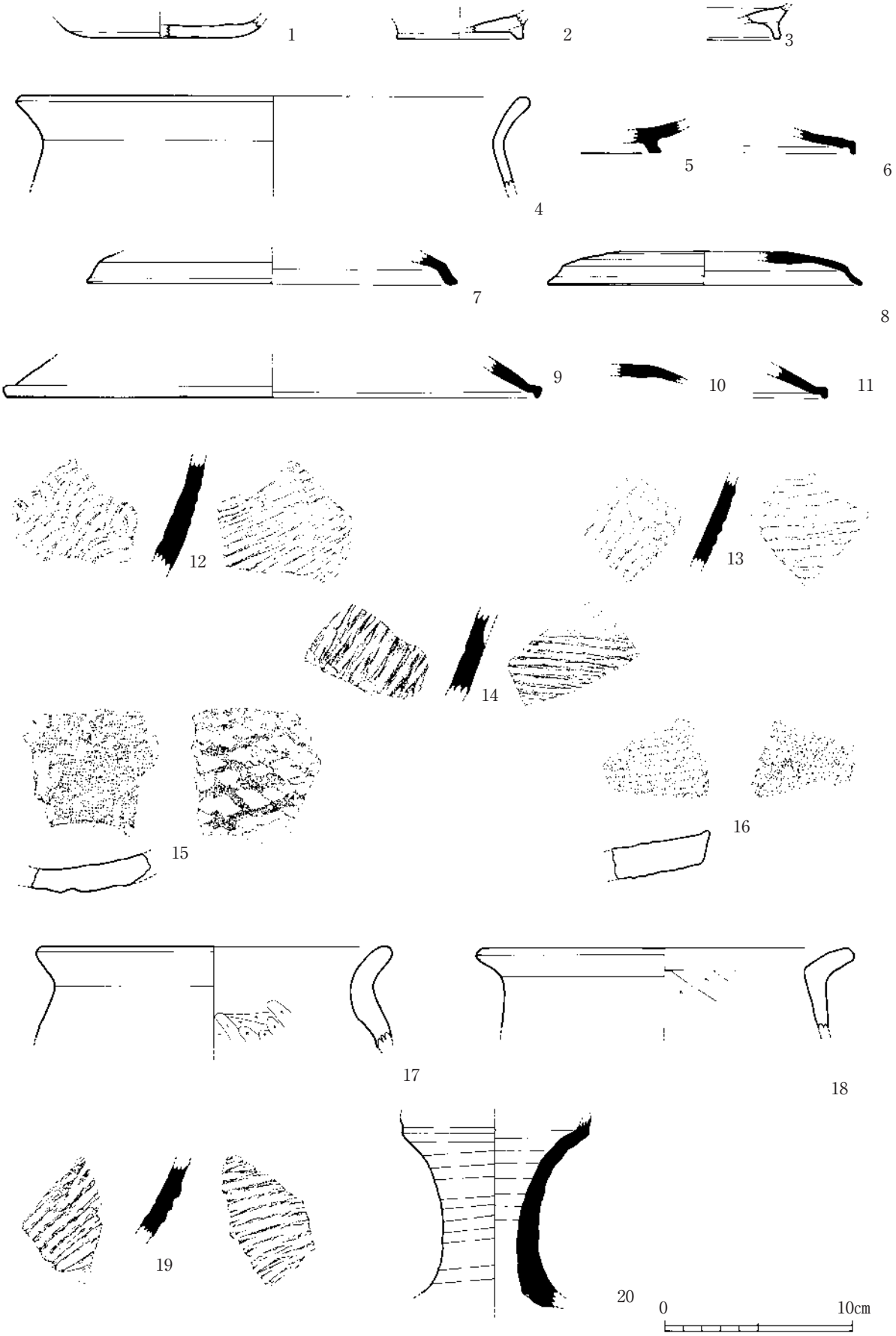
18－19　SD Ⅰ２より出土した須恵器甕で胴部の破片。胎土は細かい。内面は平行当て具痕。外面は平行タタキ。色調は灰黄色。

18－20　SD Ⅰ２より出土した須恵器壺で頸部の破片。胎土は細かい。頸部内外面とも回転ナデ調整。焼成は甘く、色調はにぶい黄橙色。

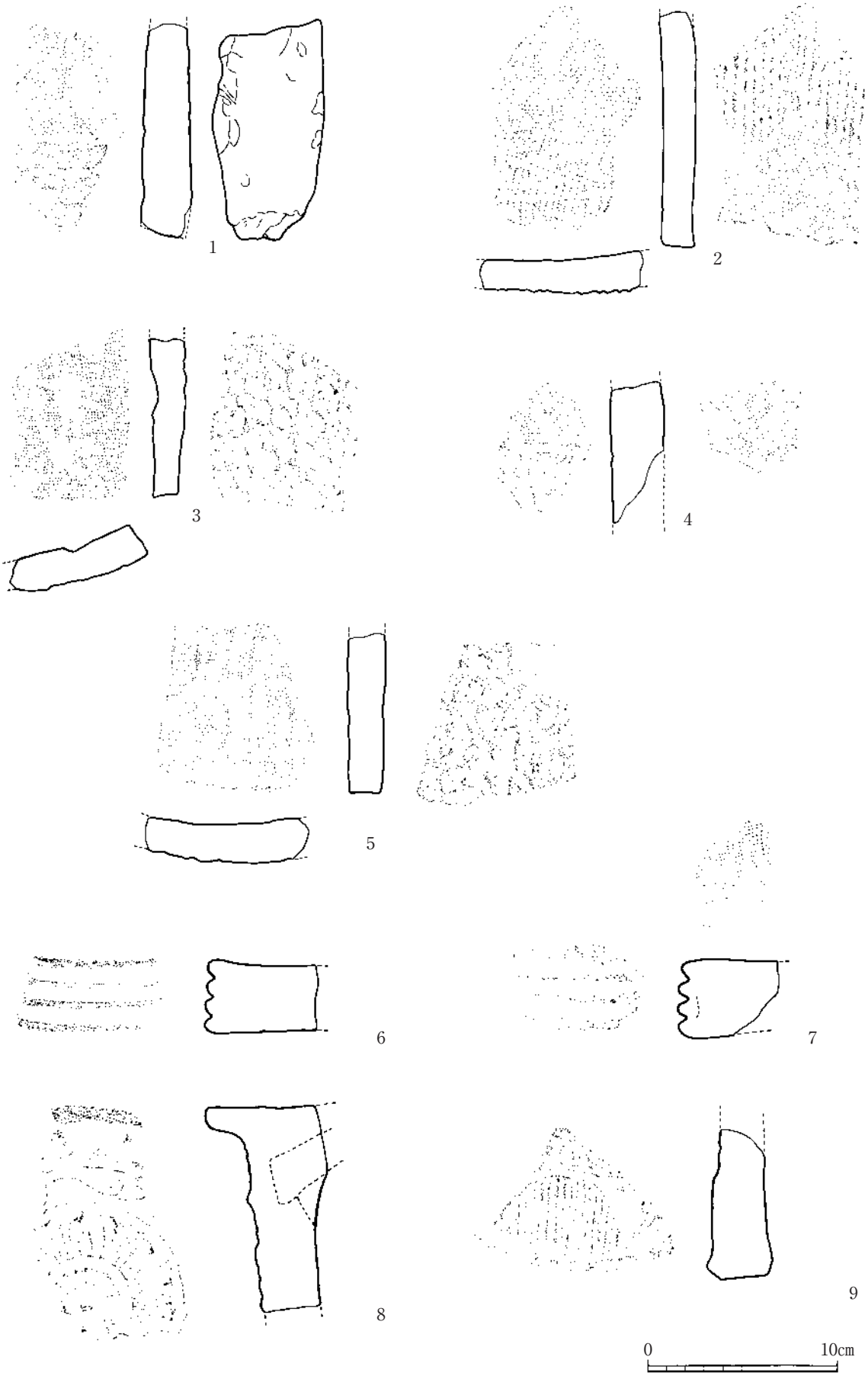
19－1　平瓦。凹面は枠板痕と布目の痕跡が残り、凸面に大きな菱形の格子目タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい黄灰色。

19－2　平瓦。凹面には糸切り痕が残り、端面より1.6㎝の位置に横方向に幅４㎜の窪みが認められ、布目の痕跡が残る。凸面には側縁に平行する縄目タタキが施される。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰色。

19－3　平瓦。凹面に布目の痕跡が残り、粘土板合わせ目痕が残存する。凸面に大きな菱形の格子目タタキが残るが、押圧によりつぶれている。側面には分割截面・破面が認められる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。



第18図　SD Ⅰ１・Ⅰ２　出土遺物実測図（１／３）



第19図　SD Ⅲ 3　出土遺物実測図①（1／3）

19－4　平瓦。凹面に布目の痕跡が残りるが、筋状の窪みを境にしてナデが施される。凸面は丁寧なナデ消しが行われ、タタキは不明。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

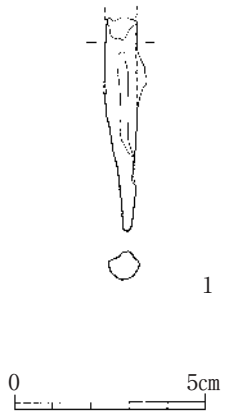
19－5　平瓦。凹面に枠板痕と布目の痕跡が残り、凸面に大きな菱形の格子目タタキが残るが、押圧によりつぶれている。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡黄灰色。

19－6　Ａ－Ｂ型に相当する重弧文軒平瓦。瓦当厚は3.9㎝。凹面は横方向のヘラ削り。凸面は横方向のナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰褐色。

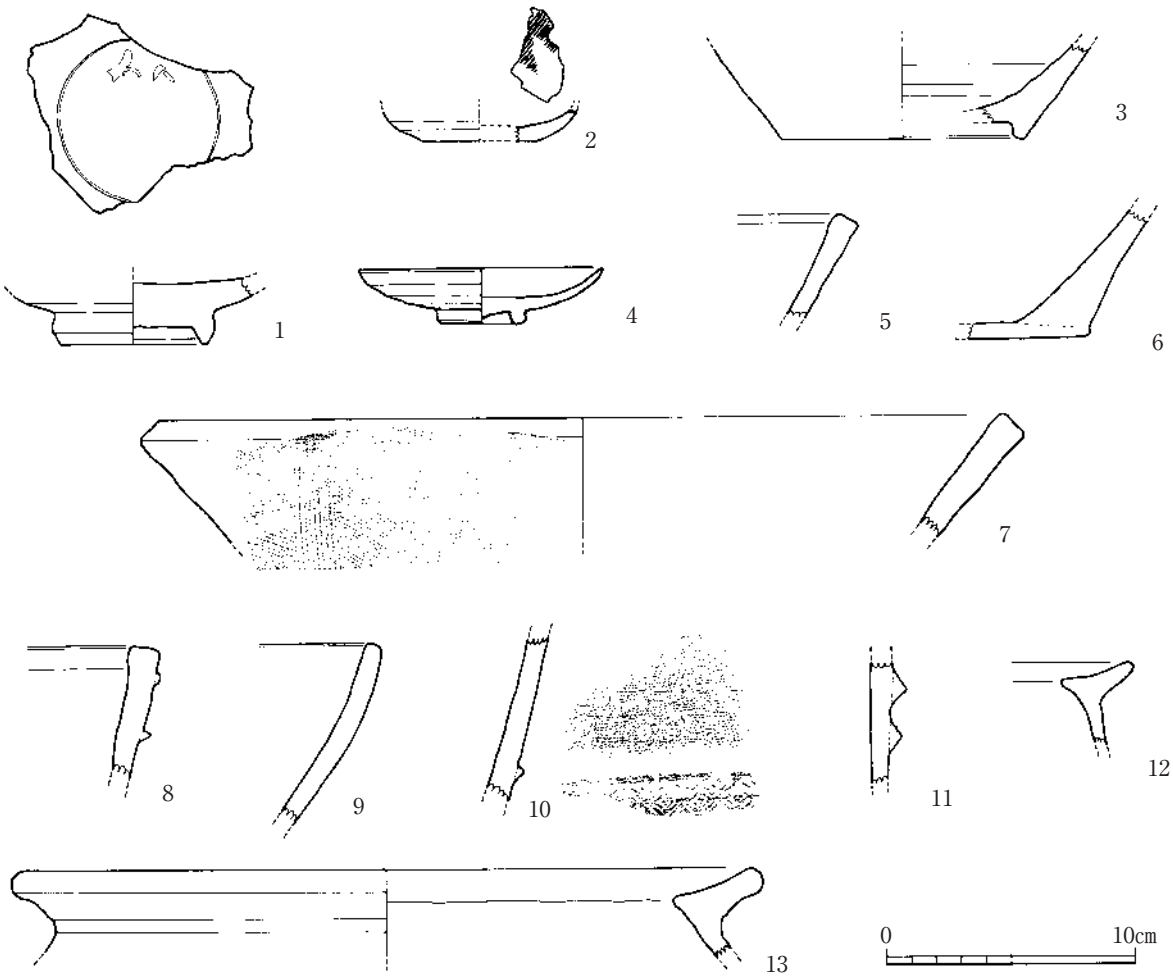
19－7　Ａ－Ｂ型に相当する重弧文軒平瓦。凹面は布目が残り、端部は横方向のナデ。凸面はナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成は良。色調は灰色。

19－8　軒丸瓦Ｅ型にあたり外区外縁に鋸歯文、内縁に唐草文が巡る複弁八弁蓮華文である。接合法は瓦当裏面に溝を掘り、丸瓦をはめ込む印籠継ぎ法とみられ、支持土が付加される。周縁はケズリが施され、また瓦当裏面にはナデがみられる。復元径18.6㎝、瓦当厚2.3㎝を測る。胎土は砂粒が混るが細かい。焼成は良。色調は灰色。

19－9　軒丸瓦Ｇ型の鬼面文軒丸瓦である。鬼面文の周りには唐草文が巡る。接合法は瓦当裏面に丸瓦を置き支持土で接着する方法とみられる。周縁において笵端と思われる痕跡がある。瓦当裏面はナデ調整が施される。復元径は20.8㎝を測る。



第20図　SD Ⅲ 3　出土遺物実測図②（1／2）



第21図　SD Ⅲ 3　出土遺物実測図③（1／3）

胎土は砂粒が混じりるが細かい。焼成は良。色調は灰色。

20－1　鉄製品で鍛造の釘釘。縦5.6㎝。断面0.85×0.7㎝。

21－1　青磁。太宰府編年の龍泉窯青磁碗Ⅳ類。体部外面はヘラ彫り。体部内面は見込みにスタンプを押す。高台内と畳付は釉を掻き取り、胎土が赤褐色に変色している。釉は灰青緑色で滑らか。

21－2　青磁。大宰府編年同安窯青磁皿Ⅰ２類。外面は回転ヘラ削りを行い、畳付は釉を掻き取る。見込みは櫛で稲妻状に施文する。釉は灰オリーブ色。

21－3　青磁。太宰府編年の越州窯青磁で壺。体部は高台と一体になって外に開く。高台は浅い削り出し。体部内外面と底部は回転ヘラ削り。畳付、高台内まで施釉し、高台内に針支えの痕跡がある。釉は青緑色で滑らか。

21－4　白磁。大宰府編年白磁皿Ｄ類。復元口径9.8㎝。器高2.25㎝。外面は口縁部付近まで回転ヘラ削りを行い、内面は回転ナデ調整。釉は内面から外面高台付け根まで施す。色調は灰白色。

21－5　須恵質土器の擂鉢。体部外面は縦方向にハケ目調整。内面はナデ調整後に７本を単位とする擂り目を入れる。外面口縁部は黒色に変色。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

21－6　須恵質土器で擂鉢。体部外面は指押さえの痕。内面は回転ナデ調整の後、６本を単位とする擂り目を付ける。胎土は砂粒が多く粗い。焼成は良。色調は灰色。

21－7　須恵質土器で擂鉢。体部外面は回転ナデ調整。内面は斜め上方にハケ目調整をした後、８本を単位とする擂り目を付ける。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

21－8　瓦質土器で火鉢。体部内外面は回転ナデ調整。口唇部下に２本の凸帯を回す。間にスタンプがあるが、摩滅して不明。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は甘い。色調にぶい黄橙色。

21－9　瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は回転ハケ調整。やや丸みを帯びた器形。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成はやや甘い。色調は、内外面は暗灰色で、胎土はにぶい橙色。

21－10　瓦質土器で火鉢。体部内外面は回転ナデ調整。凸帯を回し、凸帯上方にスタンプを連続して押す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は、内外面は暗灰色で、胎土はにぶい橙色。

21－11　凸帯文土器。体部内面は横にハケ目調整。外面は断面三角の凸帯を２条回す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は浅黄橙色。

21－12　弥生式土器の甕。口縁部は肥厚し、端部は内外に伸びる。ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

21－13　弥生式土器の甕。復元口径30.2㎝。口縁部は肥厚し、端部は内外に伸びる。ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

第３節　包含層の遺物

立願寺大塚遺跡からは遺構以外にも多くの遺物が出土している。多くは遺構面を覆う包含層から出土したものであるが、ここでは各調査区ごとに遺物を紹介する。

１　Ⅰ区の遺物

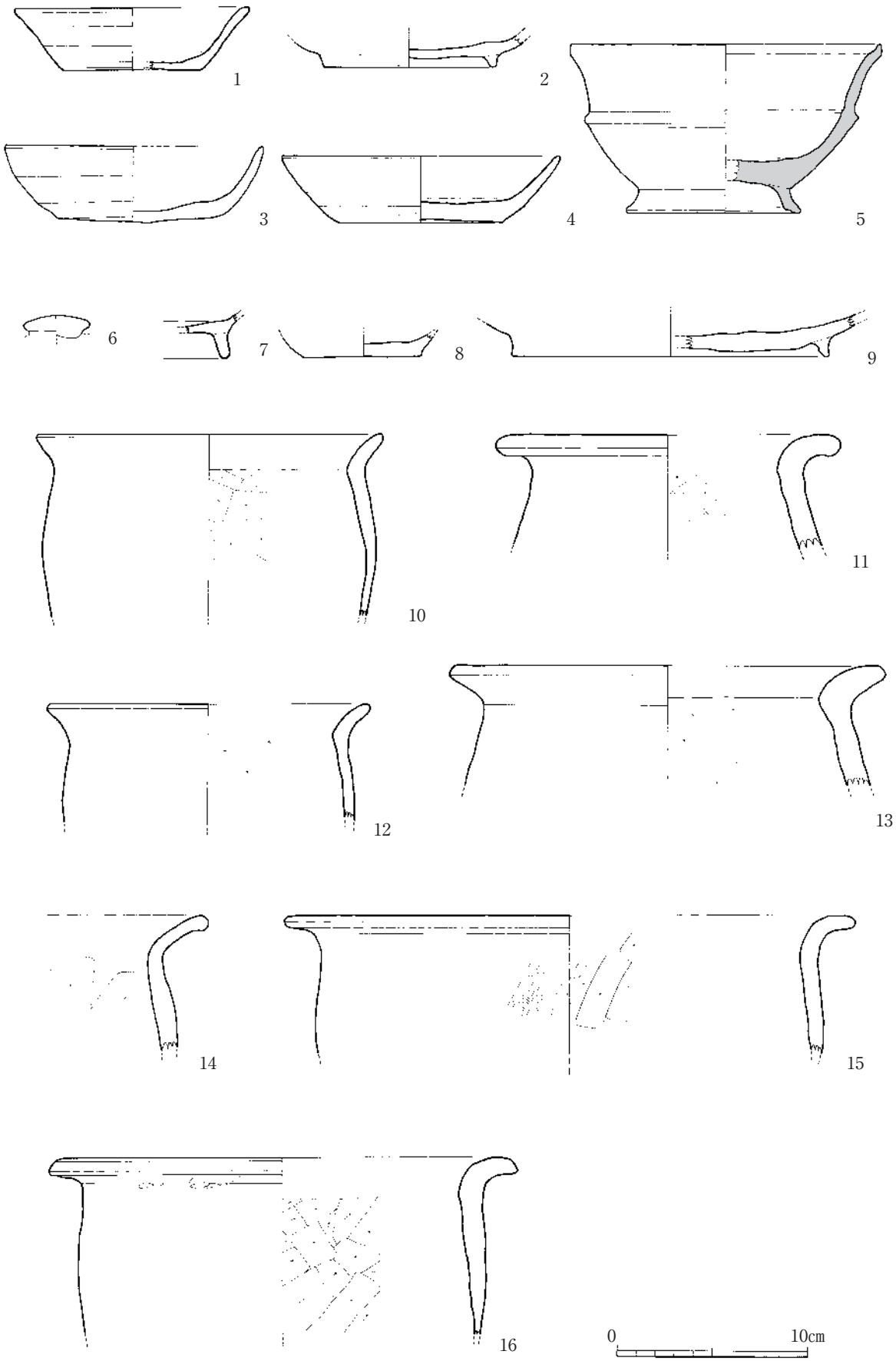
22－1　土師器坏。復元口径12.4㎝。器高3.25㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい橙色。

22－2　土師器坏。高台径9.1㎝。底部はヘラ切りで、低い高台を付ける。内外面とも回転ナデ調整。見込みは横ナデは摩滅して不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は灰黄褐色。

22－3　土師器坏。口径13.6㎝。器高4.0㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開く。胎土は砂粒が混じるが細かい。内外面とも回転ナデ調整。色調は橙色。

22－4　土師器坏。復元口径14.6㎝。器高3.5㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が多く混じり、やや粗い。色調は浅黄橙色。

22－5　須恵器脚付碗。復元口径16.3㎝。器高8.8㎝。底部はヘラ切り。高台はやや高めで、外に開く。



第22図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図①（１／３）

胴部は碗型で、口縁部にかけて開き、口唇部で上方へ伸びる。胴部中位に凸帯を貼り付ける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は浅黄橙色。

22－6　土師器坏蓋のつまみ。胎土は砂粒が少なく細かい。色調はにぶい黄橙色。

22－7　土師器椀。胎土は砂粒が混じるが細かい。高い高台を付け、内外面とも回転ナデ調整。色調はにぶい橙色。

22－8　土師器坏。底径6.1㎝。底部はヘラ切り。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調はにぶい橙色。

22－9　土師器盤。復元高台径16.7㎝。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は浅黄橙色。

22－10　土師器甕。復元口径18.2㎝。口縁部は緩く外反し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が多く混じり粗い。色調は黒褐色。

22－11　土師器甕。復元口径18.1㎝。器肉が厚い。口縁部は外折し、ほぼ水平に整える。口縁部内外面はナデ調整。体部内面はほぼ横方向にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい黄橙色。

22－12　土師器甕。復元口径17.0㎝。口縁部は緩く外反し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい赤褐色。

22－13　土師器甕。復元口径22.8㎝。器肉が厚い。口縁部は緩く外反し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調は橙色。

22－14　土師器甕。口縁部は緩く外反し、張り出しが大きい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方にヘラ削りを行う。体部外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調は浅黄橙色。

22－15　土師器甕。復元口径30.0㎝。口縁部は外折し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方にヘラ削りを行う。体部外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい橙色。

22－16　土師器甕。復元口径24.6㎝。口縁部は外折し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい赤褐色。

23－1　土師器甕。復元口径21.6㎝。口縁部は外反し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は横、斜め上方にヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい褐色。

23－2　土師器甑の把手。ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調は浅黄橙色。

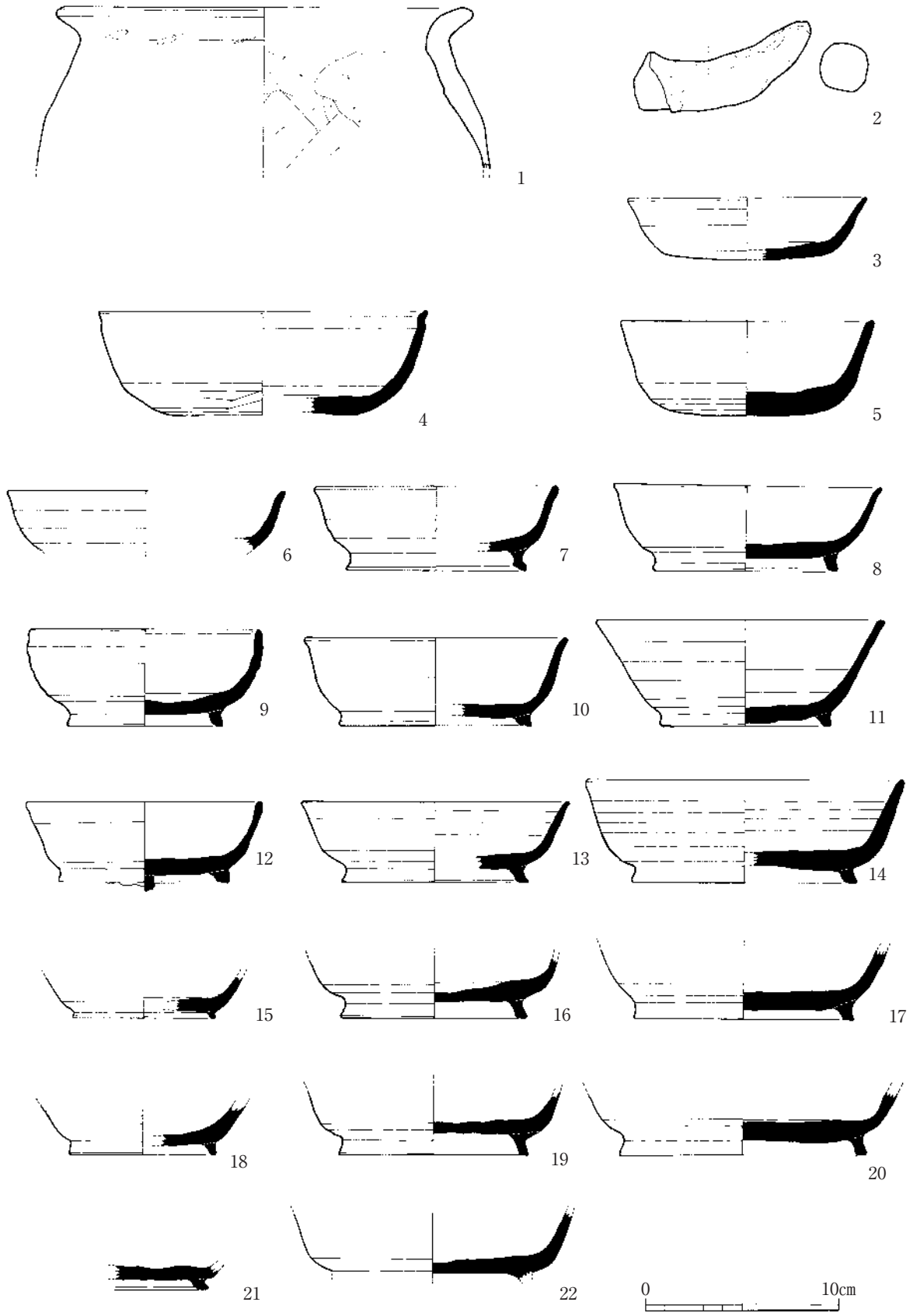
23－3　須恵器坏。復元口径12.4㎝。器高3.15㎝。底部はヘラ切り。腰に丸みを持ち、体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘く、色調は灰白色。

23－4　須恵器坏。復元口径17.0㎝。器高5.4㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開き、口縁部で外反する。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面下半はヘラ削りが残る。見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は橙色。

23－5　須恵器坏。復元口径13.1㎝。器高4.9㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面下半はヘラ削りが残る。胎土は砂粒が少ないがやや粗い。焼成は良。色調は灰黄色。

23－6　須恵器坏。小岱系。復元口径14.4㎝。腰に丸みを持ち、体部は直線的に開く。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面下半はヘラ削りが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

23－7　須恵器坏。小岱系。復元口径12.6㎝。器高4.35㎝。底部はヘラ切り。腰に丸みを持ち、体部は直線的に開く。高台は底面内側に付き、接地面で外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色



第23図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図②（1／3）

調は黄灰色。

23－8　須恵器坏。小岱系。復元口径13.9㎝。器高4.45㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開く。高台は底面やや内側に付く。高台端部は外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まり、色調は灰黄色で、一部赤褐色。

23－9　須恵器坏。小岱系。復元口径12.1㎝。器高5.0㎝。体部は碗型に湾曲する。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付き、高台端部は外に開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は赤褐色。

23－10　須恵器坏。小岱系。復元口径13.6㎝。器高4.55㎝。底部はヘラ切り。腰に丸みを持ち、体部は直線的に開く。高台は幅広で低く、底面外側に付く。高台端部は外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まり、色調はにぶい橙色。

23－11　須恵器坏。復元口径15.0㎝。器高5.45㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。高台は幅広で低く、底面内側に付く。体部口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや良。色調は灰色。

23－12　須恵器坏。小岱系。口径12.2㎝。器高4.15㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。高台は幅広で、底面外側に付く。底部と体部外面に窯壁の一部が付着する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は暗赤褐色。

23－13　須恵器坏。小岱系。復元口径13.9㎝。器高4.15㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。高台は底面内側に付き、高台端部は外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。良く焼き締まる。色調は灰色。

23－14　須恵器坏。小岱系。復元口径15.5㎝。器高5.3㎝。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい橙色。

23－15　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は細く低い。底面内側に付き外に開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調はにぶい橙色。

23－16　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

23－17　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付き、端部が外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は赤褐色。

23－18　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、高台端部細い。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。良く焼き締まる。色調は灰色。

23－19　須恵器坏。胎土は砂粒が少なく細かい。底部はヘラ切り。高台は底面やや内側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。焼成は良。色調は灰黄色。

23－20　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、高台端部は外に開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は浅黄橙色。

23－21　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付き。高台端部を外折して接地させる。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少ないがやや粗い。よく焼き締まる。色調は灰褐色。

23－22　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐灰色で、底部から胴部の外面に自然釉が付着し、伏せ焼きの状況が看取できる。

24－1　須恵器坏。口径12.1㎝。器高3.9㎝。小岱系。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。口縁部は外反する。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面にはヘラ削りの痕が残る。見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成

は良。色調は褐灰色。

24－2　須恵器坏。復元口径13.8㎝。器高4.05㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。口縁部は外反する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は灰白色。

24－3　須恵器坏。小岱系。口径12.6㎝。器高3.45㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直立する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は灰褐色。

24－4　須恵器坏。小岱系。復元口径12.8㎝。器高4.35㎝。底部はヘラ切り。体部は腰に丸みを持ち、直線的に開く。高台は底面やや内側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい黄褐色。

24－5　須恵器坏。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開く。高台は底面内側に付き、外に開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。焼成は良。色調は黄灰色。

24－6　須恵器坏。復元口径12.6㎝。器高3.8㎝。体部は腰に丸みを持ち、直立する。底部はヘラ切り。内外面とも回転ナデ調整で、外面底部付近にヘラ削りの痕跡が残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は橙色。

24－7　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面やや内側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。良く焼き締まる。色調は暗褐灰色。

24－8　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、接地面は細い。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。良く焼き締まる。色調は暗灰色。

24－9　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付き、接地面を丸くする。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰褐色。

24－10　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面やや外側に付き、接地面を平坦にする。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。焼成は甘い。色調は黄褐色。

24－11　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面やや外側に付き、接地面を平坦にする。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。良く焼き締まり、色調は暗紫褐色。

24－12　須恵器高坏。小岱系。復元口径15.2㎝。器高9.35㎝。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。内外面とも回転ナデ調整。良く焼き締まる。色調はにぶい赤褐色。

24－13　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径19.9㎝。口縁部の下折点にはヘラによる溝を付ける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は浅黄橙色。

24－14　須恵器坏蓋。復元口径20.8㎝。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけてヘラによる横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は暗灰黄色。

24－15　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径20.0㎝。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調はにぶい黄褐色。

24－16　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径18.4㎝。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調はにぶい黄褐色。

24－17　須恵器坏蓋。復元口径19.3㎝。中心部は欠損により不明。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は褐灰色。

24－18　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径12.8㎝。器高2.95㎝。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は褐灰色。

24－19　須恵器坏蓋。復元口径14.0㎝。体部中位から緩やかに屈曲し、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は

砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

24―20　須恵器坏蓋。復元口径14.2㎝。体部は弧を描いて緩やかに曲がり、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は灰色。

24―21　須恵器坏蓋。復元口径15.2㎝。体部中位から緩やかに屈曲し、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

24―22　須恵器坏蓋。復元口径14.1㎝。器高2.5㎝。体部中位から緩やかに曲がり、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、輪状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成はやや甘い。色調は黄灰色。

24―23　須恵器坏蓋。復元口径15.5㎝。体部中位から緩やかに曲がり、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削り。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は淡黄色。

24―24　須恵器坏蓋。復元口径14.8㎝。口縁端部は弧を描いたまま受けを作る。中心部は欠損のため不明。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

24―25　須恵器坏蓋。復元口径16.9㎝。体部は緩やかに弧を描いて曲がり、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、輪状つまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は暗灰色。

24―26　須恵器坏蓋。復元口径14.4㎝。器高2.75㎝。体部中位より緩やか屈曲し、弧を描いたまま受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、低い輪状つまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

25―1　須恵器坏蓋。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、低い宝珠状つまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は浅黄色。

25―2　須恵器坏蓋。復元口径14.6㎝。体部中位より緩やか屈曲し、弧を描いたまま受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、つまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調はにぶい黄橙色。

25―3　須恵器坏蓋。復元口径15.2㎝。体部中位より屈曲し、端部を水平にして受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施す。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

25―4　須恵器坏蓋。体部中位より緩やか屈曲する。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、低い輪状つまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は甘い。色調は淡橙色。

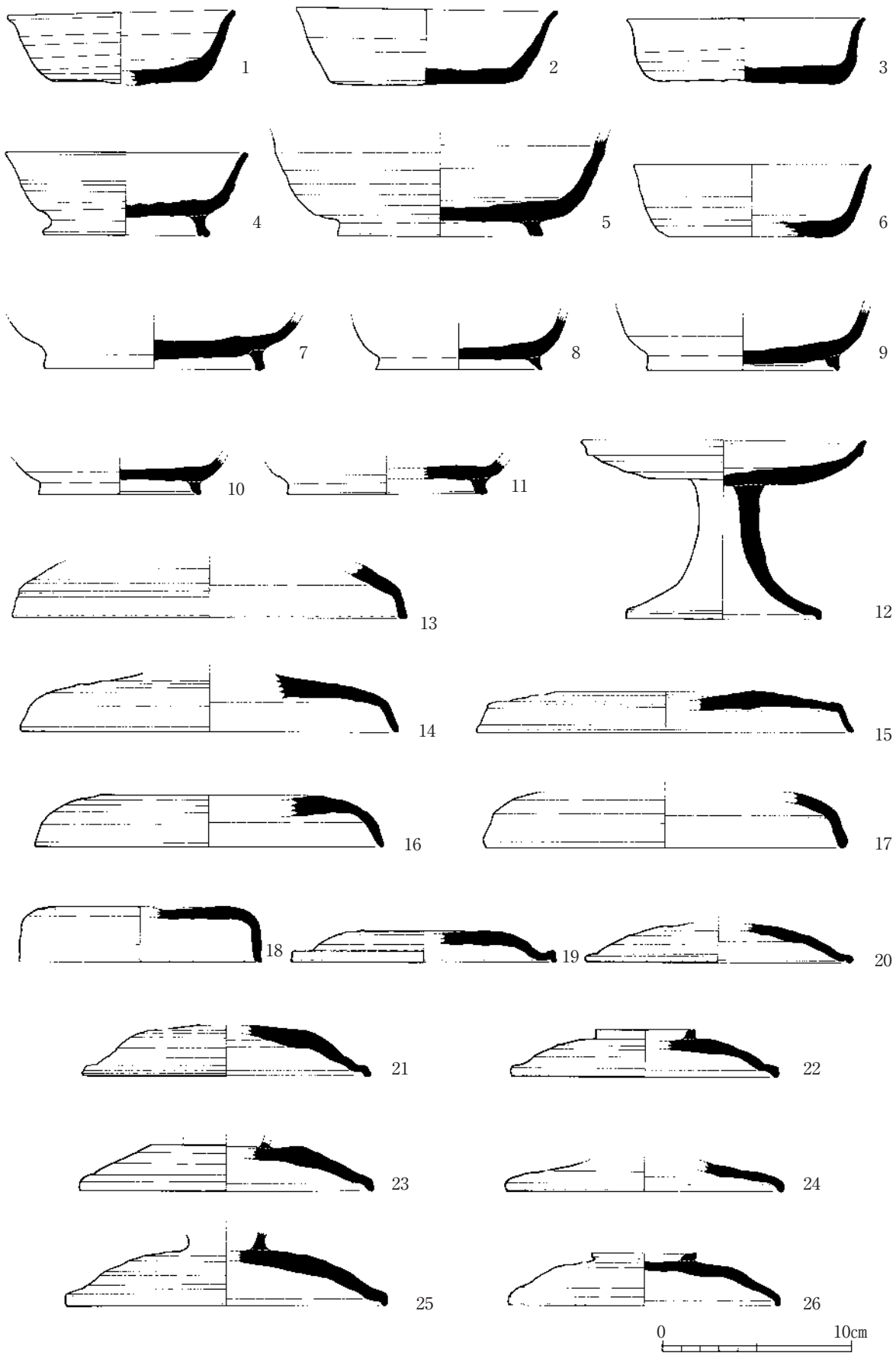
25―5　須恵器坏蓋。復元口径13.9㎝。体部中位より緩やか屈曲し、端部を水平にして受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施す。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は暗灰色。

25―6　須恵器坏蓋。復元口径18.0㎝。回転ナデ調整。体部はほぼ平坦。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰色。

25―7　須恵器盤。復元口径18.6㎝。2.9㎝。高台は底面やや内側に付き、外に開く。見込みは平坦で、外周を屈曲させ口縁部を作る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

25―8　須恵器盤。小岱系。復元口径18.2㎝。器高2.8㎝。高台は底面内側に付く。見込みは口縁部に向けて弧を描き、外周を屈曲させて口縁部を作る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調はにぶい赤褐色。

25―9　須恵器盤。小岱系。復元口径18.2㎝。器高3.05㎝。高台は底面内側に付く。見込みは口縁部に向けて弧を描き、外周を屈曲させて口縁部を作る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細か



第24図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図③（１／３）

い。焼成は甘い。色調は褐灰色。

25―10　須恵器盤。復元口径17.1㎝。器高3.25㎝。底部はヘラ切り。高台は底面やや外側に付き、直立する。見込みは平坦で、外周を屈曲させ口縁部を作る。口縁部は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は灰白色。

25―11　須恵器盤。底部はヘラ切り。高台は底面やや外側に付き、直立する。見込みは平坦。見込みは回転ナデ調整のあと、横ナデ３回。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい橙色。

25―12　須恵器椀。口径11.9㎝。器高60.5㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。高台は底面外側に付き、不整形。内外面とも回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目付く。見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混りやや粗い。焼成は良。色調は灰色。

25―13　須恵器椀。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混りやや粗い。焼成はやや良。色調は灰黄色。

25―14　須恵器鉢。口径15.4㎝。器高7.6㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開く。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面にはヘラ削りの痕が残る。見込みは数回なでる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

25―15　須恵器鉢。小岱系。体部は開きながら口縁部で外反する。外面胴部は回転ヘラナデ。口縁部と内面胴部は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調はにぶい橙色。

25―16　須恵器鉢。復元口径18.5㎝。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は暗灰色。

25―17　須恵器で円筒形の鉢。復元口径14.2㎝。外面は上半が回転ヘラナデ、下半がナデ調整。内面は回転ナデ調整。両面に平行のタタキ痕が残る。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は赤褐色。

25―18　須恵器鉢。復元口径14.7㎝。器高6.0㎝。底部はヘラ切り。体部は丸みを持ち、口縁部は内向する。内外面とも回転ナデ調整で、体部外面にはヘラ削りの痕が残る。胎土は砂粒が混じるが細かい。良く焼き締まり、内外面に自然釉が付着する。色調は灰色。

25―19　須恵器鉢。底部はヘラ切り。胎土は砂粒が混じるが細かい。内外面とも底部付近まで回転ナデ調整を行い、丁寧な作り。見込みは数回なでる。良く焼き締まる。色調は浅黄色。

25―20　須恵器で円筒形の鉢。小岱系。胴部中位に耳を付ける。接着部付近には沈線を回す。内外面とも回転ナデ調整で、外面には格子目のタタキ、内面には同心円の当て具痕が残る。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は内面が灰白色、外面が黒褐色。

25―21　須恵器甕。復原口径13.2㎝。口縁部は「く」の字に屈曲し、張り出しが小さい。口縁部内外面は回転ナデ調整。体部内面頸部は回転ヘラナデ。格子目タタキ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は淡黄色。

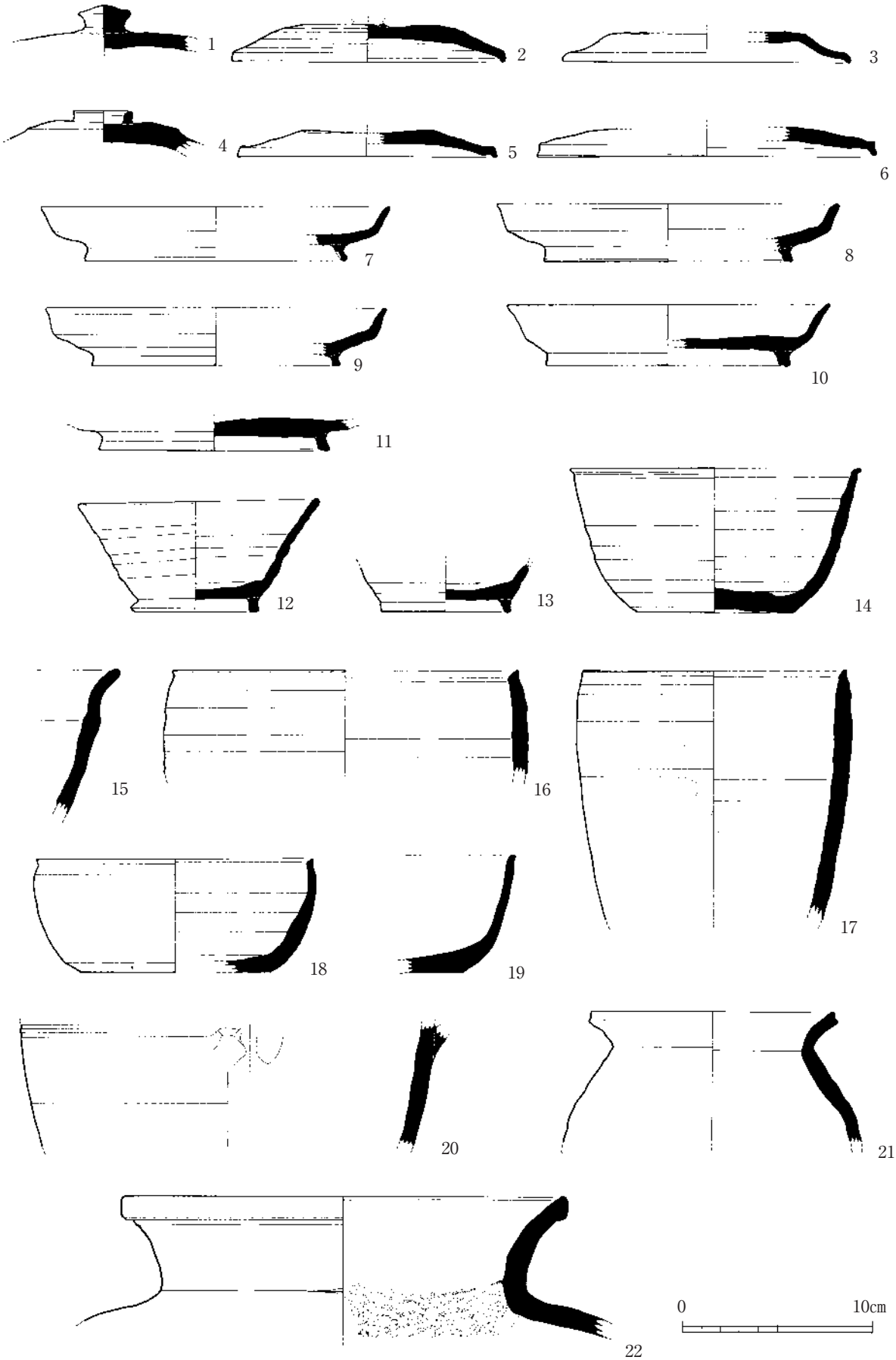
25―22　須恵器甕。復原口径23.8㎝。口縁部は直立しながら立ち上がり、口唇部にかけて外反する。口縁部内外面は回転ナデ調整。体部内面は同心円の当て具痕が残る。外面は格子目タタキ調整で、肩部に自然釉がかかる。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は褐灰色。

26―１　須恵器壺で頸部の破片。頸部内面はナデ調整で、体部内面には同心円の当て具痕をナデ消している。外面は回転ナデ調整を行う。肩部に断面方形の凸帯を付ける。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

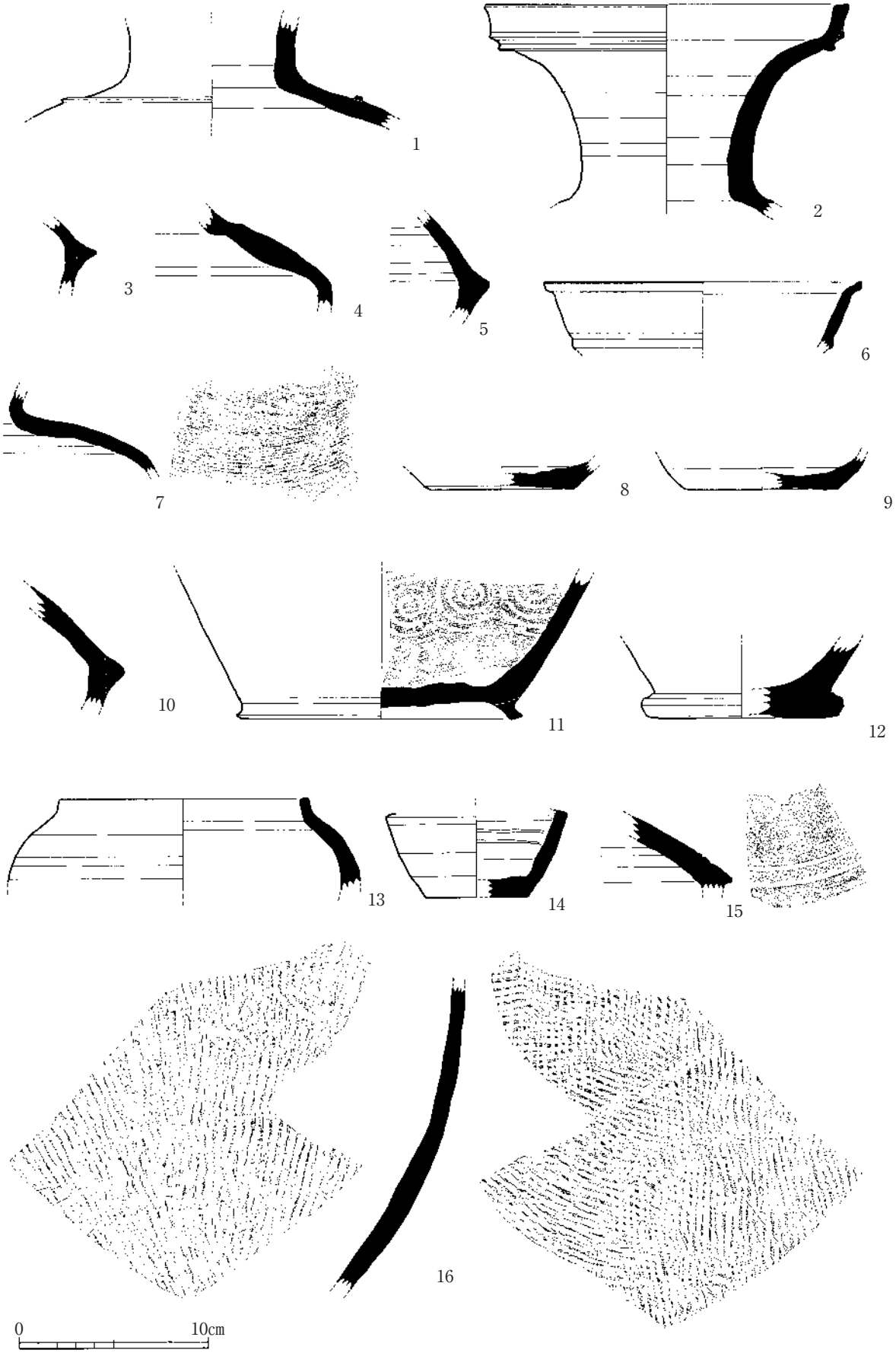
26―２　須恵器壺。復元口径19.3㎝。頸部は外反し、口縁部は直立させる。屈曲部に二重の凸帯を作る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。良く焼き締まる。色調は灰黄色。

26―３　須恵器壺で肩部の破片。肩部の突端に断面三角の凸帯を貼り付ける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい橙色。

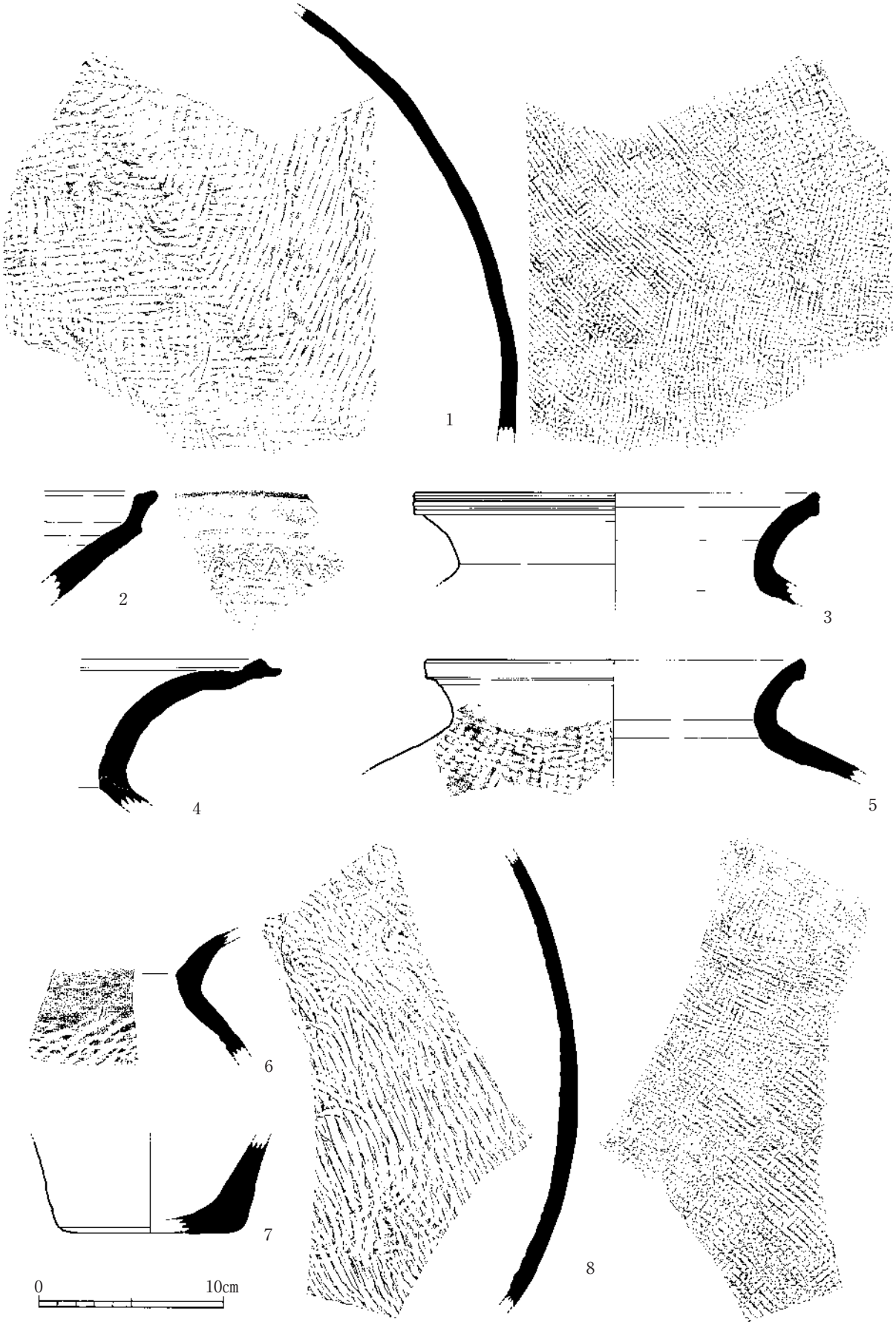
26―４　須恵器壺で肩部の破片。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調は灰褐色。



第25図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図④（１／３）



第26図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑤（１／３）



第27図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑥（1／3）

26－5　須恵器壺で肩部の破片。肩部の突端に緩い断面三角の凸帯を貼り付ける。内外面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調は内面が褐灰色、外面が黒褐色。

26－6　須恵器壺で口縁部の破片。復元口径16.9㎝。口縁部は直立し、口唇部は外反する。屈曲部に凸帯を付ける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい橙色。

26－7　須恵器甕で肩部の破片。内面は同心円の当て具痕を回転ナデ調整で消している。外面は格子目タタキの後、回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

26－8　須恵器壺の底部。底部はヘラ切り。内面は同心円状に回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

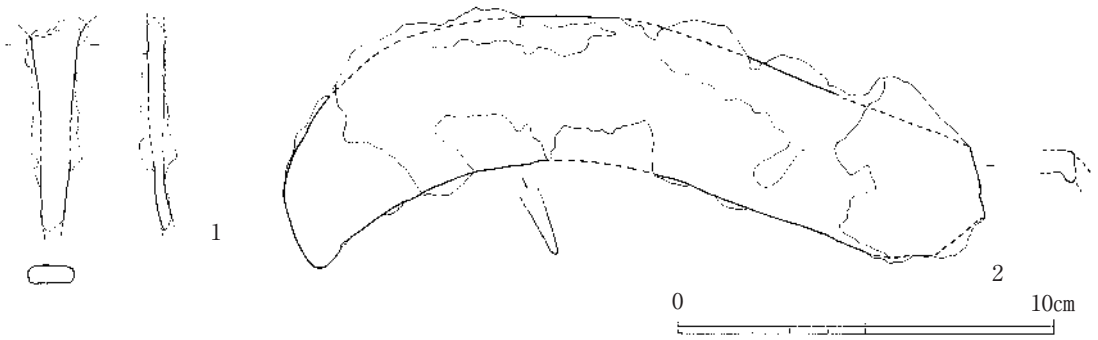
26－9　須恵器壺の底部。胎土は砂粒が少なく細かい。底部はヘラ切り。内面は同心円状に回転ナデ調整し、自然釉が付着する。焼成は良。色調は灰黄褐色。

26－10　須恵器壺で肩部の破片。肩部突端に断面三角の凸帯をつける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく緻密。焼成は甘い。色調はにぶい黄橙色。

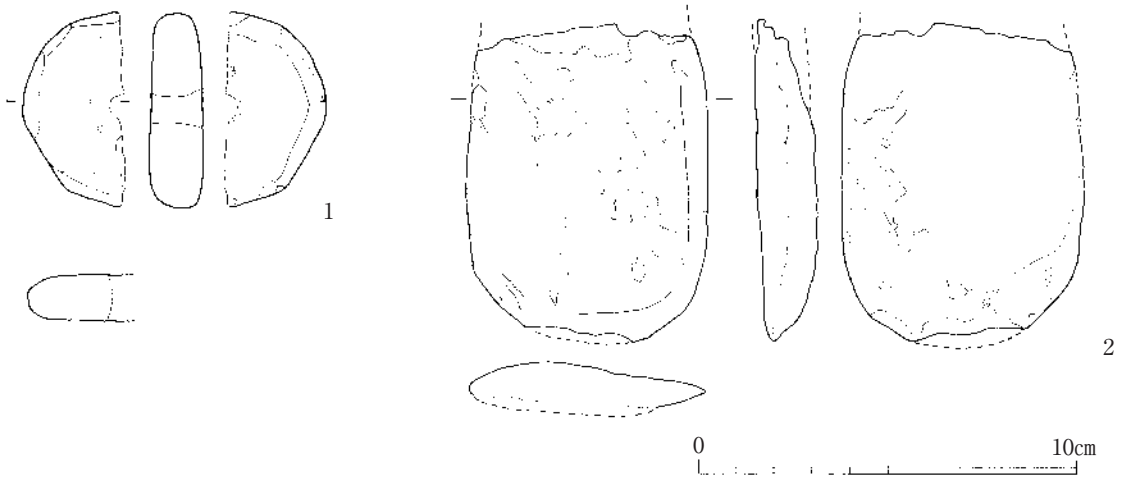
26－11　須恵器壺の底部。底面外端に外反する高台を付ける。体部、底部内面に同心円の当て具痕を残し、回転ナデ調整を行う。外面はヘラ削り。胎土は砂粒が混じりやや細かい。焼成は良。色調は黄灰色。

26－12　須恵器壺の底部。円盤状の底部を貼り付け、内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成はやや甘い。色調は内面がにぶい橙色、外面がにぶい褐色。

26－13　須恵器壺の口縁部。復元口径13.2㎝。頸部



第28図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑦（1／2）



第29図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑧（1／2）

は直立し短い。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調はにぶい黄橙色で、外面に自然釉が付着する。

26－14　須恵器壺。復元胴部最大径9.6㎝。肩部は大きく屈曲する。内面は肩部にヘラ削りの痕跡がある。外面はヘラ削りの後、回転ナデ調整胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は暗灰黄色。

26－15　須恵器壺で肩部の破片。肩部突端に断面三角の凸帯をつける。肩部上面にはヘラで２重の圏線を巡らし、間にクシの刺突痕を連続して入れる。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

26－16　須恵器甕で胴部の破片。内面は格子目の当て具痕、外面は平行タタキの痕跡が残る。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成はやや良。色調はにぶい黄褐色。

27－1　須恵器甕で胴部の破片。内面は綾杉状の当て具痕、外面は格子目タタキの痕跡を残す。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は内面が暗赤褐色、外面が灰色。

27－2　須恵器甕で口縁部の破片。複合口縁で、屈曲部に沈潜を巡らし、凸帯を作り出す。調整は内外面とも回転ナデ調整で、外面屈曲部下には３条を単位とする１段の櫛書き波状文を施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は灰褐色。

27－3　須恵器甕で口縁部の破片。復元口径21.9㎝。単純口縁で、緩く外反する。調整は内外面とも回転ナデ調整。口縁部内面と外面屈曲部に窯壁の崩落土付着する。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

27－4　須恵器甕で口縁部の破片。複合口縁で、２段目の屈曲部は緩く、直立しない。調整は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成は甘い。色調は灰赤色。

27－5　須恵器甕で口縁部の破片。復元口径20.6㎝。単純口縁で、緩く外反する。口縁部は内外面とも回転ナデ調整。体部内面は同心円当て具をナデ消す。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は内面が暗灰黄色、外面が灰色。

27－6　須恵器甕で口縁部の破片。「く」の字に屈曲し、口縁部付近は内外面とも回転ナデ調整。体部内面は同心円当て具痕が残り、外面は不明。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。口縁内外面に自然釉が付着する。色調は灰色。

27－7　須恵器壺で底部の破片。外面にハケ目の痕跡があるが、他は摩滅して不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや甘い。色調は浅黄橙色。

27－8　須恵器甕で胴部の破片。内面は綾杉状の当て具痕、外面は同心円と平行の当て具痕が混在する。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。良く焼き締まる。色調は内面が灰、外面が明赤褐色。

28－1　鉄鏃で茎。長さ5.65㎝。断面1.2×0.45㎝。

28－2　鉄製鎌。長さ18.5㎝。断面3.8×0.6㎝。

29－1　紡錘車。直径5.15㎝。石材は凝灰岩。

29－2　磨製石斧。断面6.4×1.6㎝。石材は蛇紋岩。

30－1　平瓦。凹面に布目の痕跡が残り、凸面に菱形に変形した格子目タタキが残る。側縁付近に斜め方向に延びる窪みが見られる。胎土は砂粒が少なく緻密。焼成は良。色調は胎土が灰白色、表面は黒灰色。

30－2　平瓦。狭端面と側面が残る。凹面に布目の痕跡が残り、凸面に菱形に変形した大きくて粗い格子目タタキが残る。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は淡黄灰色。

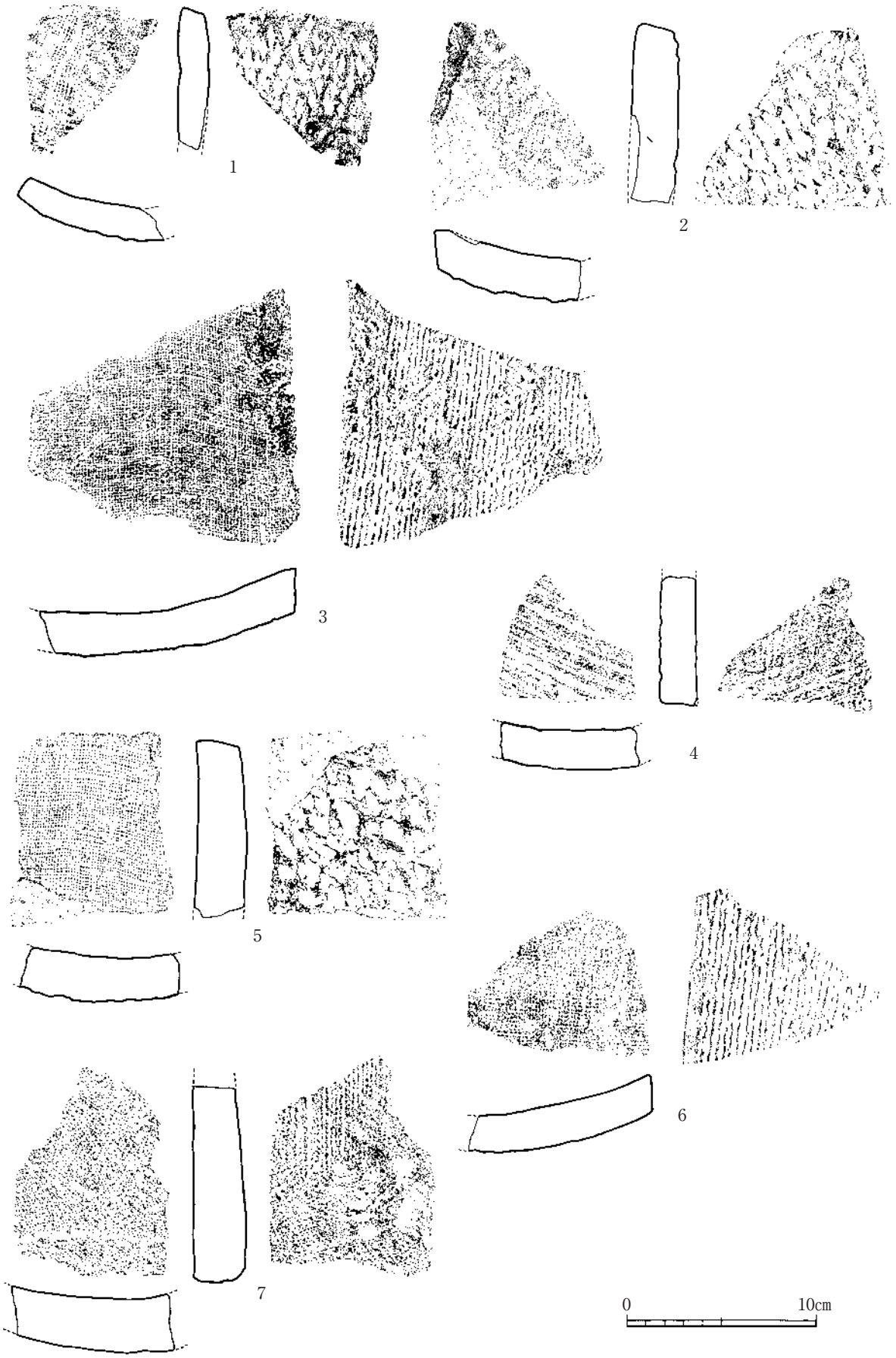
30－3　平瓦。凹面に布目の痕跡が残り、側縁付近には縦方向の削りが残存する。凸面には側縁に平行する縄目タタキが残る。胎土は砂粒が多く混じり粗い。焼成は良。色調は淡灰色。

30－4　平瓦。凸面に縄目タタキが僅かに認められるが、糸切り痕は明瞭である。胎土は砂粒が多く混じり、粗い。焼成やや甘い。色調は淡黄褐色。

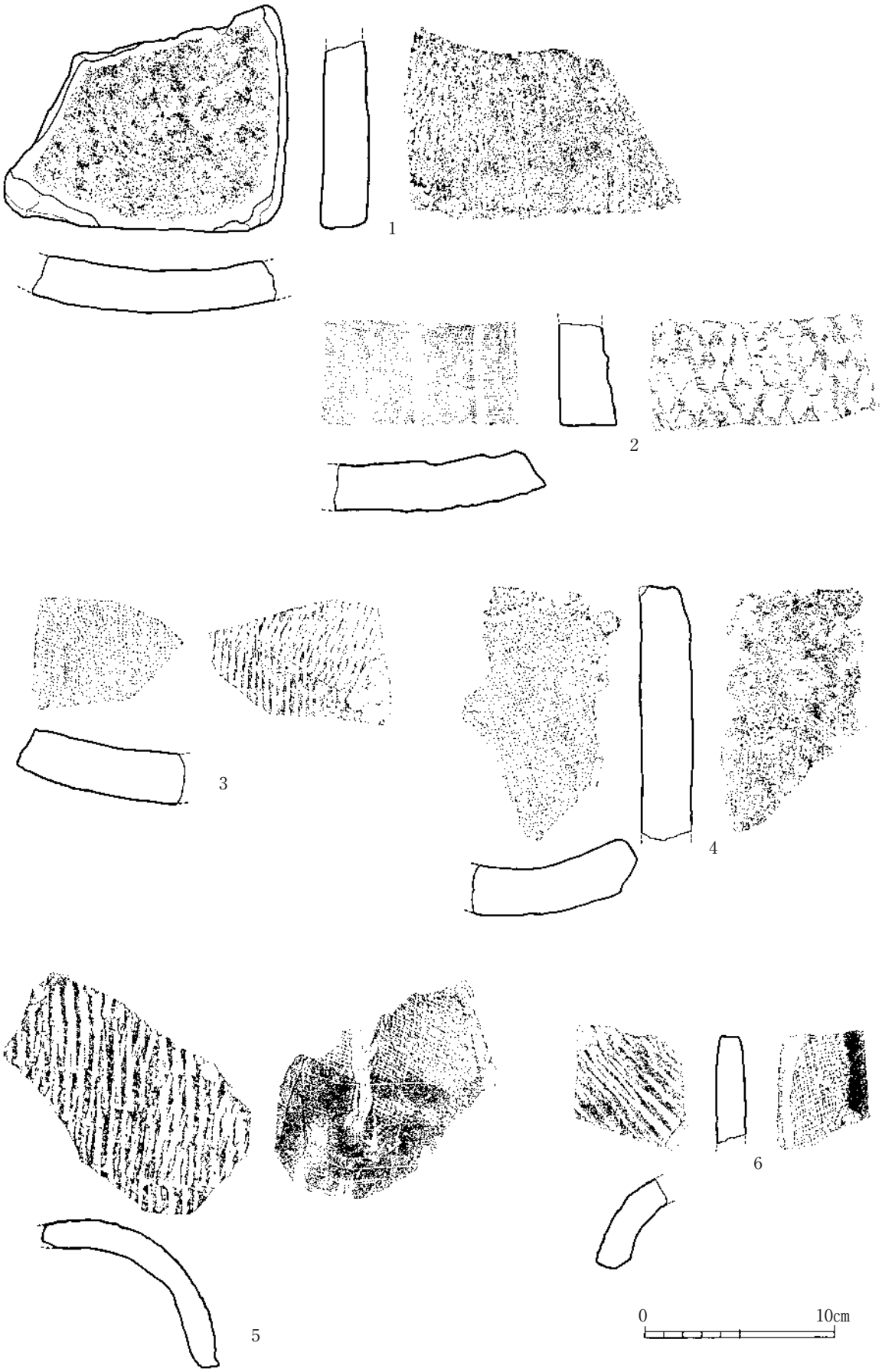
30－5　平瓦。凹面に枠板痕、布目の痕跡が確認できる。凸面に大きな格子目タタキが残る。胎土は砂粒が少ないがやや粗い。焼成は良。色調は淡灰色。

30－6　平瓦。凹面に布目の痕跡が残り、凸面には側縁に平行する縄目タタキが残る。胎土は砂粒が少なく緻密。焼成は甘い。色調は黄白色。

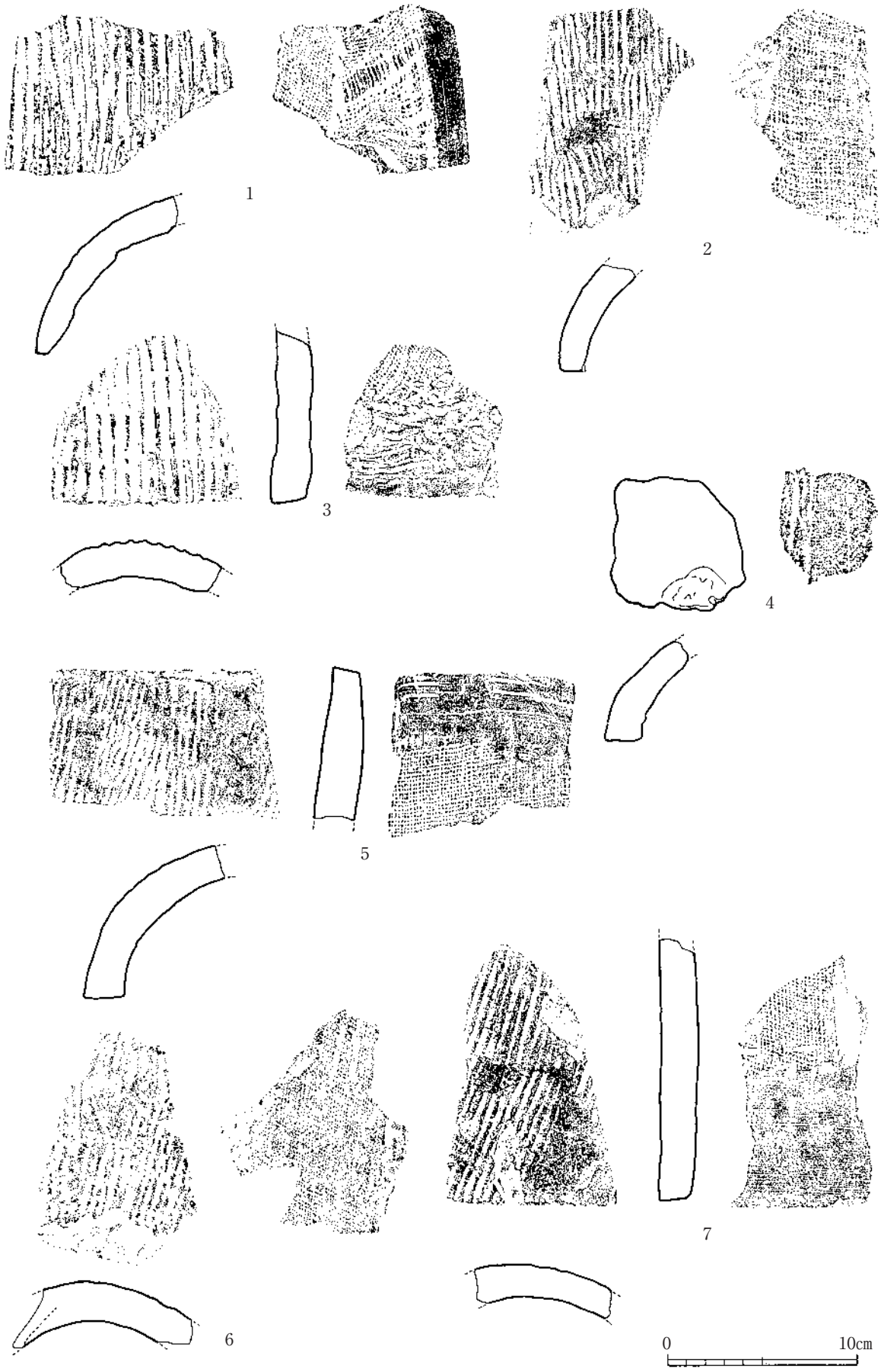
30－7　平瓦。凹面に布目の痕跡が残り、凸面に縄



第30図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑨（1／3）



第31図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑩（１／３）



第32図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑪（１／３）

目タタキが残り、ナデが施される。胎土は砂粒が多く混じり粗い。焼成はやや甘い。色調は淡褐色。

31－1　平瓦。全体に摩滅して調整がわかりにくいが、凸面には側縁に平行する縄目タタキを僅かに認めることができる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は胎土が淡灰色、表面が灰褐色。

31－2　平瓦。広端面、側面が残存する。凹面には布目の痕跡が残り、枠板痕が確認できる。凸面に菱形に変形した格子目タタキ、工具痕が残る。側面には分割截面・破面が残存する。胎土は砂粒が多く混じるが細かい。焼成は良。色調は灰白色。

31－3　平瓦。凹面には糸切り痕と枠板痕が認められ、布目の痕跡が残る。側縁に分割凸線と思われる痕跡がある。凸面に縄目タタキが残る。側面に分割截面・破面が残存する。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰褐色。

31－4　平瓦。狭端面、側面が残る。凹面に布目の痕跡が残り、糸切り痕が残存する。狭端面付近に斜行する段がみられ、布端部もしくは製作台使用の可能性を示す。凸面に縄目タタキが残るが、大部分をナデ消す。また、指頭痕が多く見られる。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰色。

31－5　丸瓦。凹面に布目の痕跡が残るが、端部に近い方をヘラによりナデ消す。凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

31－6　丸瓦。凹面に布目の痕跡残り、凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

32－1　丸瓦。凹面に布綴じ痕が残り、凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡黄灰色。

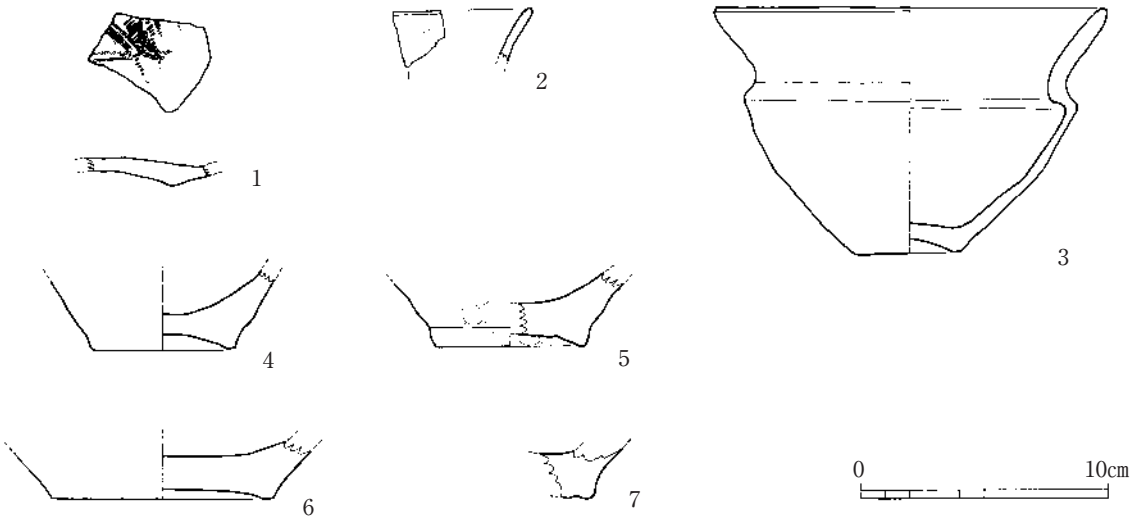
32－2　丸瓦。凹面に布目の痕跡残り、凸面には平行タタキが残る。側面に分割截面が残り、破面は一部に見られる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや甘い。色調は淡灰黄色。

32－3　丸瓦。凹面に布目の痕跡残るが、端部は指とヘラでナデ消す。凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

32－4　丸瓦。凹面に布目の痕跡残る。また、窪みが側縁に残り、側面にかけて盛り上がる。凸面は摩滅により調整不明。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや甘い。色調は淡黄褐色。

32－5　丸瓦。凹面に布目の痕跡が残り、端部はヘラ削りにより鋭角に整形する。凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

32－6　丸瓦。凹面に布目の痕跡残り、凸面には縄目タタキが残る。側面は粘土を重ね、やや雑な作りである。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は甘い。色調は橙褐色。



第33図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑫（1／3）

32－7　丸瓦。凹面に布目の痕跡残り、端部はヘラ削りにより整形する。凸面には平行タタキが残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は淡灰褐色。

33－1　太宰府編年の同安窯青磁皿Ⅰ２類。見込みに二叉工具とクシによる施文。釉は淡灰緑色。

33－2　大宰府編年の龍泉窯青磁碗Ⅱbcd類。体部外面はヘラ彫りで蓮弁を象る。釉は淡灰緑色。

33－3　縄文土器の深鉢。復元口径15.9㎝。胎土は砂粒が混じり粗い。内外面ともナデ調整。色調は褐灰色。

33－4　縄文土器の深鉢。胎土は砂粒が混じり粗い。内外面ともナデ調整。色調は橙色。

33－5　縄文土器の深鉢。胎土は砂粒が混じり粗い。内外面ともナデ調整。色調は橙色。

33－6　縄文土器の深鉢。胎土は砂粒が混じり粗い。内外面ともナデ調整。色調はにぶい黄橙色。

33－7　縄文土器の深鉢。胎土は砂粒が混じり粗い。内外面ともナデ調整。色調は黄灰色。

34－1　石鏃。凹基式二等辺三角形で、石材は黒曜石。

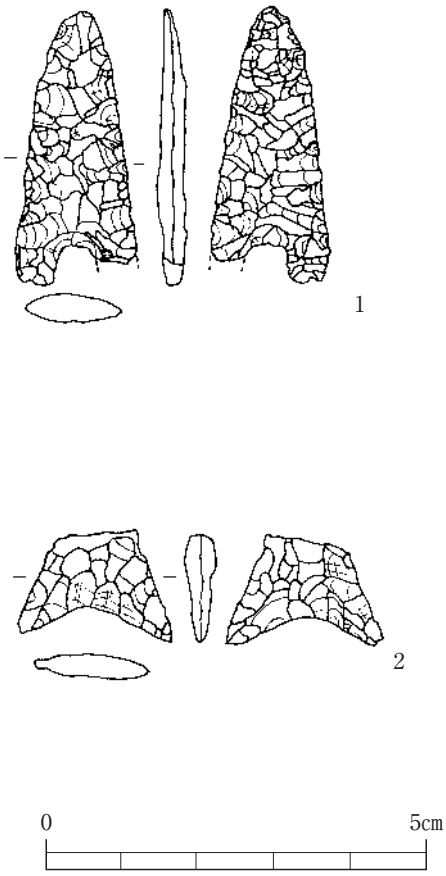
34－2　石鏃。凹基式二等辺三角形で、石材は安山岩。

35－3　十字形石器。一部欠損をしている。石材は安山岩。

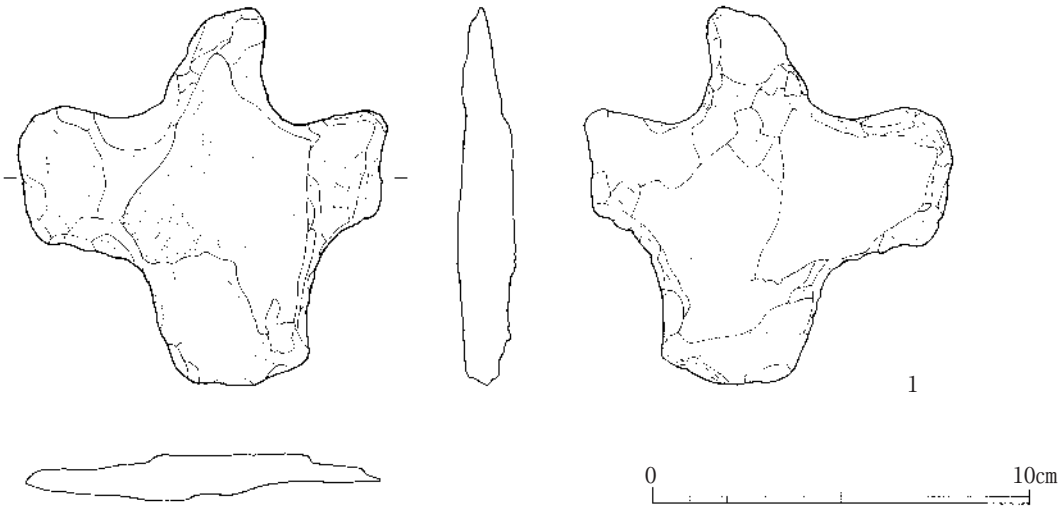
2　Ⅱ区の遺物

36－1　土師器台付皿。高い高台を底面外側に貼り付ける。底部内面には横方向に強い指ナデの痕跡が残る。底部の内外面にはハケによる回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は橙色。

36－2　土師器甕。口縁部は外反し、張り出しが小さい。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方に



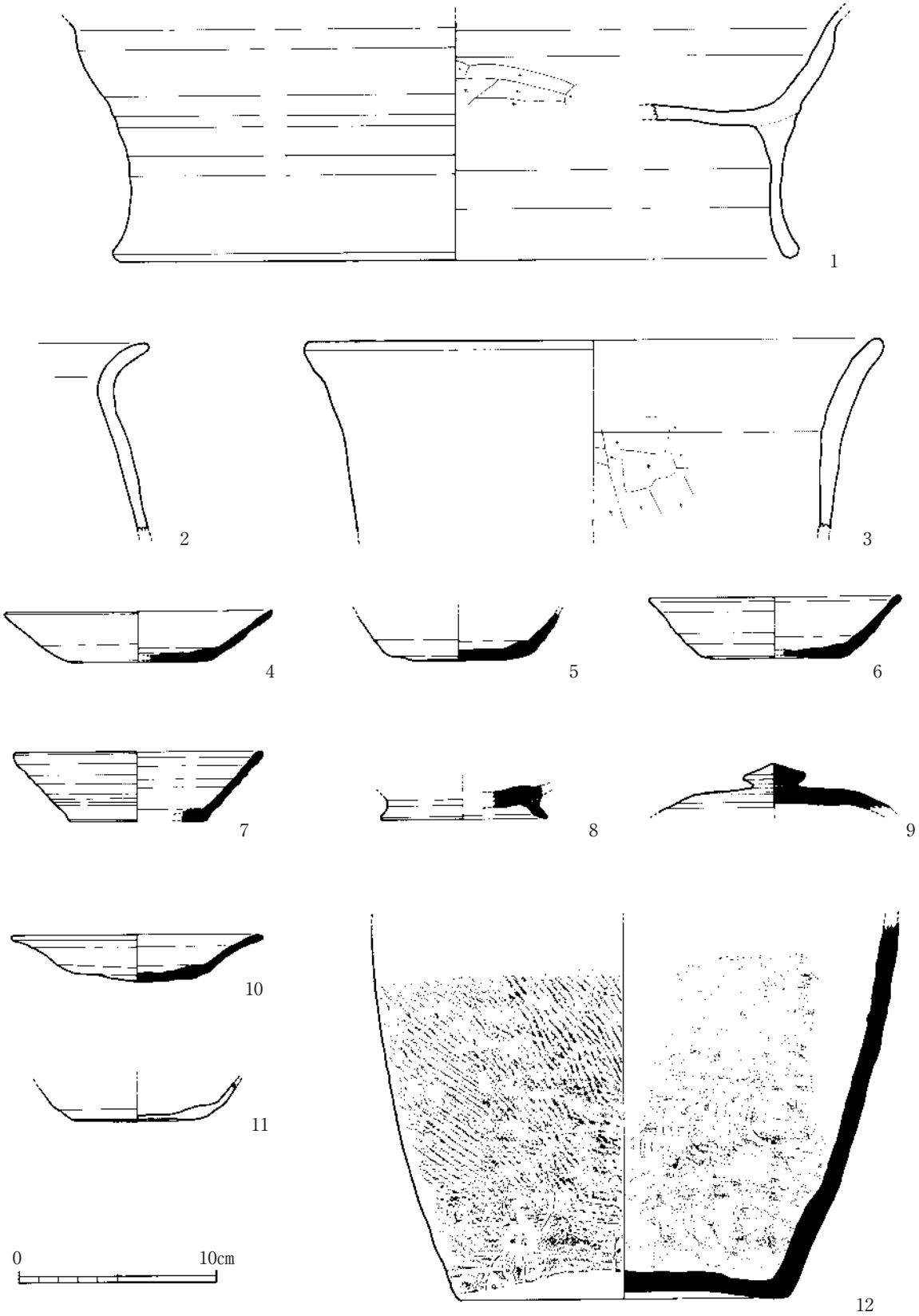
第34図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑬（１／１）



第35図　Ⅰ区　包含層出土遺物実測図⑭（１／２）

ヘラ削りを行う。体部外面の調整は不明。胎土は砂粒が混じり粗い。色調は浅黄橙色。

36－3　土師器甑。復元口径29.2㎝。口縁部は緩く外反。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は横、斜



第36図　Ⅱ区　包含層出土遺物実測図①（1／3）

め上方にヘラ削りを行う。体部外面は立てにハケ目の痕跡が残る。胎土は砂粒が混じり粗い。色調は橙色。

36－4　須恵器坏。復元口径13.5㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成はやや甘い。色調は灰白色。

36－5　須恵器坏。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい黄色。

36－6　須恵器坏。復元口径12.6㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は青灰色。

36－7　須恵器坏。復元口径12.6㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰色。

36－8　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は外反する。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

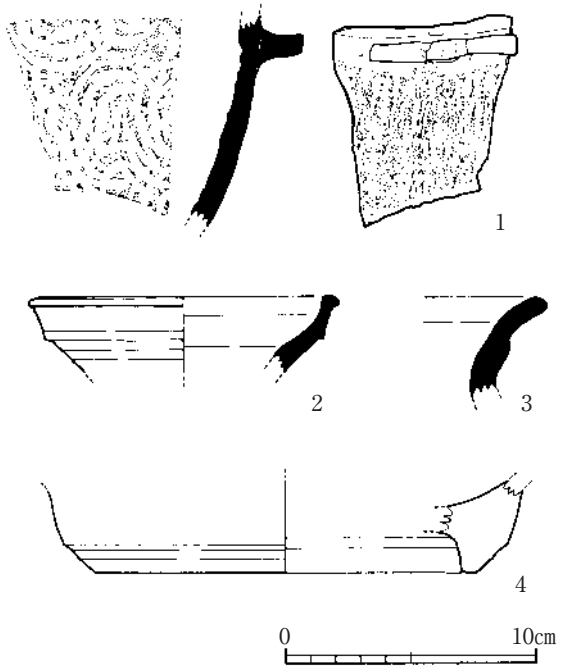
36－9　須恵器坏蓋。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを施し、宝珠状のつまみをつける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。体部中位より緩やか屈曲する。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は青灰色。

36－10　須恵器坏。口径12.7㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開き、外反する。内外面とも回転ナデ調整で、見込みを数回軽く横ナデする。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は灰色。

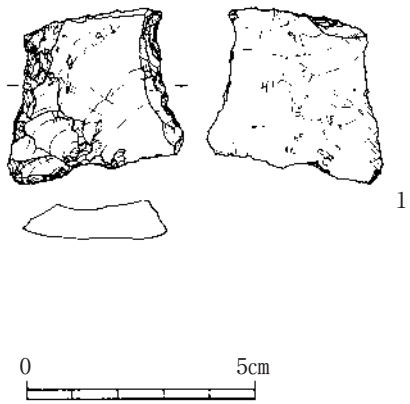
36－11　土師器坏。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるりやや粗い。色調は橙色。

36－12　須恵器壺で底部から胴部の破片。内面は同心円当て具痕を横ナデで調整する。体部も同心円当て具痕を横ナデで調整し、底部との接着部には指押さえの痕跡が残る。外面は底部はきれいな横ナデ調整。体部は平行タタキの痕が緻密に残る。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は内面が黄灰色、外面が灰色。

37－1　須恵器壺で胴部の破片。横に長い耳が付く。内面は同心円当て具痕、外面は平行タタキの痕が残る。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成は良。外面



第37図　Ⅱ区　包含層出土遺物実測図②（1／3）



第38図　Ⅱ区　包含層出土遺物実測図③（1／1）

には自然釉が付着する。色調は暗灰色。

37－2　須恵器壺で口縁部の破片。複合口縁で、屈曲部に凸帯を付ける。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成はやや甘い。色調は暗赤灰色。

37－3　須恵器甕で口縁部の破片。単純口縁で、外反する。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じりやや粗い。焼成は良。口縁内面に自然釉が付着する。色調はにぶい赤褐色。

37－4　近世陶器擂鉢で底部の破片。高台は削り出しで、外面はヘラ削りで面取りをする。内面は櫛目を密に入れる。胎土は砂粒が少ないがやや粗い。焼成はやや甘い。色調は胎土がにぶい橙色、表面は暗赤褐色。

38－1　使用痕のある剥片。石材は黒曜石。

3　Ⅲ区の遺物

39－1　土師器坏。復元口径12.5㎝。器高3.9㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。脚の長い高台が底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目がつく。胎土は砂粒が少なく細かい。赤彩がしてあり、高台内や外面底部付近に残る。色調は浅黄橙色。

39－2　土師器坏。復元口径13.7㎝。器高3.7㎝。底部は糸切り。体部は丸みを持ち、口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じるが、細かい。色調はにぶい橙色。

39－3　土師器坏。復元口径13.0㎝。器高3.9㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるり、粗い。色調はにぶい黄褐色。

39－4　土師器坏。復元口径11.7㎝。器高3.7㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じり、粗い。色調はにぶい橙色。

39－5　土師器坏。底部はヘラ切り。高台は底面やや内側に付く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施すく。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は淡黄色。

39－6　土師器坏。底部はヘラ切り。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が多く粗い。色調は灰黄褐色。

39－7　須恵器坏。復元口径12.2㎝。器高3.9㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目がつく。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は灰白色。

39－8　土師器坏。復元口径14.0㎝。器高3.4㎝。底部はヘラ切り後、数回横ナデ。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は橙色。

39－9　土師器坏。復元口径13.4㎝。器高2.45㎝。底部はヘラ切り。体部は口縁部にかけて大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目がつく。胎土は砂粒が多く粗い。色調は灰黄褐色。

39－10　土師器坏蓋。体部は丸みを持ち、端部で下方へ屈曲する。外面中心部には、宝珠状つまみをつけた痕跡が残る。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。赤彩の痕跡が残る。色調は橙色。

39－11　土師器坏蓋。体部は上面は平坦で、中位より屈曲する。外面中心部には、輪状つまみをつける。外面平坦部は回転ヘラ削り、内面平坦部は横ナデ。他は内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は浅黄橙色。

39－12　土師器椀。底部はヘラ切り。やや高い高台が底面内側に付く。底部には線状の穴を、外側より意図的に穿っている。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は浅黄橙色。

39－13　土師器椀。底部はヘラ切り。高台は底面内側に付く。内外面とも回転ナデ調整。見込みに数回横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。赤彩の痕跡が残る。色調はにぶい橙色。

39－14　土師器椀。底部はヘラ切り。やや高い高台が付く。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調はにぶい黄橙色。

39－15　土師器椀。底部はヘラ切り。体部は直線的

に大きく開く。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。外面は強い指の押圧によりロクロ目が付く。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい橙色。

39―16　土師器椀。底部はヘラ切り。高台が底面やや内側に付く。内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は明黄褐色。

39―17　土師器椀。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。内外面とも回転ナデ調整。外面は強い指の押圧でロクロ目が付く。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい褐色。

39―18　黒色土器Ａ類椀。底部はヘラ切り。高台が底面内側に付く。外面高台付近はヘラ削り。内面はヘラ磨き。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は浅黄橙色。

39―19　土師器甕。口径26.0㎝。丸みを帯びた体部で、口縁部は緩く外折する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は上方にヘラ削り。体部外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じり、粗い。色調はにぶい橙色。

39―20　土師器甕。直線的な体部で、口縁部は外折する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削り。体部外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

40―１　土師器甕。復元口径26.6㎝。直線的な体部で、口縁部は外折する。口縁部内外面はナデ調整。体部内面は斜め上方にヘラ削り。体部外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

40―２　土師器甕の底部。内外面はナデ調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は淡黄橙色。

40―３　土師器甕の底部。外面底部付近には指押さえの痕。他は内外面はナデ調整。胎土は砂粒が混じり粗い。色調はにぶい黄橙色。

40―４　土師器甕の底部。外面底部付近は縦方向にナデ調整。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい黄橙色。

40―５　土師器甑把手。半円型で粘土紐の幅はほぼ一定。ナデ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調は橙色。

40―６　土師器甑把手。突起型。指押さえ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調はにぶい黄橙色。

40―７　土師器甑把手。半円型で粘土紐の幅は狭まり、側面観は三角。指押さえ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調はにぶい黄橙色。

40―８　土師器甑把手。突起型。胴部への接着面から観察すると、粘土板を巻いてあることが分かる。指押さえ調整。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調は明赤褐色。

40―９　須恵器坏。底部はヘラ切り。底部に板目が付く。内外面は回転ナデ調整。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

40―10　須恵器坏。底部はヘラ切り。腰に丸みを持ち、体部は直線的立ち上がる。内外面は回転ナデ調整。見込みは数回横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

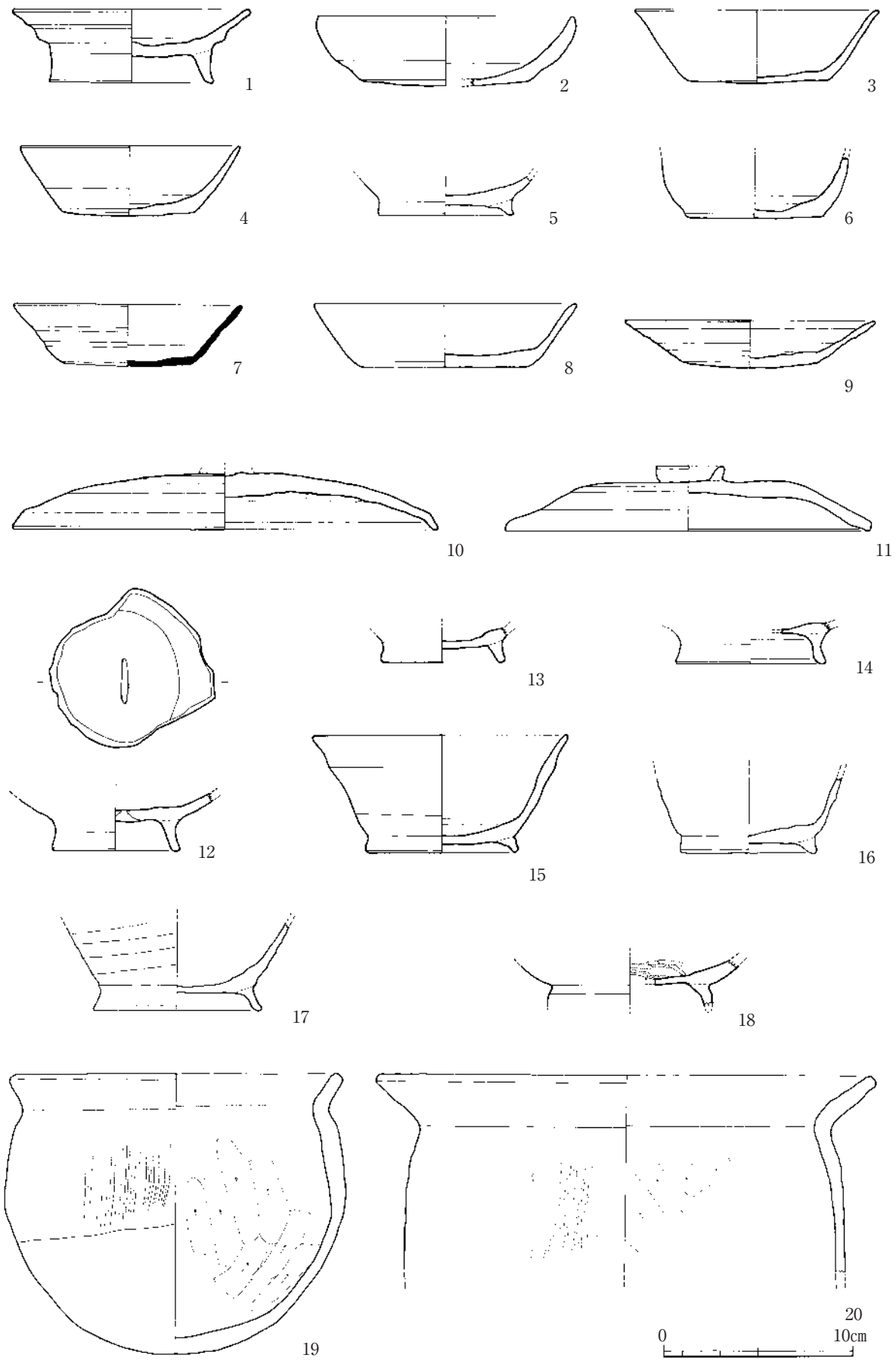
40―11　須恵器坏。復元口径11.8㎝。器高4.95㎝。底部はヘラ切り。ヘラ記号が付く。体部は直線的に開く。内外面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい黄色。

40―12　須恵器坏。小岱系。復元口径11.4㎝。器高4.0㎝。底部はヘラ切り。腰は丸みを帯び、体部は直線的にやや開く。高台は底面やや内側に付く。内外面は回転ナデ調整で、見込みに横ナデはしない。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は暗茶褐色。

40―13　須恵器坏。復元口径13.2㎝。器高4.5㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台は底面のやや外側に付く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰白色。

40―14　須恵器坏。復元口径14.6㎝。器高4.8㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台はやや外側に付く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰褐色。

40―15　須恵器坏。小岱系。口径12.8㎝。器高4.8



第39図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図①（１／３）

cm。底部はヘラ切り。体部は丸みを帯び、口縁部付近に沈線を巡らす。高台は底面内側に付く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは横ナデをしない。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は外面が明青灰色、内面は鈍い橙色。

40－16　須恵器坏。復元口径19.0cm。器高7.05cm。底部はヘラ切り。腰に丸みを帯び、体部は直線的に開きながら口縁部は外反する。高台は底面やや外側に付く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは横ナデをしない。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は灰黄色。

40－17　須恵器坏。復元口径11.0cm。器高4.7cm。体部はやや丸みを帯びて開き、口縁部に把手を付ける。内外面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい橙色。

40－18　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。高台は底面やや内側に付く。外面腰は回転ヘラ削りで、見込みは横ナデを数回施す。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

40－19　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。見込みは横ナデを数回施す。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

41－1　須恵器坏。底部はヘラ切り。高台は底面外側に付く。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はオリーブ灰色。

41－2　須恵器坏。底部はヘラ切り。腰に丸みを帯び、体部は直線的でやや直立気味。高台は底面内側に付く。外面腰は回転ヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデ施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は黄灰色。

41－3　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。腰に丸みを帯び、体部は直線的に開く。高台は底面やや内側に付き、畳付で外につまみ上げる。内外面は回転ナデ調整で、見込みは軽く横ナデする。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

41－4　須恵器坏。小岱系。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台はヘラ整形による浅い削り出しで、底面外側に付く。腰の部分は回転ヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは丹念に横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

41－5　須恵器坏。復元口径16.3cm。器高4.8cm。底部はヘラ切り。腰に丸みを帯び、体部はやや直立気味に開く。高台は底面外側に付き、端部を外につまみ出す。外面腰はヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは丹念に横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

41－6　須恵器坏。復元口径12.6cm。器高3.8cm。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面は回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目が付く。見込みは数回横ナデ施し、底部には板目が付く。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は黄灰色。

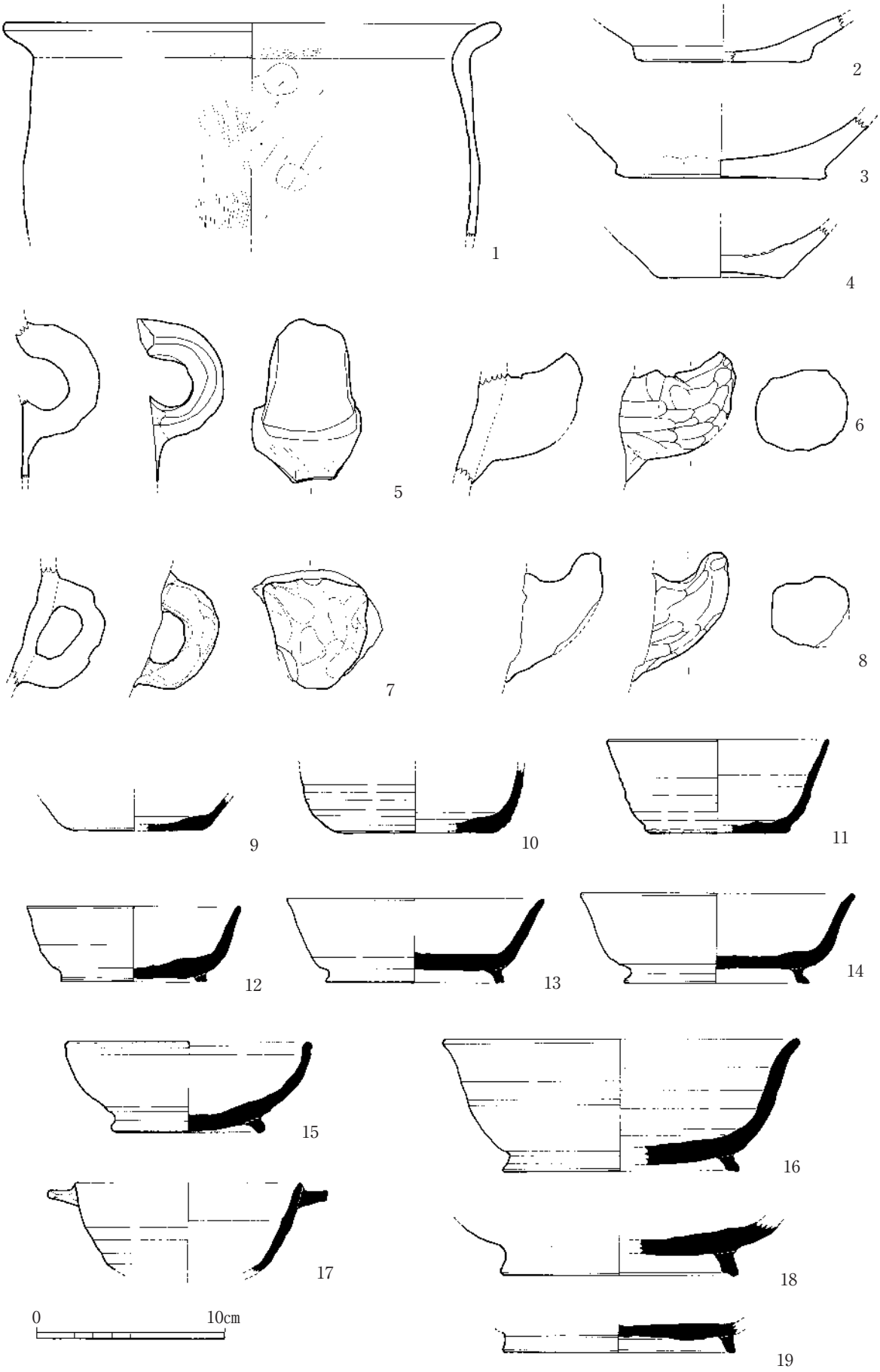
41－7　須恵器坏。復元口径11.6cm。器高5.0cm。底部はヘラ切り。腰に丸みを帯び、体部はやや直立気味に開く。内外面は回転ナデ調整で、内外面には強い指の押圧によるロクロ目が付く。見込みは横ナデをしない。底部にはヘラ記号が付く。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい褐色。

41－8　須恵器坏。復元口径12.0cm。器高3.5cm。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰白色。

41－9　須恵器坏。底部はヘラ切り。体部は丸みを持って開く。外面底部付近はヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調はにぶい赤褐色。

41－10　須恵器坏。復元口径12.6cm。器高2.7cm。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面は回転ナデ調整で、外面には指の強い押圧によるロクロ目が付く。見込みは軽く数回横ナデを行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

41－11　須恵器坏。小岱系。復元口径12.2cm。器高4.7cm。底部はヘラ切り。体部は丸みを持ち立ち上がる。外面底部付近はヘラ削り。内外面は回転ナデ調整で、見込みは横ナデをしない。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は外面が灰黄色、



第40図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図②（１／３）

内面は橙色。

41－12　須恵器坏。復元口径13.3㎝。器高3.7㎝。底部はヘラ切り。体部は緩やかな弧を描いて開き、口縁部は外反する。外面底部付近は回転ヘラ削りで、他の内外面は回転ナデ調整。見込みは丹念に横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

41－13　須恵器坏。復元口径12.6㎝。器高3.3㎝。底部はヘラ切り。体部は緩やかな弧を描いて開く。外面底部付近は回転ヘラ削りで、他の内外面は回転ナデ調整。見込みは丹念に横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

41－14　須恵器高坏の脚部。小岱系。脚部は外下方に「ハ」の字状に開き、接地面は下垂する。内外面とも回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。脚部に自然釉が付着する。色調はにぶい黄褐色。

41－15　須恵器皿。口径12.2㎝。器高2.1㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に大きく開く。内外面とも回転ナデ調整で、見込み及び底部は軽く横ナデを施す。胎土は砂粒混じり粗い。焼成はやや良。色調は灰白色。

41－16　須恵器坏蓋。復元口径15.8㎝。体部中位から緩やかに曲がり、口縁端部で水平になり、受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に宝珠状つまみを付けた痕跡がある。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

41－17　須恵器盤。復元口径16.9㎝。器高3.9㎝。底部はヘラ切り。口縁部は直立する。高台は内側に付く。外面底部付近はヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回丁寧に横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい褐色。

41－18　須恵器坏蓋。復元口径14.4㎝。器高2.6㎝。体部中位から緩やかに曲がり、口縁部で下垂して受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成は良。色調は灰白色。

41－19　須恵器坏蓋。復元口径16.0㎝。器高4.0㎝。体部中位から緩やかに曲がり、口縁端部で水平になり、浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なくやや細かい。焼成はやや良。色調は暗紫灰色。

41－20　須恵器坏蓋。復元口径14.7㎝。器高3.1㎝。体部中位から緩やかに曲がり口縁部で下垂し受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐色。

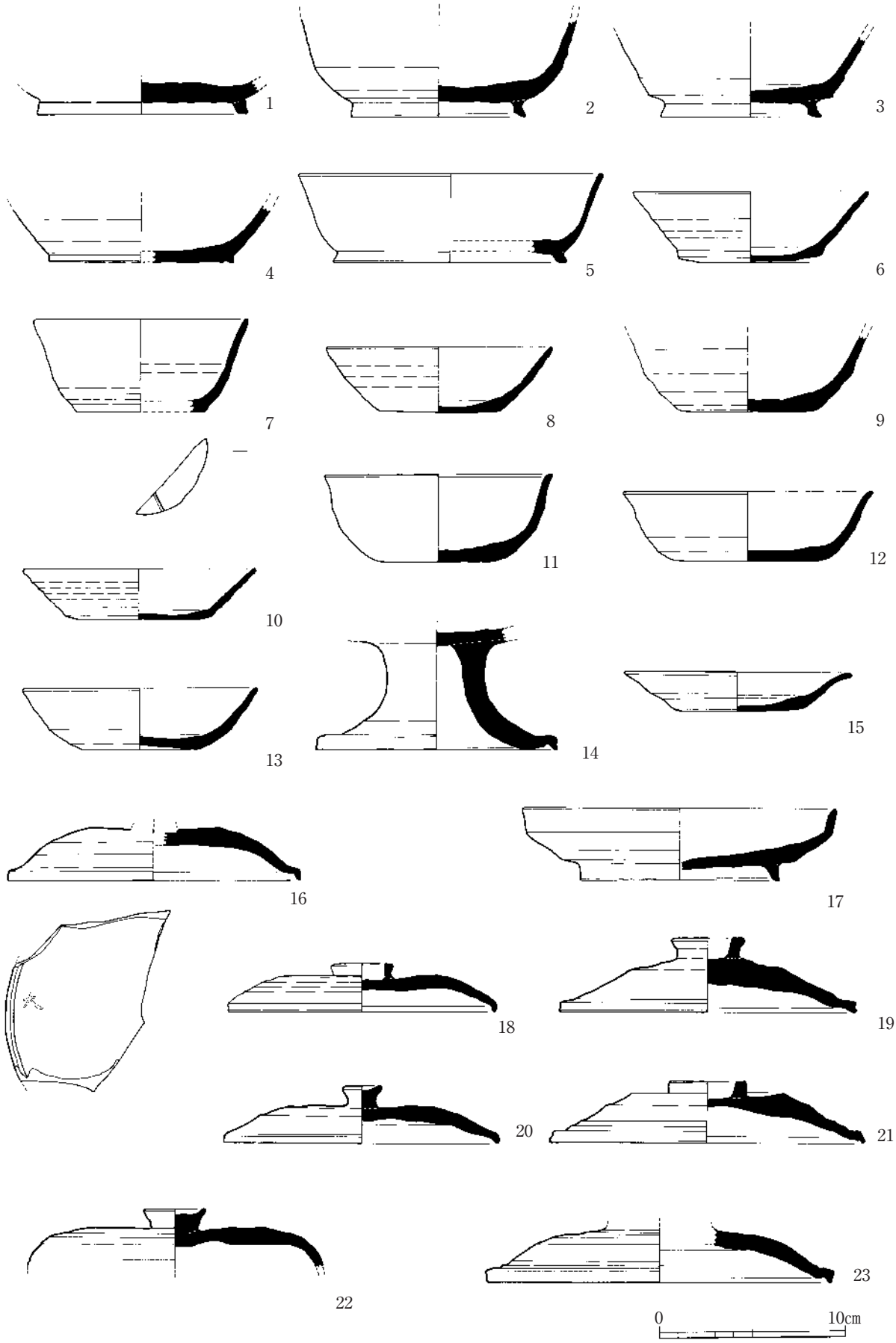
41－21　須恵器坏蓋。小岱系。復元口径16.7㎝。器高3.3㎝。体部上位から曲がり、口縁端部で水平になり、浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整で、外面は強い指の押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄褐色。

41－22　須恵器坏蓋。小岱系。体部は口辺部より弧を描いて曲がる。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。上面に窯壁の崩落による砂が付着する。色調はにぶい黄褐色。

41－23　須恵器坏蓋。復元口径18.4㎝。体部中位から曲がり、口縁端部で水平になり、浅い受けを作る。口縁部上面には沈線を巡らす。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行う。内面は中心部にかけて横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は青灰色。

42－1　須恵器坏蓋。復元口径13.0㎝。器高2.2㎝。体部中位から曲がり、緩い弧を描いて口縁端部で浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面は軽い横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

42－2　須恵器坏蓋。復元口径16.8㎝。焼成時にか



第41図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図③（１／３）

なり歪んでいるが、整形は体部中位から曲げ、緩い弧を描いて口縁部は水平にし、口縁端部で浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良で、内面約半分に自然釉が付着する。色調は灰白色。

42－3　須恵器坏蓋。体部上面は緩い弧を描く。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面は中心部にかけて横ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい黄褐色。

42－4　須恵器坏蓋。復元口径13.8㎝。器高2.8㎝。体部中位から曲がり、緩い弧を描いて口縁端部で浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面中心部はランダムな横ナデ。他は回転ナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

42－5　須恵器坏蓋。小岱系。体部上位から緩やかな弧を描く。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面中心部は横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい橙色。

42－6　須恵器坏蓋。体部上面は窪み、屈曲点は上面に盛り上がる。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面中心部は横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。上面に自然釉がかかる。色調はにぶい褐色。

42－7　須恵器坏蓋。復元口径15.9㎝。器高2.2㎝。上面中心部は窪み、屈曲が弱くやや扁平で口縁部は水平にし、浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に輪状つまみを付ける。内面は広く横ナデを行う。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は黄褐色。

42－8　須恵器坏蓋。復元口径11.8㎝。器高1.9㎝。体部中位から曲がり、直線的に口縁端部に至り、浅い受けを作る。外面は中心部にかけて回転ヘラ削りを行い、中心部に扁平宝珠状つまみを付ける。内面は軽い横ナデ。他は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は外面が褐灰色で、内面が橙色。

42－9　須恵器椀。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。高台は底面外側に付く。内外面は回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目が付く。底部には墨書があり、「八少領」と読める。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

42－10　須恵器椀。復元口径13.3㎝。器高6.0㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開き、口縁部でやや外反する。高台は底面外側に付く。内外面は回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目が付く。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰白色。

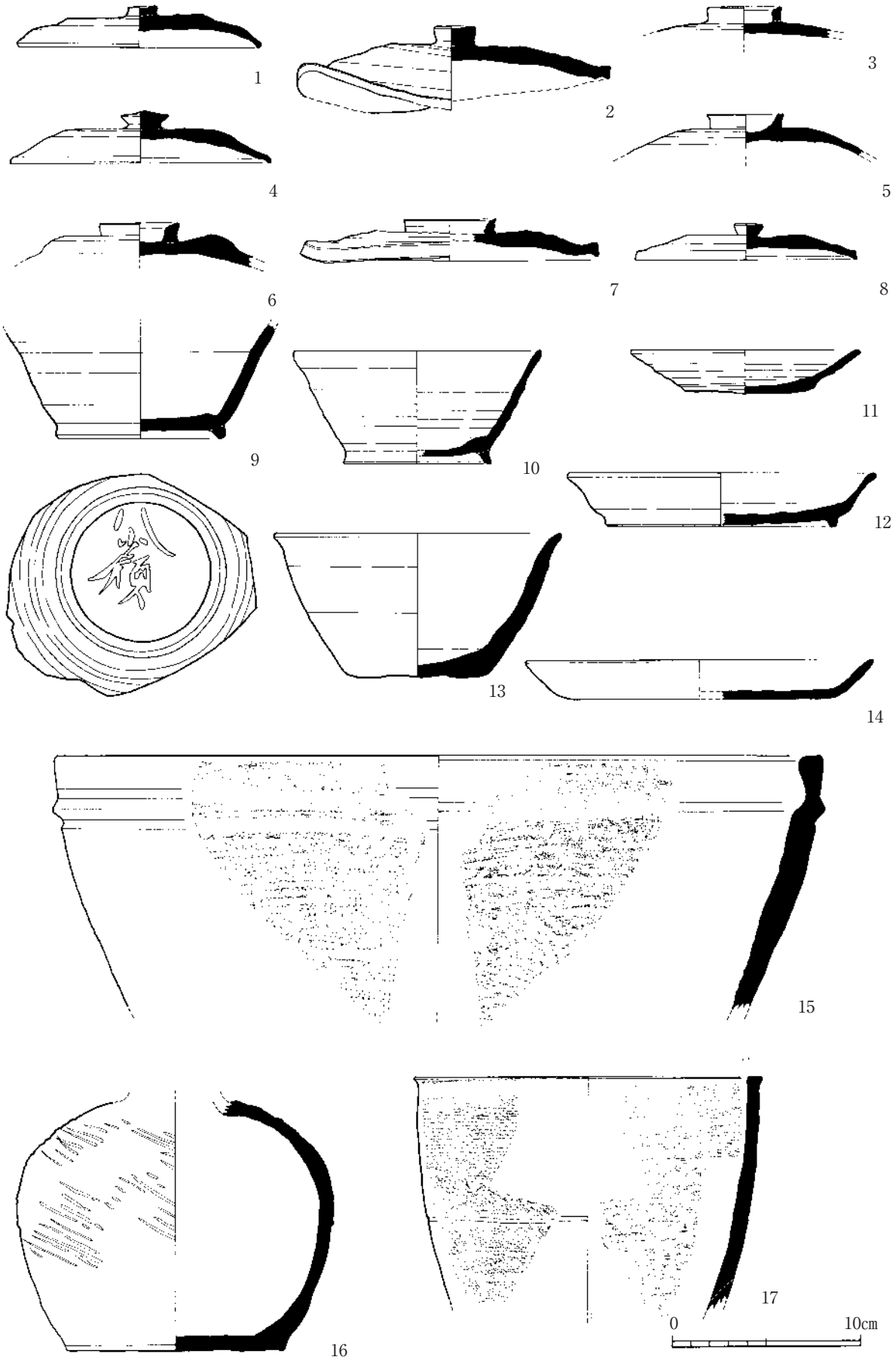
42－11　須恵器皿。口径12.2㎝。器高2.3㎝。底部はヘラ切りで、その後ハケによりナデ消す。体部は直線的に大きく開く。内外面は回転ナデ調整で、外面には強い指の押圧によるロクロ目が付く。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は灰色。

42－12　須恵器盤。復元口径16.5㎝。器高2.85㎝。底部はヘラ切りで、後、横ナデを施す。体部は直線的に大きく開き、口縁部でやや外反する。高台は底面外側に付く。内外面は回転ナデ調整。見込みは丹念な横ナデを施す。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

42－13　須恵器鉢。復元口径15.4㎝。器高7.56㎝。底部はヘラ切り。体部はやや内湾しながら口縁部でやや外反する。外面は底部から体部中位まで回転ヘラ削りで、他は内外面とも回転ナデ調整。見込みは数回横ナデを施す。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。焼成は良。色調は灰褐色。

42－14　須恵器盤。復元口径18.6㎝。器高2.1㎝。底部はヘラ切り。体部は直線的に開く。内外面は回転ナデ調整で、見込みは中心部のみ横ナデを施す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。焼成は良。色調は暗緑灰色。

42－15　須恵器鉢。復元口径41.2㎝。体部はやや内湾しながら開き、口辺部には作り出しによる凸帯が一条巡る。内面は同心円文当て具痕が残り、外面は格子目タタキ。内面の凹線部下にはハケ目が２条ほ



第42図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図④（１／３）

ど周り、当て具痕を消す。口縁部は内外面とも回転ナデ調整で消しているが、当て具痕、タタキ目が若干残る。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。焼成は良。色調は灰色。

42―16　須恵器壺。平底で体部は丸みを持ち、胴部の最大径は上位にある。体部内面はヘラ削りにより当て具痕を消している。外面は平行タタキ痕が残るが、底部付近は回転ヘラ削り、上位は回転ナデ調整で消している。底部は内面に同心円文の当て具痕残り、外面は丁寧なナデ調整を行っている。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘く、色調は黄灰色。

42―17　須恵器鉢。復元口径18.6㎝。体部は直立気味にやや内湾する。口縁部は端部を平坦にして外側につまみ出す。内面は同心円文当て具痕の上より回転ヘラ削りを施す。外面は平行タタキの後、回転ハケ目調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は黄灰色。

43―1　須恵器甕口縁部の破片。復元口径39.3㎝。複合口縁を持ち、屈曲部には明確な稜を持つ。口縁端部は平坦でわずかに内傾する。外面は縦方向にカキメ調整の後、回転ナデ調整を行う。内面も回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は外面がにぶい赤褐色、内面は褐灰色。

43―2　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部には明確な稜を持たない。口縁端部は平坦でわずかに内傾する。屈曲部下にはヘラによる波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は黄灰色。

43―3　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部にはヘラによる圏線を巡らす。口縁端部は平坦で内傾する。屈曲部下にはヘラによる波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調はにぶい赤褐色。

43―4　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部には２条の稜を持つ。口縁端部は平坦で内傾する。屈曲部下には３本を単位とする櫛描き波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は褐灰色。

43―5　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部には明確な稜を持たない。口縁端部は平坦。屈曲部下には３本を単位とする櫛描き波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は灰黄色。

43―6　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部には明確な稜を持つ。口縁端部は平坦でわずかに内傾する。屈曲部下にはヘラによる波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は内面がにぶい黄灰色、外面が黒褐色。

43―7　須恵器甕口縁部の破片。複合口縁を持ち、屈曲部には明確な稜を持たない。口縁端部は平坦で内傾する。屈曲部下にはヘラによる波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや甘い。色調は灰黄褐色。

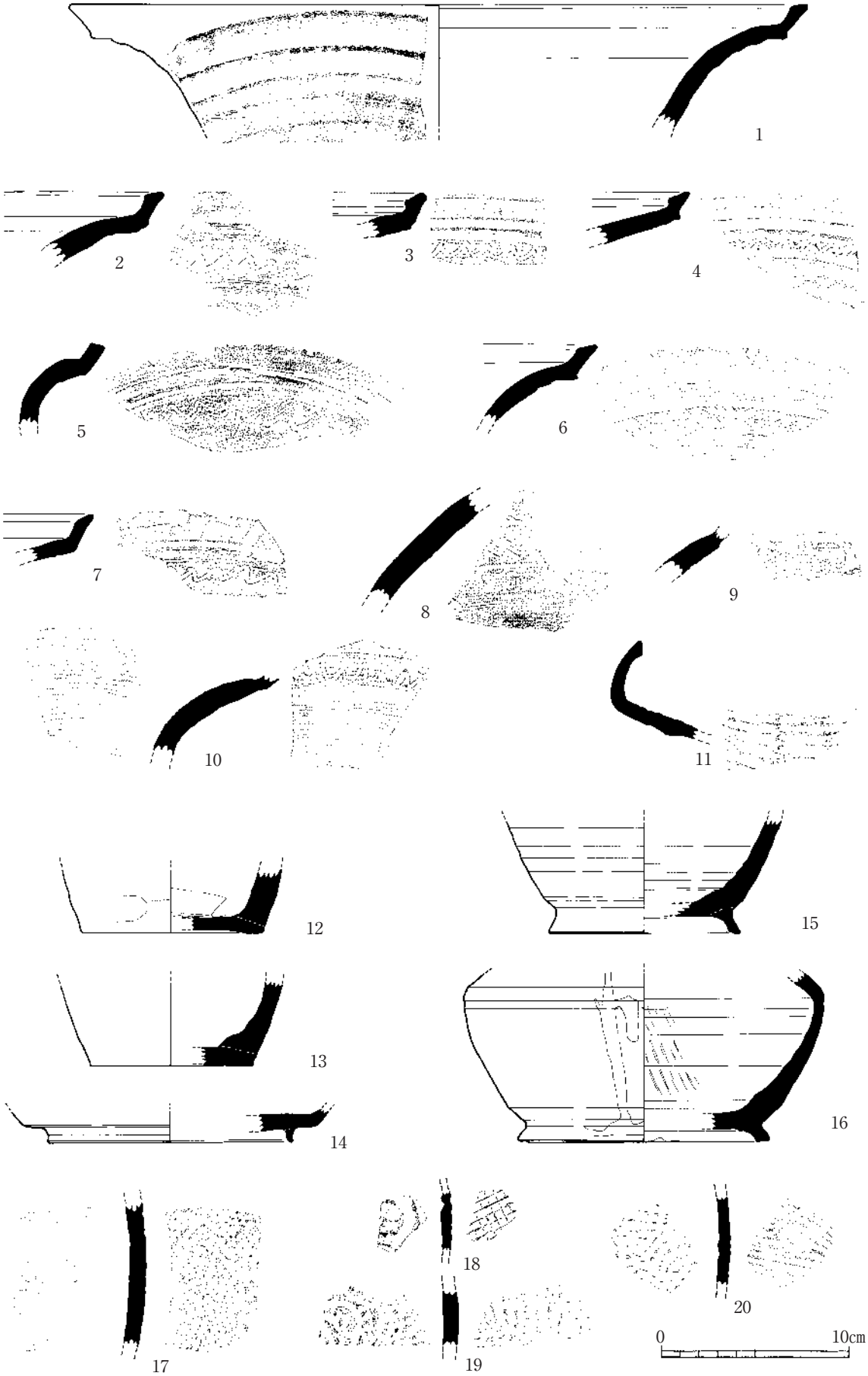
43―8　須恵器甕口縁部の破片。外面には３本を単位とする櫛描き波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は内面がにぶい黄色、外面が黒褐色。

43―9　須恵器甕口縁部の破片。外面には６本を単位とする櫛描き波状文を巡らす。内外面とも回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。良く焼き締まる。色調は内面がにぶい黄橙色、外面が黒褐色。

43―10　須恵器甕口縁部の破片。外面にはヘラによる圏線と波状文を巡らす。内面は回転カキメ調整。外面は回転ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は内面がにぶい黄褐色、外面が赤褐色。

43―11　須恵器甕口縁部の破片。単純口縁を持「く」の字に屈曲し、口縁部外面に面を持つ。口縁部は内外面とも回転ナデ調整。体部内面は屈曲部付近に縦方向ヘラ削り。外面は３本の節のある平行タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調はにぶい赤褐色。

43―12　須恵器壺底部の破片。底部は平坦で、胴部は直線的に立ち上がる。調整は外面底部付近に回転ヘラ削り。内面はナデ。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。色調は内面が橙色、外面が灰色。



第43図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑤（１／３）

43―13　須恵器壺底部の破片。底部は平坦で、胴部は内湾しながら立ち上がる。調整は外面底部付近に回転ヘラ削り。内面はナデ。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は暗灰黄色。

43―14　須恵器盤の破片。底面端部よりやや内側に高台をつける。胎土は砂粒が少なく細かい。色調は灰色。

43―15　須恵器壺底部の破片。小岱系。底面外側に外傾した高台を付ける。胴部は内湾しながら立ち上がる。調整は外面底部付近に回転ヘラ削りで、上部は回転ナデ調整。内面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が混じるが細かい。色調は内面が灰色、外面が暗赤褐色。

43―16　須恵器壺底部の破片。底面外側に外傾した高台を付ける。胴部は内湾しながら立ち上がり、内折して肩部を作る。外面の肩部から底部は回転ヘラ削り。内面は回転ナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。底部内面及び肩部に自然釉がかかる。色調は内面が灰白色。

43―17　須恵器甕胴部の破片。内面は平行及び同心円当て具。同心円当て具は中心に「十」の字がある。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調は橙色。

43―18　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は格子目タタキ。良くタタキ締め、器肉が薄い。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

43―19　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心は菊花型。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい赤褐色。

43―20　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は格子目タタキ。良くタタキ締め、器肉が薄い。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰黄色。

44―1　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「米」の字がある。外面は格子目タタキ。良くタタキ締め、器肉が薄い。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は内面がにぶい黄褐色、外面が鈍い赤褐色。

44―2　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は2本の節のある平行タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は内面が橙色、外面が灰黄褐色。

44―3　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は暗灰黄色。

44―4　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は平行タタキ。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや良。色調は内面がにぶい赤褐色、外面が灰黄褐色。

44―5　須恵器甕胴部の破片。内面は大きな同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は格子目タタキ。良くタタキ締められ、器肉が薄い。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成はやや良。色調は内面がにぶい赤褐色、外面が灰黄褐色。

44―6　須恵器甕胴部の破片。内面は同心円当て具で中心に「十」の字がある。外面は平行タタキ。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成はやや良。色調は内面が橙色、外面が灰黄褐色。

44―7　須恵器横瓶。丸みを帯びた、卵形の器形。内面は同心円当て具痕、外面は格子目タタキ。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は甘い。色調はにぶい黄橙色。

44―8　須恵器鉢。復元口径77.0㎝。体部は丸みを持ちながら大きく開き、口縁部との移行部にナデによる断面三角の稜を持つ。体部は内面が同心円当て具、外面が格子目タタキ。内面の口縁部移行部はハケ目で当て具痕をナデ消す。口縁部付近は内外面とも回転ナデ調整であるが、内面には同心円当て具、外面には格子目タタキの痕跡がそれぞれ残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰色。

45―1　紡錘車。直径6.2㎝。須恵質で焼成されている。整形はナデ調整で、片面の内面が窪む。

45―2　須恵器盤の底部を転用した転用硯。見込み部分を硯として利用し、滑かに変化している。高台内には「大」の字のヘラ描き文字がある。

45―3　風字硯。縦12.7㎝で方形。中央部の堤によって2分割され、海陸の境はない。底部に乳状の短脚を2個付けた痕跡がある。

第44図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑥（1／3・1／6）

46－1　鉄鏃。縦6.2cm。最大幅3.55cm。茎の部分が欠損する。

46－2　鉄鏃。縦6.5cm。最大幅3.8cm。茎の部分が欠損する。

46－3　鉄鏃で茎。縦2.75cm。幅0.5cm。

46－4　鉄鏃で茎。縦3.5cm。幅0.8cm。

46－5　鉄鎌の破片。横4.95cm。幅3.45cm。

46－6　鉄鎌の破片。横7.2cm。幅2.6cm。

46－7　鉄釘。縦2.7cm。幅0.55cm。

46－8　不明鉄製品。L字型に屈曲する。直径0.75cm。

46－9　鉈。縦10.85cm。幅1.4cm。

46－10　鉈。縦5.95cm。幅1.2cm。

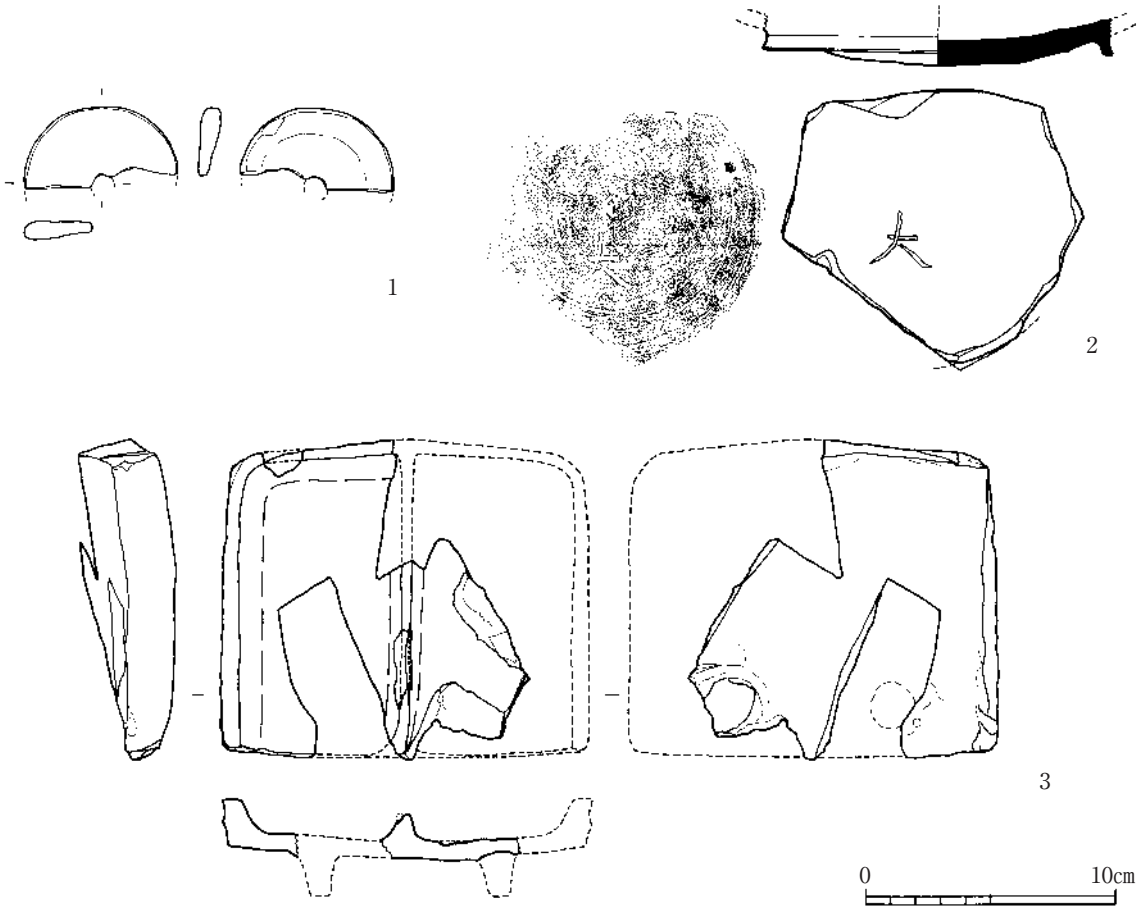
46－11　鉈。縦4.3cm。幅0.9cm。

47－1　平瓦。凹面に布目と枠板痕が残り、凸面に菱形に変形した格子目タタキが残る。左側縁部付近に布が乱れる窪みがあり、側面には分割截線・破面を見ることができる。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は淡灰色。

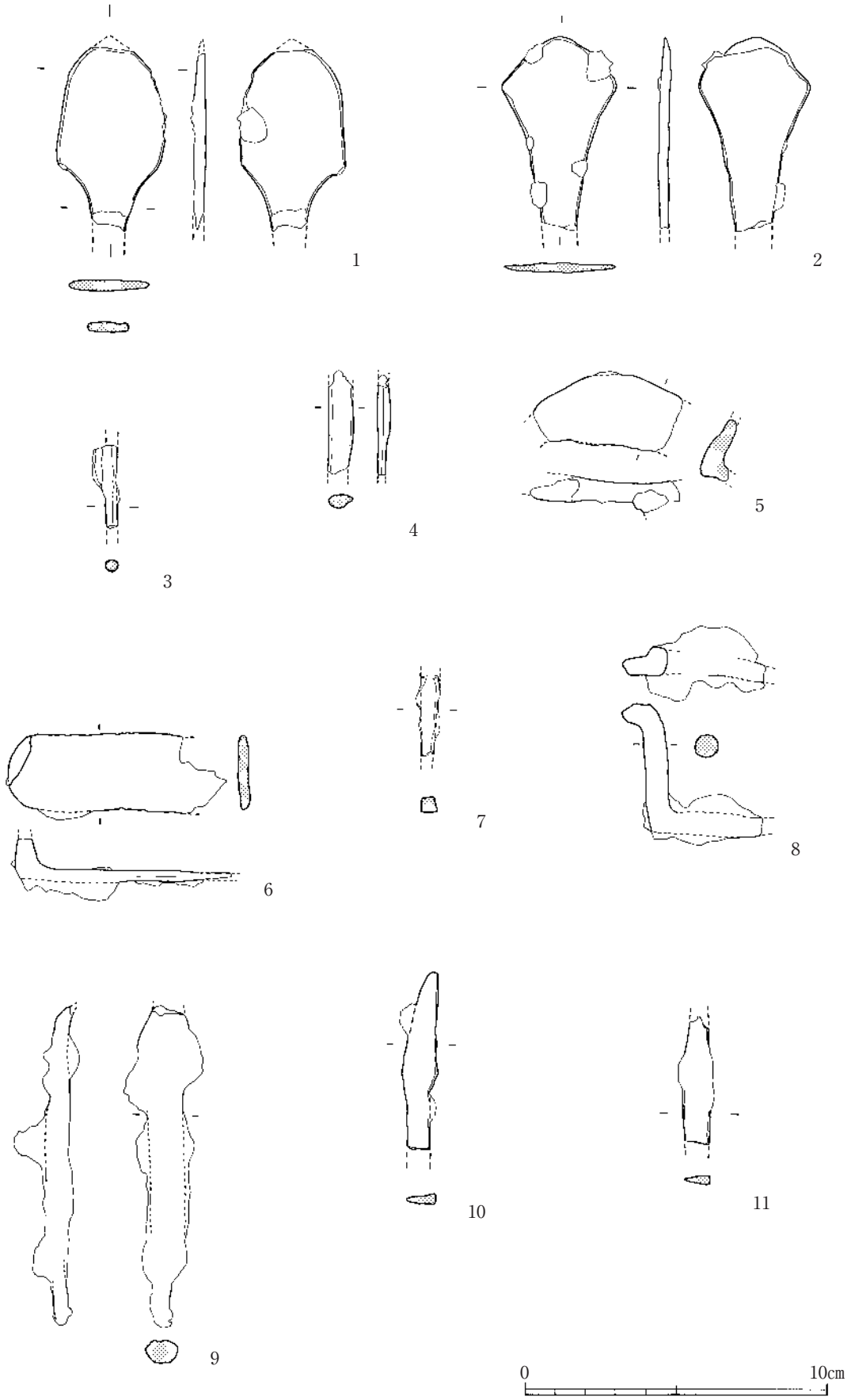
47－2　軒平瓦で瓦当部は唐草文で心飾より左の部分である。軒平瓦D型の偏行唐草文で内区を二重の隆起線で囲み、外区に線鋸歯文を施す。顎部はナデ調整が残存する。凸面には側縁に平行する縄目タタキが残る。側面の角度はかなり斜行する。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は良。色調は灰白色。

47－3　軒平瓦D型。瓦当部は唐草文で心飾より右の部分である。界線は二重で、下外区と脇区には線鋸歯文が付く。凹面はナデ調整で布目を消す。凸面に縦方向に縄目タタキが残り、瓦当部の顎の部分には横方向に縄目タタキの痕跡が残る。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は外面が暗灰色で、胎土は淡灰色。

48－1　軒平瓦D型。瓦当部は全て残存する。偏行唐草文。界線は二重で、下外区と脇区には線鋸歯文が付く。凹面は糸切り痕は見られるが、枠板痕は認められない。凸面側面平行する縄目タタキが残り、



第45図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑦（1／3）



第46図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑧（１／２）

瓦当部の顎の部分には横方向に縄目タタキの痕跡が残る。顎部の縁において一条の縄目が認められる。右側面に二辺の面取りがなされる。右脇区は面取りによって切断され、左上外区の鋸歯文は見られず笵まで瓦当面が及ばない。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は外面が暗灰色で、胎土は暗灰色。

48－2　丸瓦。凹面に布目の痕跡が残り、凸面にナデ調整でタタキを消す。胎土は砂粒が混じるが細かい。焼成は甘い。色調は黄白色。

48－3　軒平瓦Ｄ型。瓦当部は唐草文で心飾より右の部分である。界線は二重で、下外区と脇区には線鋸歯文が付く。凹面はナデ調整で布目を消す。凸面に縦方向に縄目タタキが残り、瓦当部の顎の部分はナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

48－4　軒丸瓦Ｇ型の鬼面文軒丸瓦。鬼面文の周りには唐草文が巡る。接合方法は瓦当裏面に丸瓦を置き、支持土で接着する方法と思われる。周縁において枷型と笵型の重ね目と思われる痕跡がある。瓦当裏面はナデ調整が施される。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

49－1　大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ｉ－２類。体部外面はヘラ削りを行い、内面見込みにはヘラ描きで施文する。釉調は灰オリーブ色。

49－2　大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ｉ－４類。体部外面はヘラ削りを行い、内面には２叉工具で縦に施文する。釉調は灰オリーブ色。

49－3　大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ｉ－２類。体部外面はヘラ削りを行い、３叉工具で蓮華文を描く。釉調はオリーブ灰色。

49－4　大宰府編年の白磁碗Ｖ－１類。口縁部は直に引き上げる。体部外面はヘラ削りを行い、内外面無文。釉調は灰白色。

49－5　大宰府編年の越州窯系青磁碗Ｉ－２類。胴部は内湾し、高台はやや細く、断面方形を為す。体部外面はヘラ削りを行う。釉は全面に施し、畳付きを掻き取る。釉調は灰オリーブ色。

49－6　大宰府編年の同安窯系青磁皿Ｉ－２類。体部外面はヘラ削りを行い、見込みに櫛と２叉工具で施文する。釉は畳付を掻き取る。釉調は淡灰緑色。

49－7　瓦器椀。丸みを帯びた器形で、体部外面はヘラ削り。底面内側に高台を貼り付けた痕跡がある。内面は丁寧なナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

49－8　瓦器椀。丸みを帯びた器形で、口縁部は直に立ち上がる。体部外面は上位までヘラ削り。口縁部付近はヘラ磨きを施す。底面内側に内面に貼り付け、足の長い高台を付ける。内面は丁寧なナデ調整。胎土は砂粒が少なく細かい。焼成は良。色調は灰白色。

49－9　瓦質土器の方形火鉢。直線的な体部で口縁部は平坦にし、外に張り出す。外面はナデ調整。内面は横方向にハケ目調整。胎土は砂粒がまじり粗い。焼成は甘い。色調は褐灰色。

49－10　埴輪。直線的な器形で、端部は平坦にする。内面は横方向にハケ目調整した後、ナデ調整。外面は縦方向にハケ目調整。胎土は砂粒がまじり粗い。色調はにぶい黄橙色。

49－11　縄文深鉢の口縁部の破片。口縁部は肥厚し、上面を水平にする。外につまみ出した端部は刻み目を連続して入れる。内外面ともナデ調整。胎土は砂粒がまじり粗い。色調はにぶい黄色。

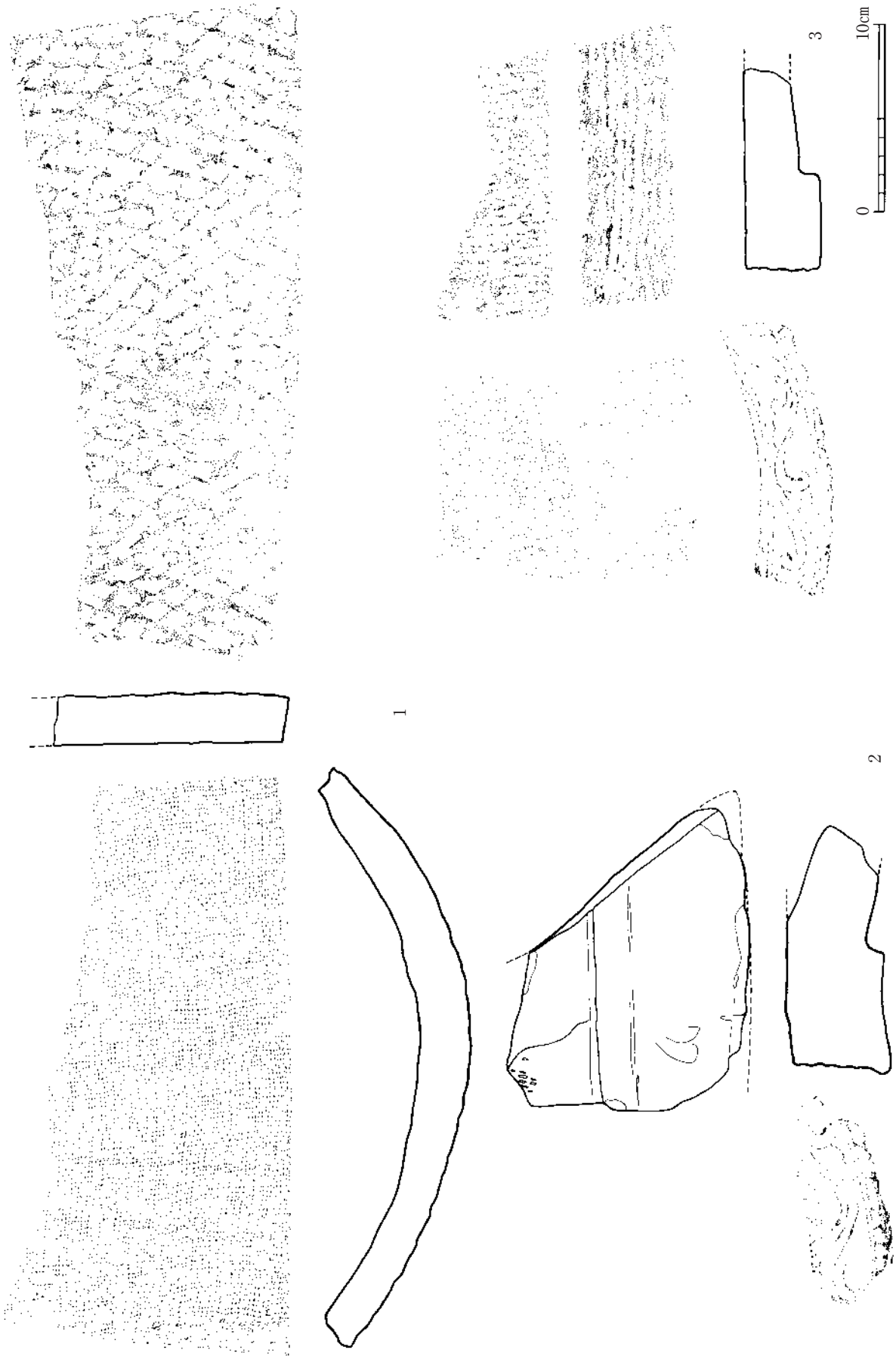
49－12　縄文深鉢の口縁部の胴部。阿高式。胴部外面に太い凹線引く。内外面ともナデ調整で、外面は特に滑らか。胎土には滑石粒が混じり、やや細かい。色調はにぶい黄橙色。

49－13　縄文深鉢。口縁部は外折し、上面を水平にする。上面にはヘラによる刻み目を連続して入れる。内外面ともナデ調整。胎土は砂粒が多く粗い。色調はにぶい黄橙色。

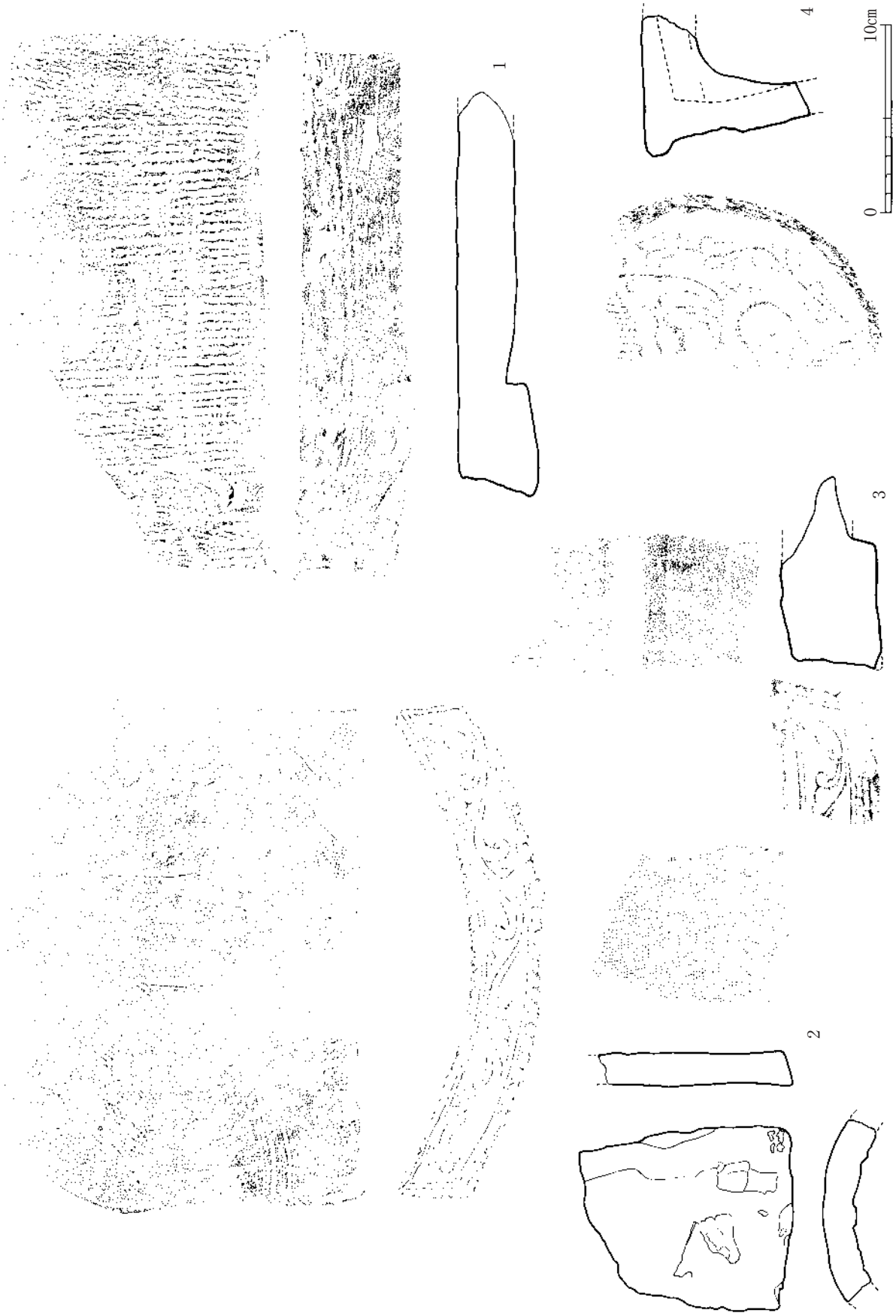
50－1　滑石製石鍋の２次加工品で、径約15.6㎝。厚み2.2㎝。楕円形に加工し、内面端部を水平にする。外面は煤が付着し、のみ削りによる加工痕がある。

51－1　石鏃で、片方の端部が欠損しているが、長さ1.5㎝。幅1.0㎝。石材は黒曜石。

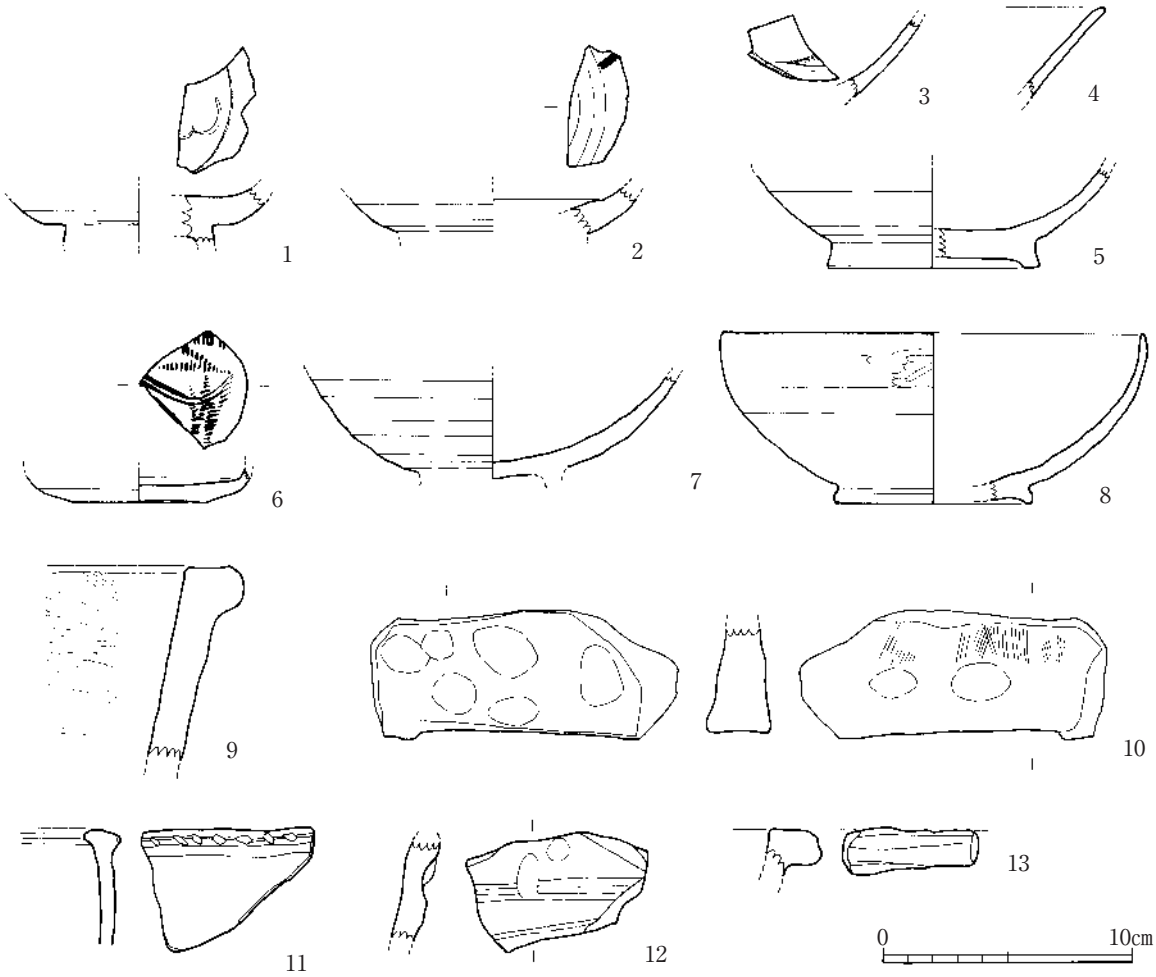
51－2　横型の石匙。縦4.85㎝。横5.75㎝。石材は安山岩。



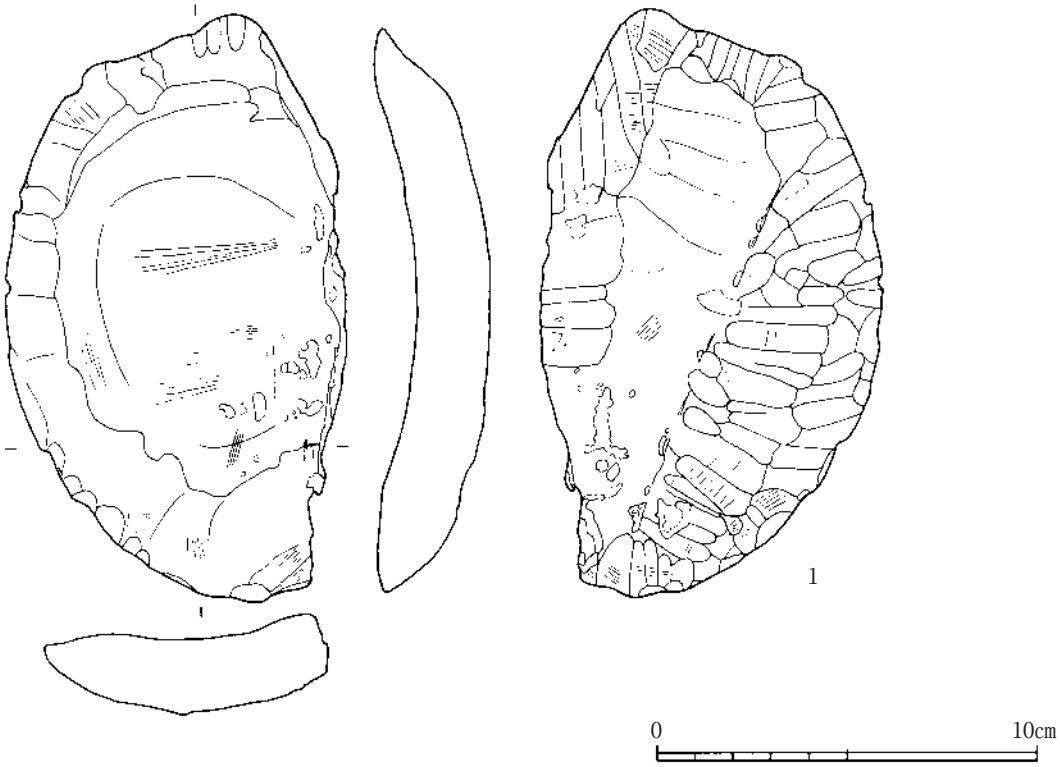
第47図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑨（１／３）



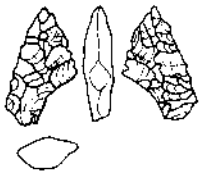
第48図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑩（１／３）

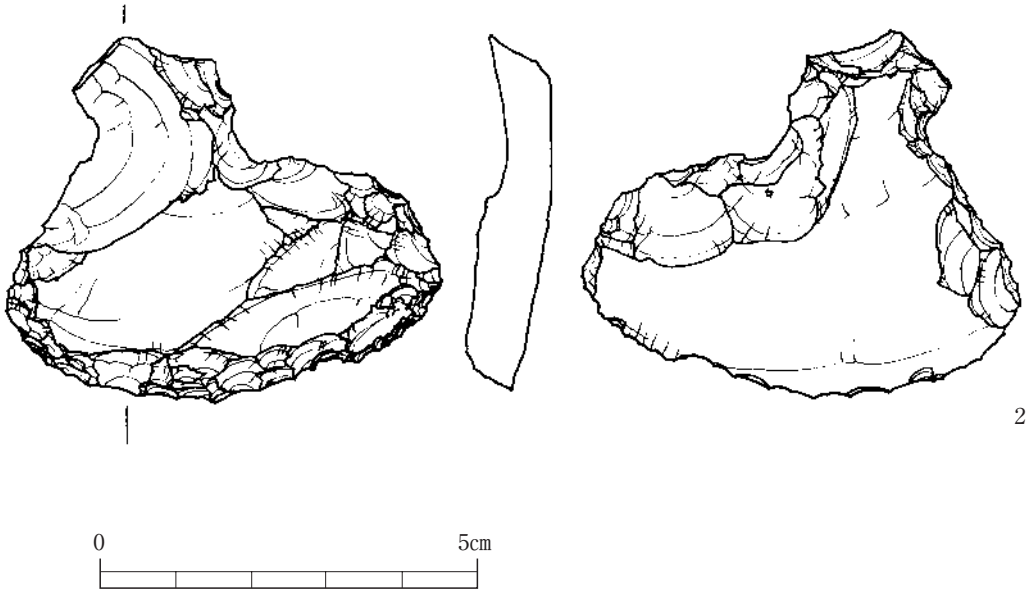


第49図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑪（１／３）



第50図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑫（１／２）





第51図　Ⅲ区　包含層出土遺物実測図⑬（１／１）

参　考　文　献

橋本康夫、鶴島俊彦　1983 『上鶴頭遺跡』 熊本県文化財調査報告書第63集

丸山伸治、川俣　恵　1996 『陣山遺跡』 熊本県文化財調査報告書第155集

高谷和生　2001 『柳町遺跡Ⅰ』 熊本県文化財調査報告書第200集

網田龍生　1999 『池辺寺跡Ⅱ』 熊本市教育委員会

坂田邦洋　1994 『玉名郡衙』 玉名市歴史資料集成第12集

狭川真一　1998 『大宰府条坊跡Ⅹ－推定大宰府朱雀大路周辺の調査－』太宰府市教育委員会

下鶴弘他　1999 『宮田ヶ岡瓦窯跡』姶良町埋蔵文化財調査報告書７鹿児島県姶良町教育委員会

竹内理三編　1991 『角川日本地名大辞典43熊本県』 角川書店

松本雅明監修　1985 『日本歴史地名大系第44巻熊本県の地名』 平凡社

「新・熊本の歴史」編集委員会編　1979 『新・熊本の歴史２古代（下）』 熊本日日新聞社

工藤敬一・平野敏也　1997 『図説　熊本県の歴史』 河出書房新社

工藤敬一他　1999 『熊本県の歴史』 山川出版社

中世土器研究会編　1995 『概説中世の土器・陶磁器』 真陽社

広瀬正照　1987 『肥後古代寺院と瓦』」広瀬正照遺稿集刊行会

平川　南　1991 「墨書土器とその字形」『国立歴史民族博物館研究報告』第35集

山本信夫　1990 「統計上の土器」『九州上代文化論集』乙益重隆先生古希記念論文集

中島恒次郎　1992 「奈良・平安土器の移り変わり」『大宰府市史　考古資料編』

網田龍生　1994 「奈良時代　肥後の土器」『先史学・考古学論究』
熊本大学文学部考古学研究室創設20周年論文集

網田龍生　1994 「肥後における回転台土師器の成立と展開」『中近世土器の基礎研究Ⅹ』

佐原　真　1972 「平瓦桶巻き作り」『考古学雑誌58－２』日本考古学会

上原正人　1984 「瓦の見方」『富山市考古資料館紀要３』

松本雅明　1987 「肥後国府と古代寺院址の研究」弘生書店

栗原和彦　1990 「九州における平瓦一枚作り」『九州歴史資料館研究論集16』九州歴史資料館普及会

鶴嶋俊彦　1991 「肥後における歴史時代研究の現状と課題」『肥後考古学第８号』肥後考古学会

大脇　潔　1991 「研究ノート　丸瓦の製作技術」『研究論集Ⅸ』奈良国立文化財研究所

金田一精　1997 「文様・技法からみた肥後の古瓦」『肥後考古第10号』肥後考古学会

第２表　遺物観察表

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径･タテ	底径･ヨコ	器高･アツミ	高台･つまみ高	高台･つまみ径	色調	グリッド
12-01	Ⅰ	土師器	坏	SK Ⅰ2			(1.65)	0.60	(7.00)	にぶい黄橙～橙　橙	
12-02	Ⅰ	須恵器	坏	SK Ⅰ2			(1.70)			灰褐　にぶい黄橙～灰黄褐	
12-03	Ⅰ	須恵器	坏	SK Ⅰ2			(2.25)	0.80	(7.00)	灰白～にぶい黄橙　灰白	
12-04	Ⅰ	須恵器	坏	SK Ⅰ2		(7.65)	(1.85)	0.50	(7.10)	灰白～灰　灰白	
12-05	Ⅰ	須恵器	甕	SK Ⅰ2	(15.70)		(2.70)			赤橙～にぶい赤褐　にぶい橙～にぶい褐	
12-06	Ⅰ	須恵器	壺	SK Ⅰ2			(3.80)			にぶい褐　橙～にぶい黄橙	
12-07	Ⅰ	須恵器	甕	SK Ⅰ2			(4.90)			灰白～灰　灰白	
12-08	Ⅰ	須恵器	甕	SK Ⅰ2			(8.80)			灰黄～黄灰　灰白	
12-09	Ⅰ	須恵器	甕	SK Ⅰ2			(6.55)			にぶい黄～にぶい黄褐　にぶい橙	
12-10	Ⅰ	須恵器	甕	SK Ⅰ2			(5.15)			にぶい黄橙～灰黄褐　暗灰黄	
12-11	Ⅰ	瓦	丸瓦	SK Ⅰ2	(13.40)	(8.00)	2.20			暗灰　淡灰	
12-12	Ⅰ	緑釉陶器	椀	SK Ⅰ2			(1.40)	0.30		クリーム	
12-13	Ⅰ	土師器	坏	SK Ⅰ3		(6.70)	(1.50)			灰白～にぶい黄橙　灰黄～にぶい黄橙	G-1
12-14	Ⅰ	土師器	高坏	SK Ⅰ3			(1.70)			にぶい黄橙　橙	G-1
12-15	Ⅰ	土師器	坏	SK Ⅰ3			(1.50)	0.75	(6.90)	にぶい橙　橙	G-1
12-16	Ⅰ	須恵器	坏	SK Ⅰ3			(1.95)	0.45	(7.00)	にぶい黄～灰黄褐　灰黄～にぶい黄褐	G-1
12-17	Ⅰ	須恵器	坏	SK Ⅰ3	(12.30)		(3.20)			灰	G-1
13-01	Ⅱ	須恵器	坏	SK Ⅱ2		(11.75)	(2.00)	0.75	(10.50)	灰褐	F-3
13-02	Ⅱ	須恵器	坏蓋	SK Ⅱ2			(1.70)			灰，にぶい黄橙	F-3
14-01	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1	12.50		3.60			浅黄橙　にぶい橙	
14-02	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1	(12.90)	(7.60)	3.25			灰白，淡黄	
14-03	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1		8.40	(2.30)	1.50	7.85	にぶい黄橙	
14-04	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1	13.55	7.10	3.50			にぶい黄橙	
14-05	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1	(13.60)	(7.80)	2.35			明黄褐	
14-06	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1			(2.65)	1.25	(7.80)	黄橙　橙	
14-07	Ⅲ	土師器	坏	SK Ⅲ1	12.40	7.30	3.70			にぶい橙	
14-08	Ⅲ	土師器	坏蓋	SK Ⅲ1			(3.90)	7.40	1.95	淡黄～明黄褐	
14-09	Ⅲ	土師器	椀	SK Ⅲ1	(12.50)		5.40	(0.40)	(7.90)	にぶい橙	
14-10	Ⅲ	土師器	椀	SK Ⅲ1			(5.30)	0.60	(7.20)	暗灰，明灰	
14-11	Ⅲ	土師器	椀	SK Ⅲ1			(6.20)	0.60	(7.40)	浅黄	
14-12	Ⅲ	土師器	椀	SK Ⅲ1			(2.45)	1.20	7.40	にぶい橙	
14-13	Ⅲ	土師器	椀	SK Ⅲ1			(3.50)	1.45	(9.45)	にぶい黄橙	
14-14	Ⅲ	土師器	皿	SK Ⅲ1	(15.00)	(10.00)	2.2			にぶい黄橙	
14-15	Ⅲ	土師器	鉢	SK Ⅲ1	(13.20)	(9.00)	5.70			にぶい黄橙～にぶい黄褐　にぶい黄橙～にぶい黄	
14-16	Ⅲ	土師器	鉢	SK Ⅲ1		(11.80)	(11.60)			橙	
14-17	Ⅲ	土師器	甕	SK Ⅲ1	(20.80)		(8.00)			褐　にぶい黄褐	
14-18	Ⅲ	土師器	甕	SK Ⅲ1	(22.80)		(12.90)			にぶい黄橙　にぶい橙	
14-19	Ⅲ	土師器	甕	SK Ⅲ1	(27.50)		(8.60)			橙	
15-01	Ⅲ	土師器	甕	SK Ⅲ1	(23.90)		(9.70)			浅黄橙	
15-02	Ⅲ	土師器	甕	SK Ⅲ1	(18.30)		(7.70)			にぶい褐　灰黄褐	
15-03	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(13.00)	7.50	2.65			灰白	
15-04	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(11.90)	5.75	3.90			灰	
15-05	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(11.40)	(6.80)	3.85			にぶい黄	
15-06	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(12.20)	(6.80)	3.30			灰黄	
15-07	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(11.50)	(7.50)	3.45			灰黄	
15-08	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(12.90)	7.20	2.20			にぶい黄～灰　灰黄～灰	
15-09	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1			(2.10)	0.70	(9.40)	にぶい黄橙	
15-10	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1			(2.50)	1.25	(8.80)	灰黄	
15-11	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1		9.20	(3.60)			灰白　灰黄	
15-12	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1			(2.35)	0.70	7.30	浅黄	
15-13	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1		(9.50)	(7.55)	0.95	(9.40)	にぶい黄橙　褐灰	
15-14	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(14.60)	(9.30)	4.00			暗灰黄　にぶい黄～暗灰黄	
15-15	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1			(2.00)	1.20	7.90	黄灰	
15-16	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1	(12.90)	(6.40)	1.85			灰黄	
15-17	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1	(15.00)		(2.55)			にぶい橙　浅黄橙	
15-18	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1			(1.75)	0.90	3.65	橙～にぶい黄橙	
15-19	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1	(15.80)		(1.80)			灰白～明黄褐　浅黄～灰	
15-20	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ1	(13.00)	7.80	2.60			灰～灰白　灰黄	
15-21	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1	(17.80)		(2.00)			にぶい赤褐～黄褐　にぶい赤褐～にぶい黄褐	
15-22	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ1	(14.60)		(1.85)			灰白～にぶい黄　暗灰黄～灰黄	
15-23	Ⅲ	須恵器	椀	SK Ⅲ1	(13.00)	(7.40)	6.60	1.00	(7.80)	暗灰，明灰，黄灰　暗灰	

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	高台・つまみ高	高台・つまみ径	色調	グリッド
15-24	Ⅲ	須恵器	椀	SK Ⅲ1	(12.20)		6.80	0.80	(7.20)	明茶灰	
16-01	Ⅲ	須恵器	椀	SK Ⅲ1			(2.80)	0.65	(7.00)	浅黄	
16-02	Ⅲ	須恵器	椀	SK Ⅲ1			(3.25)	0.70	7.75	灰黄	
16-03	Ⅲ	須恵器	椀	SK Ⅲ1	(13.60)	(8.70)	5.00	0.70	(7.70)	灰黄～にぶい黄　灰～にぶい黄	
16-04	Ⅲ	黒色土器Ａ類	椀	SK Ⅲ1	(13.80)	(9.20)	7.00	1.55	(8.80)	黄褐　黒	
16-05	Ⅲ	須恵器	壺	SK Ⅲ1		(10.40)	(6.40)			にぶい赤褐　橙	
16-06	Ⅲ	須恵器	甕	SK Ⅲ1			(3.70)			灰～にぶい赤褐　灰黄～灰白	
16-07	Ⅲ	須恵器	甕	SK Ⅲ1	(21.10)		(15.60)			淡黄	
16-08	Ⅲ	須恵器	甕	SK Ⅲ1			(55.30)			灰，にぶい黄橙	Ｄ-5
17-01	Ⅲ	須恵器	甕	SK Ⅲ1			(19.75)			灰　にぶい黄褐	
17-02	Ⅲ	黒色土器Ａ類	椀	SK Ⅲ3		(9.45)	(4.80)	0.55	(8.00)	褐灰～にぶい橙　黒	
17-03	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ3	(13.20)		4.40	0.70	9.00	オリーブ黒　灰オリーブ	
17-04	Ⅲ	須恵器	坏	SK Ⅲ4	(13.40)	8.20	3.00			にぶい黄褐　灰黄褐	
17-05	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SK Ⅲ4			(1.55)	0.90	2.25	灰	
17-06	Ⅲ	須恵器	坏	SD Ⅲ1		(7.90)	(1.55)	0.55	(7.20)	褐灰　灰	
17-07	Ⅲ	須恵器	坏蓋	SD Ⅲ1			(2.15)			灰，オリーブ黒	
17-08	Ⅲ	須恵器	坏蓋つまみ	SD Ⅲ1			(1.80)	1.15	2.30	にぶい赤褐～赤灰　にぶい褐，灰	
17-09	Ⅲ	須恵器	坏蓋つまみ	SD Ⅲ1			(1.60)			灰白，にぶい黄橙～にぶい赤褐　にぶい黄橙	
17-10	Ⅲ	須恵器	椀	SD Ⅲ1		(7.15)	(1.95)	0.55	(7.20)	灰	
17-11	Ⅲ	須恵器	壺	SD Ⅲ1			(4.00)			灰オリーブ	
17-12	Ⅲ	土師器	坏	SD Ⅲ3		(8.20)	(1.60)			にぶい黄橙	
17-13	Ⅲ	土師器	坏	SD Ⅲ3		(7.60)	(1.80)			にぶい黄橙	
17-14	Ⅲ	須恵器	坏	SD Ⅲ3			(1.95)	0.65	(11.60)	灰	
17-15	Ⅲ	須恵器	坏	SD Ⅲ3		(9.30)	(2.30)	0.50	(8.90)	灰黄	
17-16	Ⅲ	須恵器	鉢	SD Ⅲ3			(5.50)			灰	
17-17	Ⅲ	須恵器	壺	SD Ⅲ3		(12.50)	(5.00)			黄褐～黒褐　灰オリーブ	
17-18	Ⅲ	須恵器	甕	SD Ⅲ3			(4.70)			灰	
18-01	Ⅰ	土師器	坏	SD Ⅰ1		(9.10)	(1.00)			にぶい黄～黄褐　にぶい黄橙～暗灰黄	
18-02	Ⅰ	土師器	椀	SD Ⅰ1			(1.25)	0.45	(6.80)	浅黄～にぶい黄橙　にぶい黄橙	
18-03	Ⅰ	土師器	椀	SD Ⅰ1			(1.75)	0.85		明赤褐　にぶい橙～灰黄褐	
18-04	Ⅰ	土師器	甕	SD Ⅰ1	(27.40)		(4.85)			浅黄橙～にぶい黄橙　にぶい黄橙	
18-05	Ⅰ	須恵器	坏	SD Ⅰ1			(1.65)	0.60		橙　灰黄褐	
18-06	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1			(1.25)			灰～黄灰　灰白～灰	
18-07	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1	(19.80)		(1.60)			灰黄褐　にぶい橙～橙	
18-08	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1	(16.70)		(1.80)			浅黄～灰　にぶい黄～黄灰	
18-09	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1	(28.50)		(2.00)			灰白～灰　灰	
18-10	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1			(0.95)			灰　灰黄～浅黄橙	
18-11	Ⅰ	須恵器	坏蓋	SD Ⅰ1			(1.70)			灰白～暗灰黄　黄灰	
18-12	Ⅰ	須恵器	甕	SD Ⅰ1			(5.75)			にぶい黄橙～黄灰　にぶい黄橙	
18-13	Ⅰ	須恵器	甕	SD Ⅰ1			(4.50)			黄灰～黒褐　灰褐	
18-14	Ⅰ	須恵器	甕	SD Ⅰ1			(4.30)			にぶい赤褐～灰褐　暗灰黄	
18-15	Ⅰ	瓦	平瓦	SD Ⅰ1		(6.35)	1.50			淡灰	
18-16	Ⅰ	瓦	熨斗瓦	SD Ⅰ1		(5.30)	1.75			淡灰　淡灰褐	
18-17	Ⅰ	土師器	甕	SD Ⅰ2	(19.00)		(5.40)			橙　にぶい褐～灰褐	Ｇ-1
18-18	Ⅰ	土師器	甕	SD Ⅰ2	(20.20)		(4.40)			橙　橙～にぶい褐	Ｇ-1
18-19	Ⅰ	須恵器	甕	SD Ⅰ2			(3.80)			灰黄～暗灰黄　にぶい黄褐	Ｇ-1
18-20	Ⅰ	須恵器	壺	SD Ⅰ2			(10.00)			にぶい黄橙，浅黄橙，灰黄褐　黄褐，浅黄橙	Ｇ-1
19-01	Ⅲ	瓦	平瓦	SD Ⅲ3	(11.50)	(5.85)	2.55			にぶい黄灰　淡黄灰	
19-02	Ⅲ	瓦	平瓦	SD Ⅲ3	(12.30)	(8.60)	2.00			淡灰　黄灰	
19-03	Ⅲ	瓦	平瓦	SD Ⅲ3	(8.30)	(7.30)	1.90			灰白	
19-04	Ⅲ	瓦	平瓦	SD Ⅲ3	(7.35)		2.85			淡灰　淡灰褐	
19-05	Ⅲ	瓦	平瓦	SD Ⅲ3	(8.35)	(8.50)	2.20			淡黄灰　黄灰	
19-06	Ⅲ	瓦	軒平瓦	SD Ⅲ3	(5.95)	(7.10)	3.90			灰褐	
19-07	Ⅲ	瓦	軒平瓦	SD Ⅲ3	(5.30)	(7.00)	4.20			灰	
19-08	Ⅲ	瓦	軒丸瓦	SD Ⅲ3	(11.00)					淡灰褐	
19-09	Ⅲ	瓦	鬼面軒丸瓦	SD Ⅲ3	(7.90)		3.40			灰黄	
20-01	Ⅲ	鉄器	釘	SD Ⅲ3	(5.60)	0.85	0.70				
21-01	Ⅲ	龍泉窯系青磁	碗	SD Ⅲ3			(2.60)	0.70	5.95	サロー　枯葉，キャメル，小麦，弁柄，サロー	
21-02	Ⅲ	同安窯系青磁	皿	SD Ⅲ3		(4.45)	(1.25)			シルバーグレイ	
21-03	Ⅲ	越州窯系青磁	壺	SD Ⅲ3			(3.75)	0.60	(9.80)	ハニースイート	
21-04	Ⅲ	白磁	皿	SD Ⅲ3	(9.80)	(4.80)	2.25	0.50	3.55	アイボリーホワイト	
21-05	Ⅲ	須恵質土器	摺鉢	SD Ⅲ3			(4.20)			灰，灰白	

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径･タテ	底径･ヨコ	器高･アツミ	高台･つまみ高	高台･つまみ径	色調	グリッド
21-06	Ⅲ	須恵質土器	摺鉢	SD Ⅲ3			(5.15)			灰	
21-07	Ⅲ	須恵質土器	摺鉢	SD Ⅲ3	(35.60)		(4.95)			灰	
21-08	Ⅲ	瓦質土器	火鉢	SD Ⅲ3			(5.40)			にぶい黄橙	
21-09	Ⅲ	瓦質土器	火鉢	SD Ⅲ3			(7.25)			暗灰　灰	
21-10	Ⅲ	瓦質土器	火鉢	SD Ⅲ3			(6.80)			暗灰　灰	
21-11	Ⅲ	弥生土器		SD Ⅲ3			(5.00)			浅黄橙，黄橙　にぶい黄橙，明黄褐	
21-12	Ⅲ	弥生土器	甕	SD Ⅲ3	(30.20)		(3.60)			にぶい黄橙　浅黄橙，にぶい黄橙	
21-13	Ⅲ	弥生土器	甕	SD Ⅲ3			(3.30)			にぶい黄橙，黄橙	
22-01	Ⅰ	土師器	坏		(12.40)	(7.65)	3.25			橙，にぶい褐　にぶい橙，にぶい褐	G-1
22-02	Ⅰ	土師器	坏			10.70	(1.75)	0.55	9.10	灰黄褐，灰黄　暗灰黄，にぶい黄褐	G-2
22-03	Ⅰ	土師器	坏		13.60	9.00	4.00			にぶい黄橙　橙	F-2
22-04	Ⅰ	土師器	坏		(14.60)	8.50	3.50			浅黄橙	
22-05	Ⅰ	須恵器	脚付碗		(16.30)		8.80	(9.20)	1.50	浅黄橙　にぶい黄橙	F-1 F-2 G-2
22-06	Ⅰ	土師器	坏蓋つまみ				(1.10)		3.50	にぶい黄橙～にぶい橙	G-2
22-07	Ⅰ	土師器	椀				(2.30)			にぶい橙	F-1
22-08	Ⅰ	土師器	坏			6.10	(1.20)			にぶい橙～灰褐	F-2
22-09	Ⅰ	土師器	盤		(16.70)	(18.05)	(2.25)	0.70	(16.70)	浅黄橙	G-2
22-10	Ⅰ	土師器	甕		(18.20)		(9.55)			黒褐，橙　褐	F-2 G-2
22-11	Ⅰ	土師器	甕		(18.10)		(6.00)			橙，にぶい黄橙　橙	G-2
22-12	Ⅰ	土師器	甕		(17.00)		(6.20)			にぶい赤褐，にぶい褐　にぶい橙，にぶい黄褐	F-2
22-13	Ⅰ	土師器	甕		(22.80)		(6.30)			橙	F-2
22-14	Ⅰ	土師器	甕				(7.05)			にぶい黄橙　浅黄橙	G-2
22-15	Ⅰ	土師器	甕		(30.00)		(7.20)			にぶい橙　浅黄橙	
22-16	Ⅰ	土師器	甕		(24.60)		(9.30)			にぶい橙～橙，にぶい赤褐，明赤褐　明赤褐～にぶい褐	G-2
23-01	Ⅰ	土師器	甕		(21.60)		(8.35)			にぶい褐～灰褐，灰赤　にぶい褐～にぶい赤褐	G-2
23-02	Ⅰ	土師器	甑把手							浅黄橙　灰白	G-2
23-03	Ⅰ	須恵器	坏		(12.40)	(8.10)	3.15			灰白，淡黄	F-2
23-04	Ⅰ	須恵器	坏		(17.00)	(9.00)	5.40			橙	G-1
23-05	Ⅰ	須恵器	坏		(13.10)	(8.60)	4.90			灰黄～黄灰	G-2
23-06	Ⅰ	須恵器	坏		(14.40)		(3.05)			褐灰　灰	F-1 G-1
23-07	Ⅰ	須恵器	坏		(12.60)	(10.60)	4.35	1.05	(9.30)	黄灰　黄褐	F-2
23-08	Ⅰ	須恵器	坏		(13.90)		4.45	0.85	9.55	灰　灰黄	C-2
23-09	Ⅰ	須恵器	坏		(12.10)		5.00	0.75	(8.10)	灰，灰褐　灰	G-1
23-10	Ⅰ	須恵器	坏		(13.60)		4.55	0.45	(9.90)	灰，灰褐　にぶい橙	F-1 G-2
23-11	Ⅰ	須恵器	坏		(15.00)		5.45	0.50	8.90	灰白　灰黄，灰白	F-2
23-12	Ⅰ	須恵器	坏		12.20		4.15	0.50	8.85	暗赤褐，にぶい黄橙　灰黄褐，にぶい黄橙	G-1
23-13	Ⅰ	須恵器	坏		(13.90)	(11.50)	4.15	0.55	(9.70)	赤灰，にぶい赤褐　にぶい褐	G-1 G-2
23-14	Ⅰ	須恵器	坏		(15.50)	(12.70)	5.30	0.60	(11.70)	にぶい橙	G-1 F-2
23-15	Ⅰ	須恵器	坏			(8.70)	(2.15)	0.35	(7.40)	にぶい橙～にぶい黄橙	F-2
23-16	Ⅰ	須恵器	坏			(11.70)	(3.25)	0.90	9.60	灰～暗赤灰	F-2
23-17	Ⅰ	須恵器	坏			(13.00)	(3.60)	0.65	(11.40)	赤褐，暗赤灰	F-2
23-18	Ⅰ	須恵器	坏			(8.40)	(2.55)	0.55	(7.60)	灰	F-2
23-19	Ⅰ	須恵器	坏			(11.00)	(3.30)	1.10	(9.80)	灰黄	F-2
23-20	Ⅰ	須恵器	坏			13.90	(3.25)	0.80	12.80	浅黄橙	F-2
23-21	Ⅰ	須恵器	坏				(1.20)	0.55		灰褐　にぶい褐	G-2
23-22	Ⅰ	須恵器	坏				(3.50)			褐灰～暗赤灰　灰	F-2
24-01	Ⅰ	須恵器	坏		12.10	(7.90)	3.90			褐灰，暗赤褐　褐灰，にぶい黄褐	F-2
24-02	Ⅰ	須恵器	坏		(13.80)	10.10	4.05			灰白，灰　灰白	F-2
24-03	Ⅰ	須恵器	坏		12.60	9.70	3.45			灰褐	G-2
24-04	Ⅰ	須恵器	坏		(12.80)	9.70	4.35	1.05	(8.80)	にぶい黄褐，灰　暗灰黄	F-2
24-05	Ⅰ	須恵器	坏			(13.30)	(5.15)	0.65	(10.80)	黄灰，灰，黒褐～灰黄褐　にぶい赤褐～黒褐	
24-06	Ⅰ	須恵器	坏		(12.60)	(8.80)	3.80			橙～にぶい褐　にぶい橙，橙	G-2
24-07	Ⅰ	須恵器	坏				(2.50)	0.90	(11.60)	暗褐灰　淡灰	F-2
24-08	Ⅰ	須恵器	坏				(2.50)	0.55	(8.80)	暗灰　淡灰	F-2
24-09	Ⅰ	須恵器	坏			(12.40)	(3.20)	0.65	(10.20)	灰褐	F-2
24-10	Ⅰ	須恵器	坏				(1.90)	0.70	(8.60)	灰，黄褐　黄褐	F-2
24-11	Ⅰ	須恵器	坏			11.60	(1.80)	0.80	(10.50)	暗紫褐　淡紫褐	G-2
24-12	Ⅰ	須恵器	高坏		(15.20)	(10.40)	9.35			にぶい赤褐，にぶい橙　橙，灰黄褐	F-2
24-13	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(20.80)		(2.80)			浅黄橙，黄灰　浅黄橙	G-1
24-14	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(19.90)		(3.05)			暗灰黄　灰黄褐	F-2
24-15	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(20.00)		(2.20)			にぶい黄褐，黒褐，灰白　灰白，にぶい黄褐	F-2
24-16	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(18.40)		(2.70)			にぶい黄褐，黄灰　黄灰	F-2

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	高台・つまみ高	高台・つまみ径	色調	グリッド
24-17	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(19.30)		(2.85)			褐灰，灰白　灰黄	G-2
24-18	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(12.80)		(2.95)			にぶい黄橙，褐灰　にぶい黄橙	G-2
24-19	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.00)		(1.65)			灰白，灰　灰白	G-1
24-20	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.20)		(2.05)			灰	F-2
24-21	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(15.20)		(2.65)			灰白，灰黄　灰白	F-2
24-22	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.10)		2.50	0.50	(5.25)	黄灰　にぶい黄橙	F-2 G-2
24-23	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(15.50)		(2.60)			灰，浅黄　淡黄，浅黄	G-1
24-24	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.80)		(1.50)			灰	F-1
24-25	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(16.90)		(3.90)			黄灰，にぶい黄褐	F-2
24-26	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.40)		2.75	0.45	5.50	灰　灰オリーブ	F-2 G-2
25-01	Ⅰ	須恵器	坏蓋				(2.25)	1.50	2.70	浅黄	F-2
25-02	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(14.60)		(2.10)			灰　にぶい黄橙	
25-03	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(15.20)		(1.60)			灰黄　褐	G-2
25-04	Ⅰ	須恵器	坏蓋				(2.10)	0.65	3.15	黄灰褐　淡橙	F-2
25-05	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(13.90)		(1.40)			暗灰　淡灰褐	G-2
25-06	Ⅰ	須恵器	坏蓋		(18.00)		(1.50)			淡黄褐　淡灰	F-2
25-07	Ⅰ	須恵器	盤		(18.60)		2.90	1.00	(14.00)	灰白，灰黄	F-2
25-08	Ⅰ	須恵器	盤		(18.20)	(14.90)	2.80	(0.55)	(13.20)	にぶい褐～にぶい赤褐　灰黄褐，にぶい橙～にぶい赤褐	F-2
25-09	Ⅰ	須恵器	盤		(18.20)	(14.70)	3.05	(0.55)	(13.20)	にぶい赤褐～褐灰　にぶい黄橙～褐灰	F-2
25-10	Ⅰ	須恵器	盤		(17.10)	(15.10)	3.25	0.75	(13.00)	灰白　灰黄	G-1
25-11	Ⅰ	須恵器	盤				(1.60)	0.75	12.35	明褐灰～にぶい橙	
25-12	Ⅰ	須恵器	椀		11.90		6.05	0.75	6.80	灰	G-1 F-2
25-13	Ⅰ	須恵器	椀				(2.50)	0.65	6.95	灰黄	F-2
25-14	Ⅰ	須恵器	鉢		(15.40)	(8.10)	7.60			灰　暗灰黄	G-1 F-2 G-2
25-15	Ⅰ	須恵器	鉢				(7.60)			にぶい橙，灰	F-2
25-16	Ⅰ	須恵器	鉢		(18.50)		(5.55)			暗灰，灰オリーブ　灰黄，灰オリーブ	E-2
25-17	Ⅰ	須恵器	鉢		(14.20)		(13.20)			灰赤　赤褐	G-2
25-18	Ⅰ	須恵器	鉢		(14.70)	(10.10)	6.00			灰　灰黄	G-1
25-19	Ⅰ	須恵器	鉢		(16.60)	(11.00)	6.30			浅黄	F-2
25-20	Ⅰ	須恵器	鉢				(6.40)			灰白～黒褐　浅黄	F-1
25-21	Ⅰ	須恵器	甕		(13.20)		(6.90)			淡黄，灰白	G-1
25-22	Ⅰ	須恵器	甕		(23.80)		(7.45)			灰　灰白，褐灰	G-1
26-01	Ⅰ	須恵器	壺				(5.70)			灰白　にぶい橙	F-2
26-02	Ⅰ	須恵器	壺		(19.30)		(11.10)			灰，灰白　灰黄，灰	F-2
26-03	Ⅰ	須恵器	壺				(3.40)			にぶい橙	G-1
26-04	Ⅰ	須恵器	壺				(5.00)			灰褐，灰　にぶい黄橙	G-1
26-05	Ⅰ	須恵器	壺				(5.20)			褐灰　暗灰黄，灰褐～黒褐	F-2
26-06	Ⅰ	須恵器	壺		(16.90)		(3.60)			にぶい橙，灰褐　にぶい橙	F-2
26-07	Ⅰ	須恵器	甕				(6.15)			灰黄，黄灰　灰黄	F-2
26-08	Ⅰ	須恵器	壺	ピット		(7.50)	(1.45)			灰，灰白　灰黄	F-2
26-09	Ⅰ	須恵器	壺	ピット		(8.10)	(1.70)			灰黄褐　黄灰	F-2
26-10	Ⅰ	須恵器	壺				(6.30)			にぶい黄橙，灰白　浅黄橙	
26-11	Ⅰ	須恵器	壺				(7.60)	0.90	(15.10)	灰白，黄灰　浅黄，灰白	G-2
26-12	Ⅰ	須恵器	壺			(10.20)	(3.90)			にぶい褐，黄灰　にぶい橙	G-2
26-13	Ⅰ	須恵器	壺		(13.20)		(4.85)			にぶい黄橙	G-2
26-14	Ⅰ	須恵器	壺			(5.40)	(4.50)			暗灰黄～黄灰	F-2
26-15	Ⅰ	須恵器	壺				(3.85)			褐灰　灰白，灰	G-1　G-2
26-16	Ⅰ	須恵器	甕				(16.40)			にぶい黄褐，にぶい黄橙　にぶい黄橙	G-1
27-01	Ⅰ	須恵器	甕				(21.30)			灰　にぶい赤褐，暗赤褐	G-1
27-02	Ⅰ	須恵器	甕				(5.80)			灰褐　灰	F-2
27-03	Ⅰ	須恵器	甕		(21.90)		(5.95)			灰白	F-2
27-04	Ⅰ	須恵器	甕				(8.00)			灰褐　灰赤	F-2
27-05	Ⅰ	須恵器	甕		(20.60)		(6.55)			灰　暗灰黄，灰	F-2
27-06	Ⅰ	須恵器	甕				(6.85)			灰黄褐，灰　黄灰	F-2
27-07	Ⅰ	須恵器	壺			(10.00)	(5.00)			浅黄橙	F-2
27-08	Ⅰ	須恵器	甕				(21.20)			にぶい黄橙，明赤褐　灰白，灰	G-2
28-01	Ⅰ	鉄器	鉄鏃の茎		(5.65)	(1.20)	0.45				G-2
28-02	Ⅰ	鉄器	鎌		3.80	(18.50)	0.60				
29-01	Ⅰ	石器	紡錘車		5.15	2.75	1.45				F-2
29-02	Ⅰ	石器	磨製石斧		(8.40)	6.40	1.60				F-2
30-01	Ⅰ	瓦	平瓦		(7.50)	(8.10)	1.80			黒灰　淡黒灰	
30-02	Ⅰ	瓦	丸瓦			(8.45)	2.45			淡黄灰	

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	高台・つまみ高	高台・つまみ径	色調	グリッド
30-03	Ⅰ	瓦	平瓦			(13.55)	2.40			淡灰　黄灰	F-2
30-04	Ⅰ	瓦	平瓦		(6.75)	(7.40)	2.00			淡黄褐	F-2
30-05	Ⅰ	瓦	平瓦		(9.45)	(8.40)	2.50			淡灰	G-2
30-06	Ⅰ	瓦	平瓦			(10.30)	2.10			黄白	F-2
30-07	Ⅰ	瓦	平瓦			(8.25)	3.05			淡褐　淡灰	G-2
31-01	Ⅰ	瓦	平瓦			(12.85)	2.40			灰褐　淡灰	G-2
31-02	Ⅰ	瓦	平瓦		(5.40)	(11.10)	2.65			灰白	G-2
31-03	Ⅰ	瓦	平瓦			(8.80)	2.65			淡灰　灰褐	G-2
31-04	Ⅰ	瓦	平瓦		(13.30)	(8.95)	2.70			浅灰　灰	G-2
31-05	Ⅰ	瓦	丸瓦			(11.65)	1.85			淡灰褐	F-2
31-06	Ⅰ	瓦	丸瓦		(5.60)	(5.40)	1.70			淡灰褐	F-2
32-01	Ⅰ	瓦	丸瓦			(10.85)	1.90			淡黄灰	F-2
32-02	Ⅰ	瓦	丸瓦			(6.40)	1.70			淡灰黄　灰白	F-2
32-03	Ⅰ	瓦	丸瓦			(8.55)	2.00			淡灰褐	F-2
32-04	Ⅰ	瓦	丸瓦		(6.90)	(7.05)	1.90			灰白　淡黄褐	F-2
32-05	Ⅰ	瓦	丸瓦		(8.10)	(10.20)	2.80			淡灰褐	F-2
32-06	Ⅰ	瓦	丸瓦			(9.40)	2.65			橙褐　淡褐	F-2
32-07	Ⅰ	瓦	平瓦		(13.85)	(7.35)	2.00			淡灰褐	F-2
33-01	Ⅰ	青磁	碗				(1.30)			オイスター	G-1
33-02	Ⅰ	青磁	碗				(2.20)			オイスター	G-1
33-03	Ⅰ	縄文	鉢		(15.90)	4.15	9.85			にぶい黄橙，褐灰　にぶい黄橙，褐灰	G-2
33-04	Ⅰ	縄文	深鉢			(7.80)	(3.20)			橙，にぶい黄橙　灰黄，褐灰	F-2
33-05	Ⅰ	縄文	深鉢			(6.00)	(2.90)			橙，にぶい橙　にぶい黄橙	F-2
33-06	Ⅰ	縄文	深鉢			(9.00)	(2.30)			にぶい黄橙	F-2
33-07	Ⅰ	縄文	甕				(1.95)			橙，にぶい橙　黄灰	F-1 G-1
34-01	Ⅰ	石器	石鏃		3.65	1.60	0.40				F-1
34-02	Ⅰ	石器	石鏃		(1.45)	2.05	0.35				F-1
35-01	Ⅰ	石器	十字型石器		10.00	9.80	1.50				F-2
36-01	Ⅱ	土師器	台付皿				(12.35)	6.60	(34.60)	橙　橙，にぶい褐	B-2
36-02	Ⅱ	土師器	甕				(9.50)			浅黄橙～にぶい黄褐	C-2
36-03	Ⅱ	土師器	甑		(29.20)		(9.70)			橙～明黄褐	C-2
36-04	Ⅱ	須恵器	坏		(13.50)	7.40	(2.55)			灰白	C-3
36-05	Ⅱ	須恵器	坏			(6.90)	(3.30)			にぶい黄～灰白	C-2
36-06	Ⅱ	須恵器	坏		(12.60)	(7.50)	3.10			青灰	C-2
36-07	Ⅱ	須恵器	坏		(12.60)	(7.00)	3.50			灰	C-2
36-08	Ⅱ	須恵器	坏				(1.70)	0.75	(8.40)	灰白	C-3
36-09	Ⅱ	須恵器	坏蓋				(2.40)	1.20	3.10	青灰～明オリーブ灰	C-3
36-10	Ⅱ	須恵器	坏		12.70	6.20	2.30			灰	C-2
36-11	Ⅱ	土師器	坏			(6.70)	(1.90)			橙	C-2
36-12	Ⅱ	須恵器	壺			(16.60)	(18.80)			灰白，灰　黄灰，灰	B-2
37-01	Ⅱ	須恵器	壺	ニナピット			(8.45)			灰　暗灰	B-5
37-02	Ⅱ	須恵器	壺		(12.40)		(3.05)			暗赤灰　にぶい赤褐	
37-03	Ⅱ	須恵器	甕				(4.00)			灰	C-3
37-04	Ⅱ	陶器	擂鉢				(3.70)	1.40	(15.30)	テラコッタ	C-2
38-01	Ⅱ	石器	使用痕剥片		(3.85)	3.85	0.80			黒	A-7
39-01	Ⅲ	土師器	坏		(12.50)	(9.90)	3.90	1.50	(8.80)	浅黄橙，橙　浅黄橙	C-3
39-02	Ⅲ	土師器	坏	ピット	(13.70)	(9.10)	3.70			にぶい橙，にぶい黄橙	C-1
39-03	Ⅲ	土師器	坏		(13.00)	7.60	3.90			にぶい黄褐　黄褐	A-4
39-04	Ⅲ	土師器	坏		(11.70)	6.95	3.70			にぶい橙～黄灰	B-2
39-05	Ⅲ	土師器	坏				(2.10)	0.45	7.20	淡黄，灰	D-4
39-06	Ⅲ	土師器	坏			7.20	(3.30)			にぶい黄橙～灰黄褐　浅黄橙	E-3
39-07	Ⅲ	須恵器	坏		(12.20)	(7.00)	3.30			灰黄	D-5
39-08	Ⅲ	土師器	坏		(14.00)	(9.00)	3.40			橙	D-5
39-09	Ⅲ	土師器	坏		(13.40)	(7.20)	2.45			灰オリーブ	
39-10	Ⅲ	土師器	坏蓋		(22.60)		(3.00)			橙	D-4
39-11	Ⅲ	土師器	坏蓋		19.50		3.45	0.80	(3.65)	浅黄橙	
39-12	Ⅲ	土師器	椀			(8.60)	(3.10)	1.60	6.85	浅黄橙　にぶい黄褐	D-4
39-13	Ⅲ	土師器	椀				(1.85)	0.90	6.60	にぶい橙　黄灰，にぶい黄褐	C-2
39-14	Ⅲ	土師器	椀				(2.20)	1.50	(8.00)	にぶい黄橙	E-3
39-15	Ⅲ	土師器	椀		13.60		6.25	0.55	8.10	にぶい橙，にぶい黄橙	D-6
39-16	Ⅲ	土師器	椀			(7.60)	(4.00)	0.50	7.20	明黄褐	D-5
39-17	Ⅲ	土師器	椀			(9.00)	(4.70)			にぶい褐	B-3

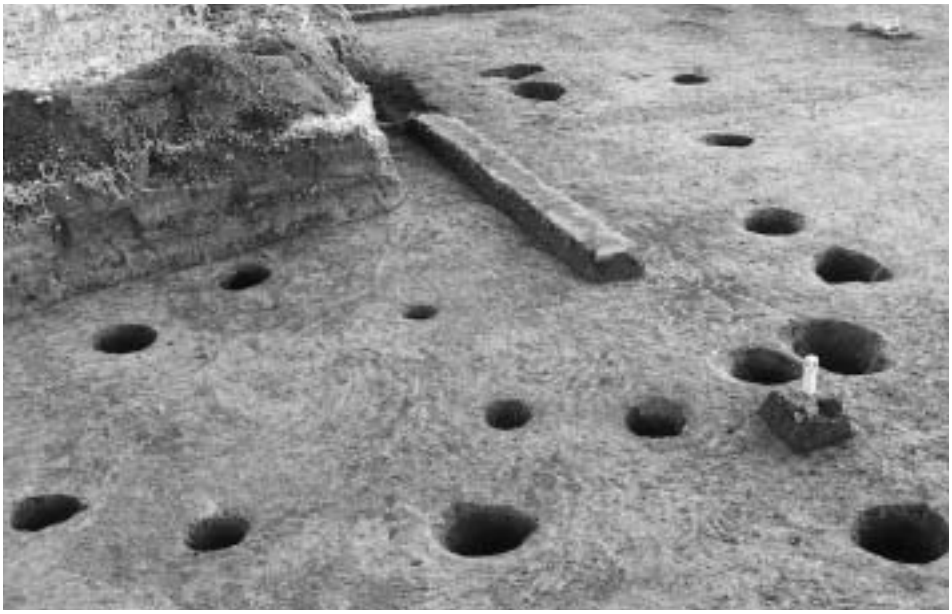
図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径･タテ	底径･ヨコ	器高･アツミ	高台･つまみ高	高台･つまみ径	色調	グリッド
39-18	Ⅲ	黒色土器Ａ類	椀			(9.30)	(2.60)			浅黄橙　黒褐	Ｃ-4
39-19	Ⅲ	土師器	甕		17.20	2.20	14.80			浅黄橙	
39-20	Ⅲ	土師器	甕	ピット	(26.00)		(10.50)			にぶい橙	Ｄ-5
40-01	Ⅲ	土師器	甕		(26.60)		(11.35)			にぶい黄橙～橙	Ｄ-2
40-02	Ⅲ	土師器	甕			(9.20)	(2.50)			淡黄橙，黄橙　黄橙，明黄褐	Ｃ-3
40-03	Ⅲ	土師器	甕			(11.20)	(3.40)			にぶい黄橙	Ｂ-4
40-04	Ⅲ	土師器	甕			(7.10)	(2.70)			にぶい黄橙～浅黄橙	Ｂ-5
40-05	Ⅲ	土師器	甑把手							灰白～橙	Ｄ-3
40-06	Ⅲ	土師器	甑把手							にぶい黄橙，橙　浅黄橙，にぶい黄橙	
40-07	Ⅲ	土師器	甑把手							にぶい黄橙，にぶい橙　にぶい黄橙	Ｄ-4
40-08	Ⅲ	土師器	甑把手							明赤褐	Ｃ-2
40-09	Ⅲ	須恵器	坏			(3.80)	(1.70)			灰	Ｂ-2
40-10	Ⅲ	須恵器	坏			8.80	(3.25)			灰白～オリーブ黒	Ｃ-5
40-11	Ⅲ	須恵器	坏		(11.80)	(7.40)	4.95			灰，にぶい黄　暗灰黄	Ｂ-5
40-12	Ⅲ	須恵器	坏		(11.40)	(8.60)	4.00	0.30	(7.80)	暗茶褐，灰　暗茶褐	Ｄ-5
40-13	Ⅲ	須恵器	坏		(13.20)	(10.60)	4.50	0.70	9.50	灰白　灰白，青灰	Ｂ-4
40-14	Ⅲ	須恵器	坏		(14.60)	(10.40)	4.80	0.80	(9.80)	灰褐　茶褐	Ｃ-4 Ｃ-6
40-15	Ⅲ	須恵器	坏	ピット	12.80	(8.60)	4.80	0.40	(8.20)	にぶい橙	Ｃ-3
40-16	Ⅲ	須恵器	坏		(19.00)	(12.60)	7.05	0.75	(12.60)	灰～灰黄	Ｃ-5
40-17	Ⅲ	須恵器	坏		(11.00)		(4.70)			にぶい橙　にぶい橙，赤橙	Ｂ-4
40-18	Ⅲ	須恵器	坏				(2.90)	1.20	(12.60)	灰，にぶい赤褐　赤褐	Ｃ-3
40-19	Ⅲ	須恵器	坏				(1.60)	0.85	(12.40)	灰黄～にぶい赤褐	Ｃ-4
41-01	Ⅲ	須恵器	坏				(1.70)	0.65	(11.40)	灰，オリーブ灰	Ｄ-5
41-02	Ⅲ	須恵器	坏			(10.20)	(5.20)	0.80	(9.40)	黄灰	Ｃ-4 Ｄ-4
41-03	Ⅲ	須恵器	坏			(8.80)	(4.30)	0.75	(7.60)	にぶい赤褐　にぶい褐	Ｄ-4
41-04	Ⅲ	須恵器	坏			(10.00)	(3.10)			にぶい赤褐	Ｃ-5
41-05	Ⅲ	須恵器	坏		(16.30)		4.80	0.50	(12.40)	黄灰，灰白　灰白	Ａ-4
41-06	Ⅲ	須恵器	坏		(12.60)	(7.70)	3.80			黄灰	Ｄ-5
41-07	Ⅲ	須恵器	坏		(11.60)	(6.90)	5.00			にぶい褐　にぶい褐，にぶい黄褐	Ｂ-4
41-08	Ⅲ	須恵器	坏		(12.00)	(6.50)	3.50			灰白	Ｄ-5
41-09	Ⅲ	須恵器	坏			(7.40)	(4.10)			にぶい橙　にぶい赤褐	
41-10	Ⅲ	須恵器	坏		(12.60)	(7.90)	2.70			褐灰	Ｄ-2
41-11	Ⅲ	須恵器	坏		(12.20)	(6.50)	4.70			灰黄　橙	Ｂ-3
41-12	Ⅲ	須恵器	坏		(13.30)	(8.40)	3.70			灰白　黄灰	Ｃ-2
41-13	Ⅲ	須恵器	坏		(12.60)	(6.20)	3.30			灰	Ｂ-3
41-14	Ⅲ	須恵器	高坏			(13.00)	(6.50)			にぶい黄，灰白　灰白，にぶい褐，にぶい黄褐	Ｄ-4
41-15	Ⅲ	須恵器	皿		12.20		2.10			灰白	Ｃ-5
41-16	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(15.80)		(2.80)			にぶい赤褐，橙，灰白，褐灰　にぶい褐，明赤褐，褐灰	Ｄ-4
41-17	Ⅲ	須恵器	盤		(16.90)	(12.40)	3.90	0.80	(10.90)	暗灰黄，にぶい褐	Ｂ-3
41-18	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(14.40)		2.60	0.85	3.35	灰黄　灰白	Ｄ-5
41-19	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(16.00)		4.00	1.10	(3.90)	暗灰　明灰	Ｄ-5
41-20	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(14.70)		3.10	1.15	(2.10)	褐	Ｄ-5
41-21	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(16.70)		3.30	0.85	(4.20)	灰黄褐，赤褐　にぶい橙，赤褐，黒褐	Ｄ-5
41-22	Ⅲ	須恵器	坏蓋				(3.15)	1.15	(3.30)	にぶい赤褐　にぶい黄橙	Ｃ-3
41-23	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(18.40)		(2.90)			青灰　青灰，にぶい褐	Ｃ-3
42-01	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(13.00)		2.20	0.50	1.55	灰黄～暗灰黄	Ｅ-3
42-02	Ⅲ	須恵器	坏蓋		16.80		4.60	1.05	(2.20)	灰黄，灰白～オリーブ黒，暗オリーブ	
42-03	Ⅲ	須恵器	坏蓋				(1.70)	0.80	3.95	にぶい黄褐	
42-04	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(13.80)		2.80	1.00	2.50	灰黄　にぶい黄	
42-05	Ⅲ	須恵器	坏蓋				(2.20)	0.80	4.10	にぶい橙	Ｄ-3
42-06	Ⅲ	須恵器	坏蓋				(2.40)	1.00	(4.20)	にぶい褐	Ｂ-4
42-07	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(15.90)		2.20	0.75	4.90	黄褐　にぶい褐	Ｂ-4
42-08	Ⅲ	須恵器	坏蓋		(11.80)		1.90	0.70	1.50	褐灰　橙	Ｄ-5
42-09	Ⅲ	須恵器	椀				(6.00)	0.45	9.00	灰白，黄灰	Ｂ-5
42-10	Ⅲ	須恵器	椀	ピット	(13.30)		6.00	0.60	(7.90)	灰白	Ｃ-6
42-11	Ⅲ	須恵器	皿		12.20	7.00	2.30			灰	Ｃ-5
42-12	Ⅲ	須恵器	盤		(16.50)	(13.90)	2.85	0.40	(12.40)	灰白	Ｄ-5
42-13	Ⅲ	須恵器	鉢		(15.40)		7.65			灰褐	Ｂ-4
42-14	Ⅲ	須恵器	盤		(18.60)	14.60	(2.10)			暗緑灰　灰	Ｄ-5
42-15	Ⅲ	須恵器	鉢		(41.20)	(13.35)				灰	Ｂ-3
42-16	Ⅲ	須恵器	壺			11.40	(13.20)			浅黄橙，橙　赤橙	Ｂ-3
42-17	Ⅲ	須恵器	鉢		(18.60)		(11.85)			灰，黒褐，黄灰　にぶい黄	Ｄ-3 Ｄ-4

図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径･タテ	底径･ヨコ	器高･アツミ	高台･つまみ高	高台･つまみ径	色調	グリッド
43-01	Ⅲ	須恵器	甕		(39.30)		(6.50)			にぶい赤褐，褐灰　褐灰，灰黄褐	D-3
43-02	Ⅲ	須恵器	甕				(3.60)			黄灰，にぶい黄橙	C-3 D-4
43-03	Ⅲ	須恵器	甕	ピット			(2.30)			にぶい赤褐，オリーブ灰	D-5
43-04	Ⅲ	須恵器	甕		(33.60)		(2.70)			褐灰　にぶい褐	B-3
43-05	Ⅲ	須恵器	甕		(13.70)		(4.30)			灰黄	C-2
43-06	Ⅲ	須恵器	甕		(35.80)		(4.10)			黒褐　にぶい黄褐	D-3
43-07	Ⅲ	須恵器	甕				(2.45)			灰黄褐	D-3
43-08	Ⅲ	須恵器	甕				(5.90)			黒褐　にぶい黄	
43-09	Ⅲ	須恵器	甕				(2.60)			黒褐　にぶい黄橙	B-2
43-10	Ⅲ	須恵器	甕				(5.60)			にぶい赤褐　にぶい黄褐	C-4
43-11	Ⅲ	須恵器	甕		(20.00)		(5.80)			にぶい赤褐	C-3
43-12	Ⅲ	須恵器	壺			(9.60)	(3.35)			灰　橙	B-3
43-13	Ⅲ	須恵器	壺			(8.60)	(4.40)			暗灰黄～灰黄褐	B-3
43-14	Ⅲ	須恵器	盤							灰	
43-15	Ⅲ	須恵器	壺			(10.50)	(5.95)	0.90	(10.20)	暗赤褐　灰	
43-16	Ⅲ	須恵器	壺			(14.40)	(8.90)	0.65	(13.40)	灰白	A-4
43-17	Ⅲ	須恵器	甕				(4.60)			橙	C-5
43-18	Ⅲ	須恵器	甕				(3.10)			灰黄　黄灰	D-3
43-19	Ⅲ	須恵器	甕				(2.85)			にぶい赤褐　にぶい橙	C-2
43-20	Ⅲ	須恵器	甕				(4.70)			灰褐	D-3
44-01	Ⅲ	須恵器	甕				(8.90)			にぶい赤褐　にぶい黄褐	B-3
44-02	Ⅲ	須恵器	甕				(7.25)			灰黄褐　橙	D-2
44-03	Ⅲ	須恵器	甕				(5.70)			暗灰黄　黄灰	C-3
44-04	Ⅲ	須恵器	甕				(3.80)			灰黄褐　にぶい赤褐	C-3
44-05	Ⅲ	須恵器	甕				(7.30)			灰白　黄灰	D-4
44-06	Ⅲ	須恵器	甕				(4.30)			灰黄褐　橙	D-3
44-07	Ⅲ	須恵器	横瓶				(11.75)			にぶい黄橙，にぶい橙　にぶい橙	C-2 D-？
44-08	Ⅲ	須恵器	鉢		(77.00)		(11.45)			灰	B-2
45-01	Ⅲ	須恵器	紡錘車		(3.30)	(6.20)	0.90			灰白	D-3
45-02	Ⅲ	須恵器	線刻文字付転用硯				(2.00)	0.60	13.90	灰白，灰　灰白	D-5
45-03	Ⅲ	須恵器	風字硯		12.75	(12.40)	(2.05)			黒褐	C-5 D-4 E-5
46-01	Ⅲ	鉄器	鉄鏃		(6.20)	3.55	0.40				B-5
46-02	Ⅲ	鉄器	鉄鏃		(6.50)	3.80	0.35				C-5
46-03	Ⅲ	鉄器	茎		(2.75)	0.50	0.40				D-3
46-04	Ⅲ	鉄器	茎		(3.50)	0.80	0.45				C-2
46-05	Ⅲ	鉄器	鎌		(4.95)	2.30	0.50				B-3
46-06	Ⅲ	鉄器	鎌		(7.20)	2.60	0.30				C-4
46-07	Ⅲ	鉄器	釘		3.45	0.60	0.65				
46-08	Ⅲ	鉄器				0.75	0.75				D-3
46-09	Ⅲ	鉄器	鉈		(10.85)	1.40	0.70				
46-10	Ⅲ	鉄器	鉈		(6.00)	0.75	0.30				D-5
46-11	Ⅲ	鉄器	鉈		(4.50)	1.00	0.30				E-4
47-01	Ⅲ	瓦	平瓦		(12.70)	(30.80)	2.95			淡灰	B-3
47-02	Ⅲ	瓦	軒平瓦		(12.90)	(15.95)	5.20			灰白	
47-03	Ⅲ	瓦	軒平瓦		(10.75)		4.05			淡灰	
48-01	Ⅲ	瓦	軒平瓦		(21.70)		4.35			暗灰	
48-02	Ⅲ	瓦	丸瓦		(11.40)	(9.90)	2.00			黄白	B-4
48-03	Ⅲ	瓦	軒平瓦		(10.05)		5.15			灰白	
48-04	Ⅲ	瓦	鬼面軒丸瓦	ピット						淡灰白　黄白	D-5
49-01	Ⅲ	龍泉窯系青磁	碗			(7.70)	(2.25)			オイスター	
49-02	Ⅲ	龍泉窯系青磁	碗				(1.90)			オイスター	B-3
49-03	Ⅲ	龍泉窯系青磁	碗				(3.20)			サロー	C-2
49-04	Ⅲ	青磁	碗				(3.70)			オイスター	D-3
49-05	Ⅲ	越州窯系青磁	碗			(9.10)	(4.05)	0.35	(8.60)	キャメル，ハニースウィート，オイスター	C-4
49-06	Ⅲ	同安窯系青磁	皿			(5.50)	(1.45)			サロー，シルバーグレイ	C-2
49-07	Ⅲ	瓦器	椀	ピット			(4.20)			灰白～浅黄	C-2
49-08	Ⅲ	瓦器	椀	ピット	(16.00)		(7.05)	0.25	(6.10)	灰白，暗灰	C-2
49-09	Ⅲ	瓦質土器	火鉢				(7.80)			褐灰　にぶい黄橙	C-3
49-10	Ⅲ	土師器	埴輪				(5.15)			にぶい黄橙～橙	C-4
49-11	Ⅲ	縄文土器	深鉢				(4.95)			にぶい黄～黄灰	D-3
49-12	Ⅲ	縄文土器	深鉢				(4.00)			橙，にぶい黄橙	B-5
49-13	Ⅲ	縄文土器	深鉢				(1.95)			にぶい黄橙～灰黄褐	B-8

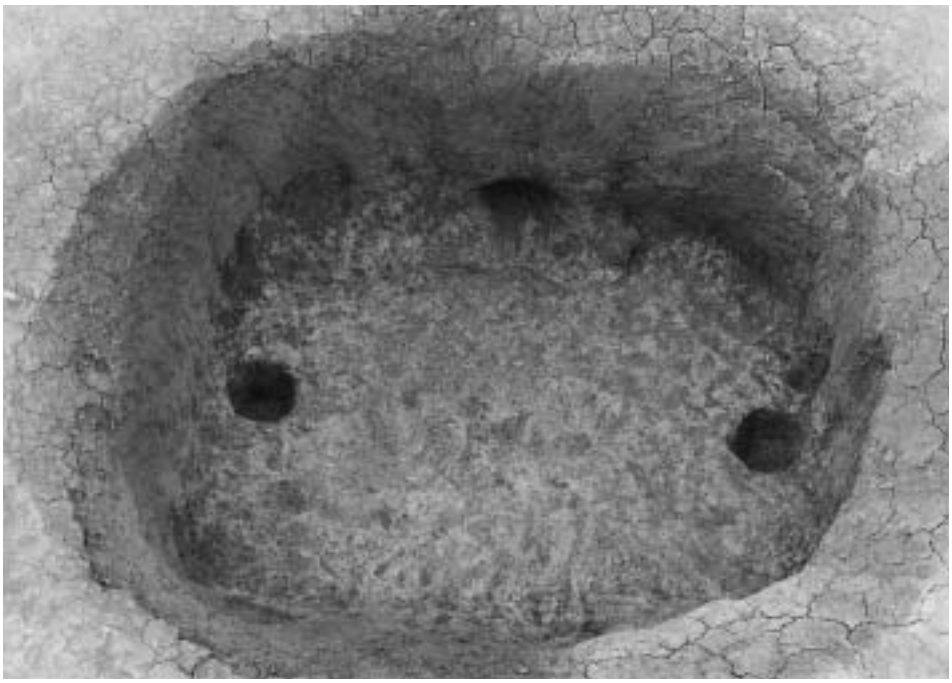
図版番号	区	種別	器種	遺構名	口径･タテ	底径･ヨコ	器高･アツミ	高台･つまみ高	高台･つまみ径	色調	グリッド
50-01	Ⅲ	石器	石鍋の転用品		15.60	9.05	2.20				
51-01	Ⅲ	石器	石鏃		1.50	1.00	0.40				C-3
51-02	Ⅲ	石器	石匙		4.85	5.75	0.95				

写 真 図 版

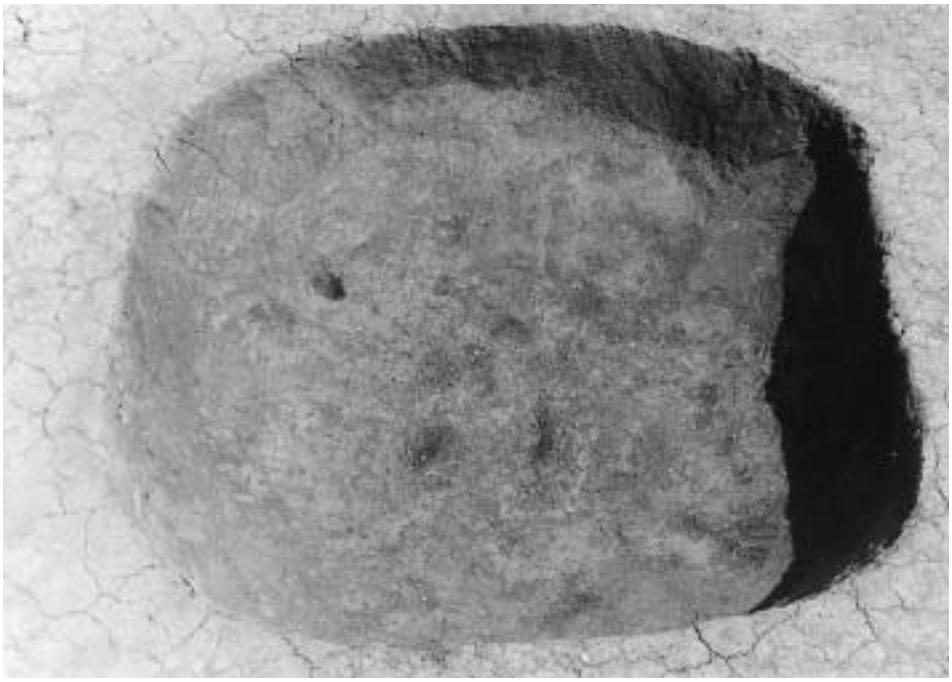
（1）SB Ⅲ 1



（2）SK Ⅰ 2



（3）SK Ⅰ 3

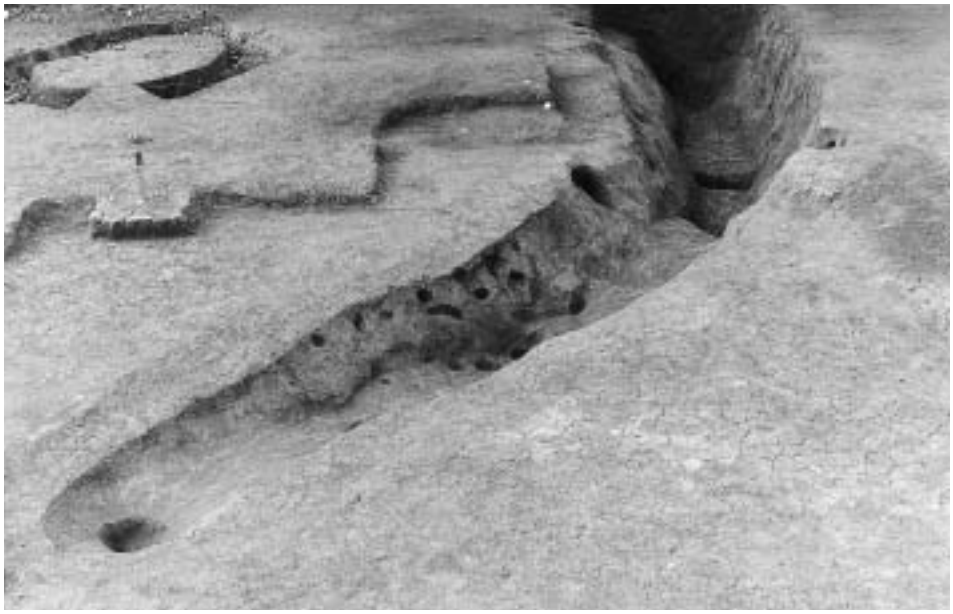


（4）SK Ⅲ 1

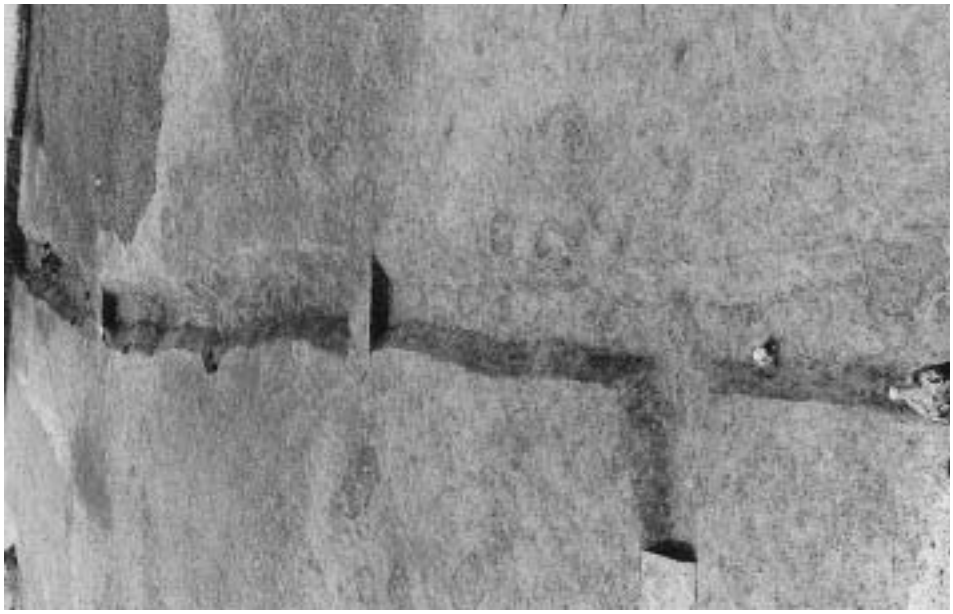
（5）SK Ⅲ 3

（6）SK Ⅲ 4

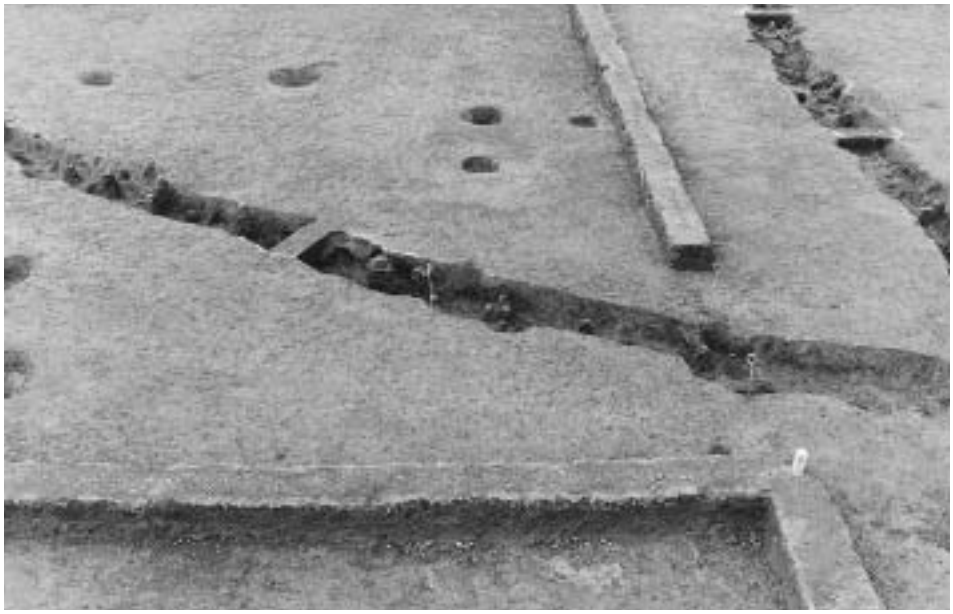
（7）SD Ⅱ 1



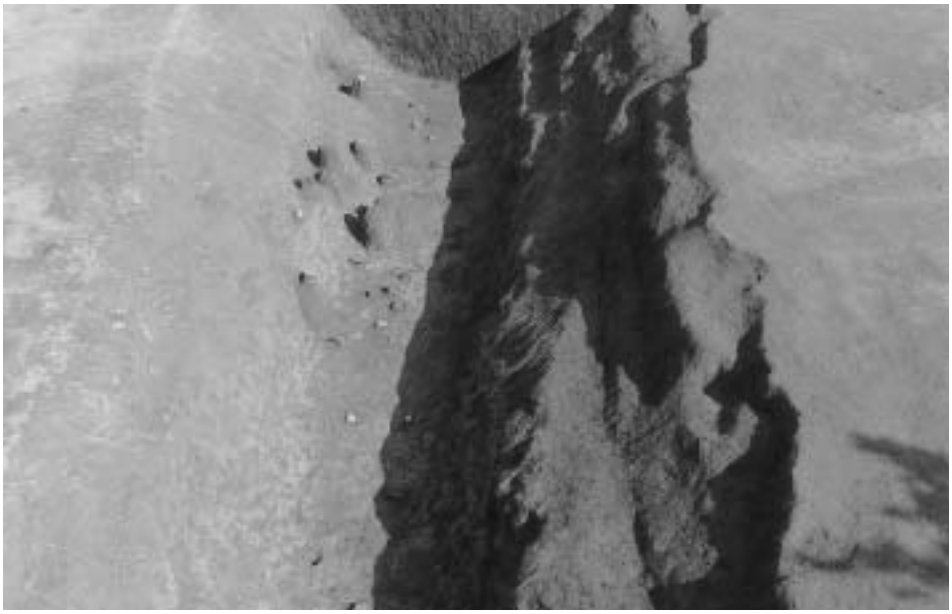
（8）SD Ⅰ 1



（9）SD Ⅲ 2



(10) SD Ⅲ 3



(11) SK Ⅲ 1
出土遺物①
14、15、17
16、19

(12) SK Ⅲ 1
出土遺物②
15、23、24
4 、 3

(13) SK Ⅲ 1
出土遺物③
16－4、3

(14) SK Ⅲ 3
出土遺物①
19－8

(15) SK Ⅲ 3
出土遺物②
19－9

(16) Ⅰ区包含層
出土遺物①
22－5

(17) Ⅰ区包含層
出土遺物②
23－11、8
4

(18) Ⅰ区包含層
出土遺物③
24－2、12
3、4

(19) Ⅰ区包含層
出土遺物④
24－22、18
26、15

(20) Ⅱ区包含層
出土遺物
36－12

(21) Ⅲ区包含層
出土遺物①
39－15、１、
３

(22) Ⅲ区包含層
出土遺物②
39－19

(23) Ⅲ区包含層
出土遺物③
40－15、12

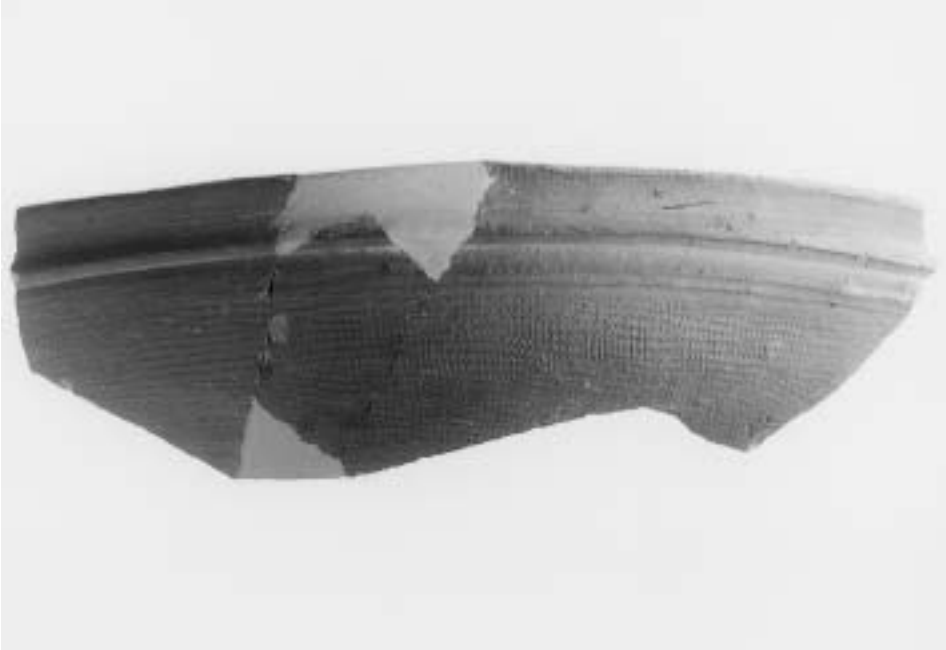
(24) Ⅲ区包含層
出土遺物④
42－ 2
41－21
41－20、19

(25) Ⅲ区包含層
出土遺物⑤
42－ 9

(26) Ⅲ区包含層
出土遺物⑥
42－16

(27) Ⅲ区包含層
出土遺物⑦
44－ 7

(28) Ⅲ区包含層
出土遺物⑧
44－8



(29) Ⅲ区包含層
出土遺物⑨
45－2

(30) Ⅲ区包含層
出土遺物⑩
45－3

(31) Ⅲ区包含層
出土遺物⑪
46－9、2
1

(32) Ⅲ区包含層
出土遺物⑫
47－2、3

(33) Ⅲ区包含層
出土遺物⑬
48－1

(34) Ⅲ区包含層出土鬼面丸瓦
48－4

(35) SD Ⅲ 3 出土軒平瓦
19－7、6

(36) Ⅰ区包含層出土鉄鎌　28－2

報 告 書 抄 録

フ リ ガ ナ	リュウガンジオオツカ
書　　名	立願寺大塚遺跡
副　書　名	一般国道208号玉名バイパス改築工事に伴う埋蔵文化財の調査
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	熊本県文化財調査報告
シリーズ番号	第210集
編　著　者	水野　哲郎
編 集 機 関	熊本県教育委員会
所　在　地	〒862－8570　　熊本県熊本市水前寺６丁目18番１号
発　行　年	2003年３月31日

フリガナ 所収遺跡	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
リュウガンジオオツカ 立願寺大塚	クマモトケンタマナシリュウガンジ 熊本県玉名市立願寺	206	103			H.3.4.22～9.18 H.5.9.13～H.6.1.14	3,900㎡	一般国道208号玉名バイパス改築工事

所収遺跡	種　別	主な時代	主な遺構	主　な　遺　物	特注事項
リュウガンジオオツカ 立願寺大塚	古墳 集落跡 遺物散布地	古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代	円墳１基 掘立柱建物１棟 土坑９基 溝４条	土師器（甕、坏、椀、皿） 須恵器（甕、壺、坏、皿） 墨書土器 風字硯 布目瓦 白磁碗 青磁碗 鉄器（鎌）	

熊本県文化財調査報告　第210集

立願寺大塚遺跡

平成15年３月31日

編集
発行　熊本県教育委員会
〒862-8570 熊本市水前寺６丁目18番１号

印刷　株式会社啓文社
〒861-3102 熊本県上益城郡嘉島町下六嘉1765

14　教委　教文
②　００６

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第 210 集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：立願寺大塚遺跡
発行：熊本県教育委員会
〒862-8609　熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号
電話：　096-383-1111
URL：http://www.pref.kumamoto.jp/
電子書籍制作日：2015 年 12 月 24 日

なお、熊本県文化財保護協会が底本を頒布している場合があります。詳しくは熊本県文化財保護協会にお問い合わせください。

熊本県文化財保護協会
URL：http://www.kumamoto-bunho.jp/